



Leaves of Time(博考)

<http://geomatics85.org/ehlt/> 在駐

1つ 数幾何学考慮中

2つ 日々の詠

3つ 露火のはぐくみ

4つ 文学性あるや 露火のさすらい

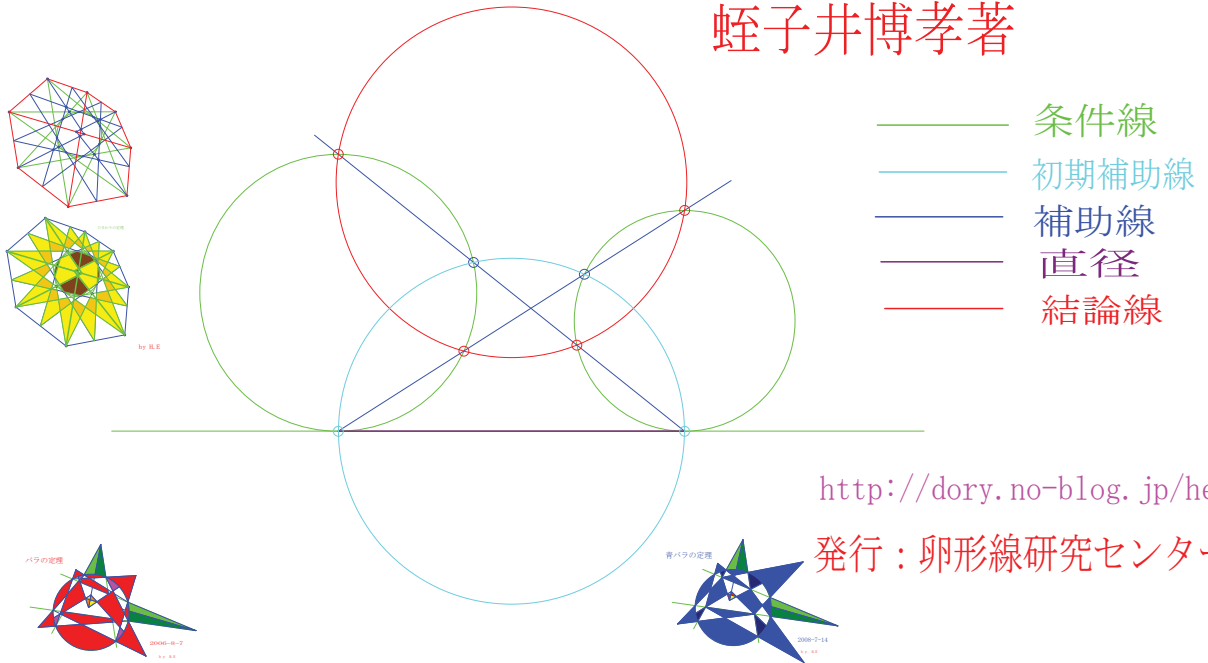
5つ ドームの詠 理想と情熱

6つ 超幾何数学の新数



幾何創作 ロリーの花

蛭子井博孝著



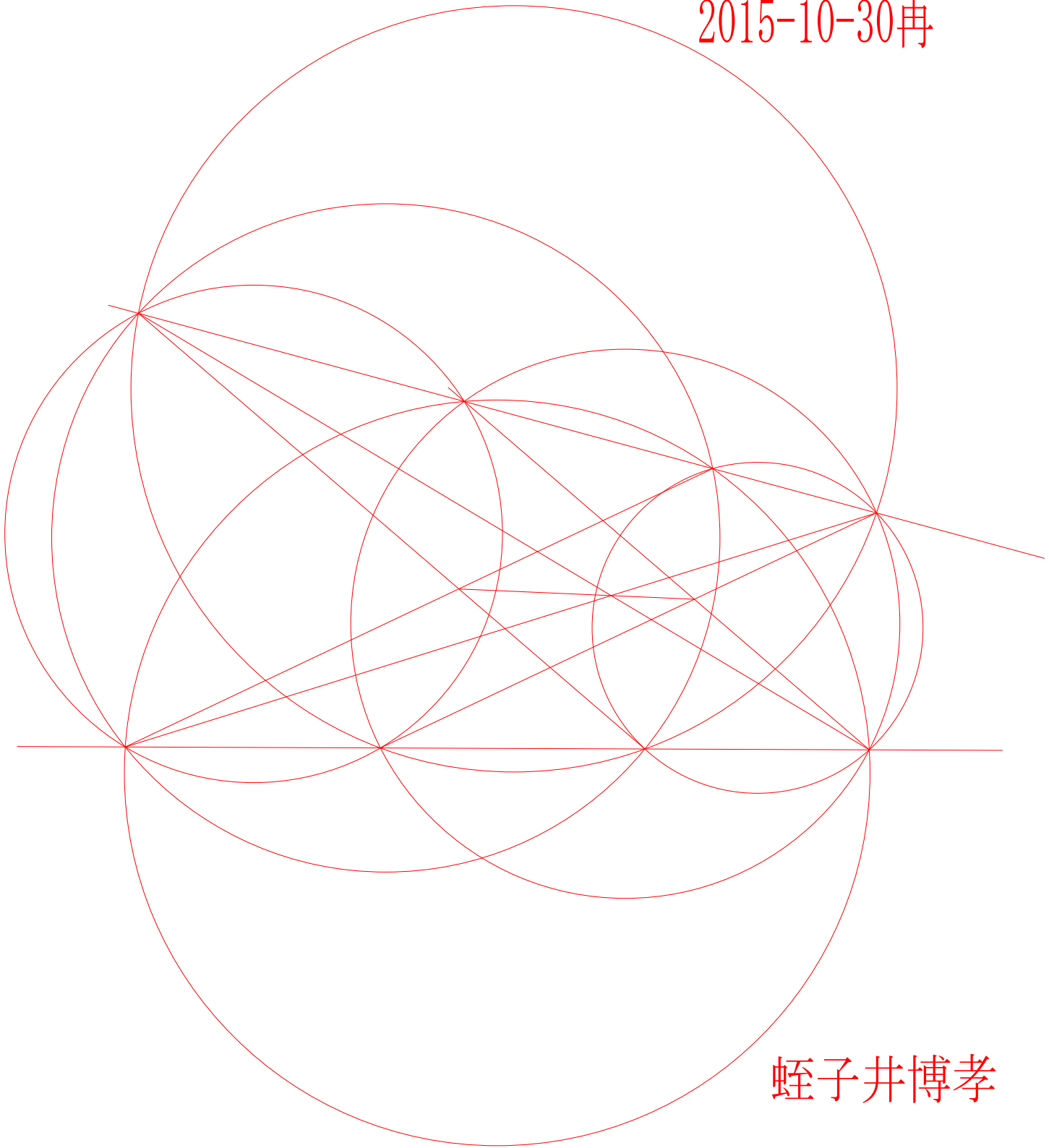
<http://dory.no-blog.jp/he/>

発行：卵形線研究センター



ロリー花の定理

2015-10-30再



蛭子井博孝

創作幾何問題 ロリーの花

定理になるユニークな問題
証明してみよう

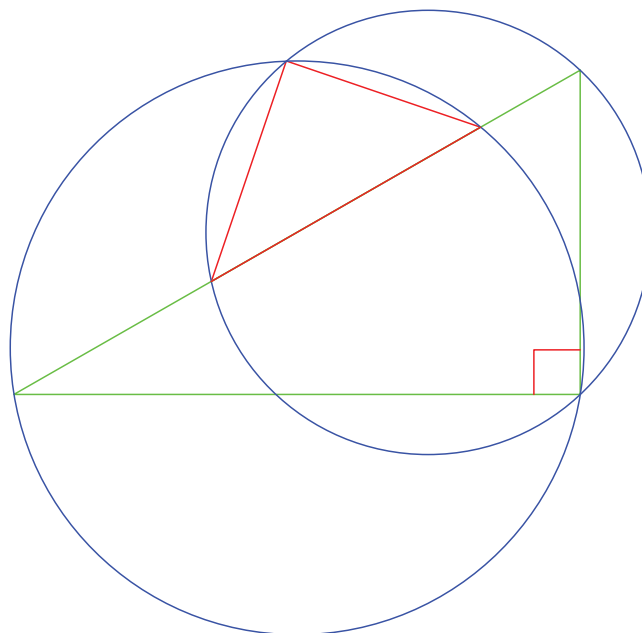
蛭子井博孝作

- 1 . 直角三角形定理 (問題 4)
- 2 . 直交定理 (問題 24)
- 3 . 直径定理 (問題 7)
- 4 . 2 等辺三角形定理 (問題 22)
- 5 . 平行線定理 (問題 70)

-1-

直角三角形の直角三角形問題

2008-2-5

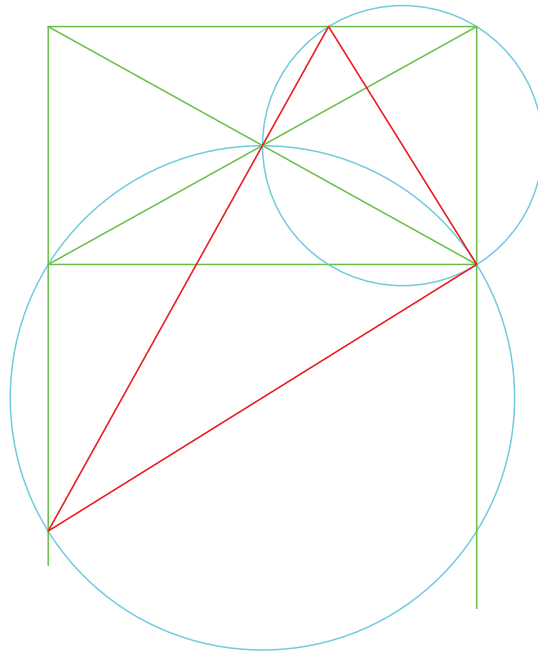


by 蛭子井博孝

ありがとう、気ままな円さん

長方形の直角三角形 1

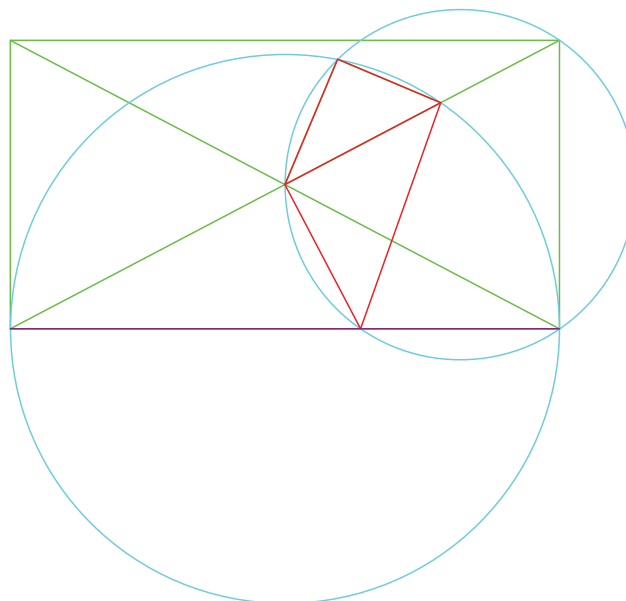
2008-2-5



b y 蛭子井博孝

長方形の直角三角形 2, 3

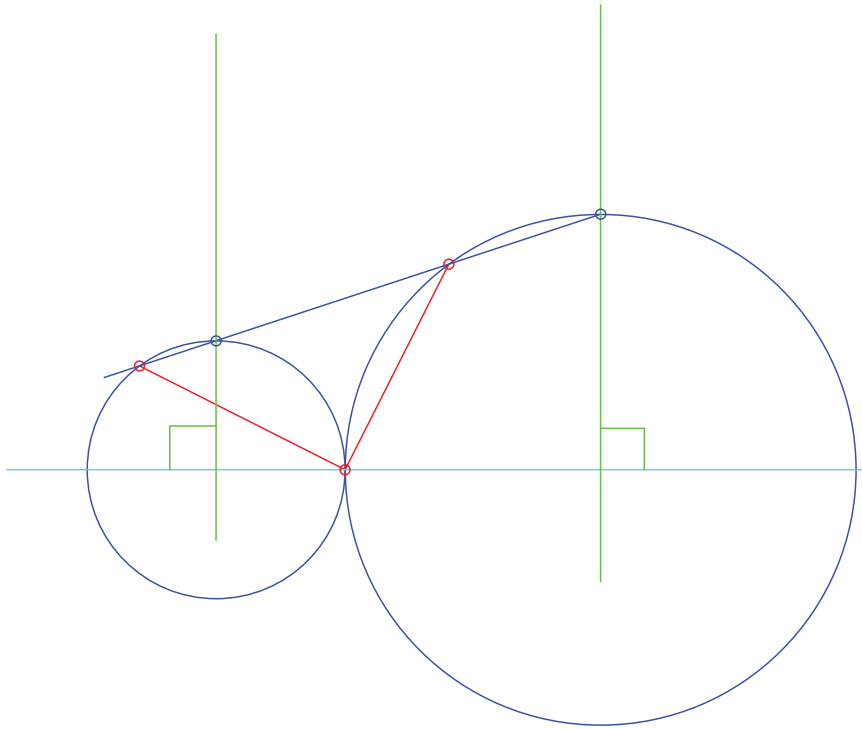
2008-2-5



紫は直径

b y 蛭子井博孝

2-7-1 平行線 直角2等辺三角形



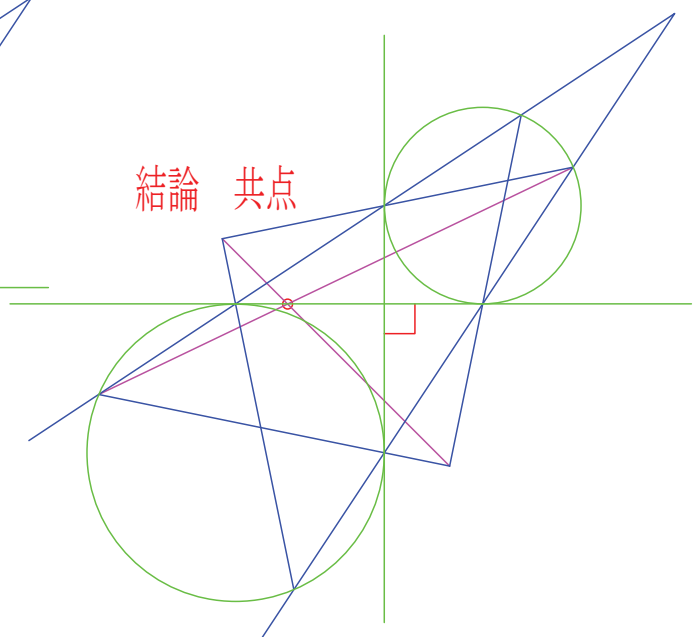
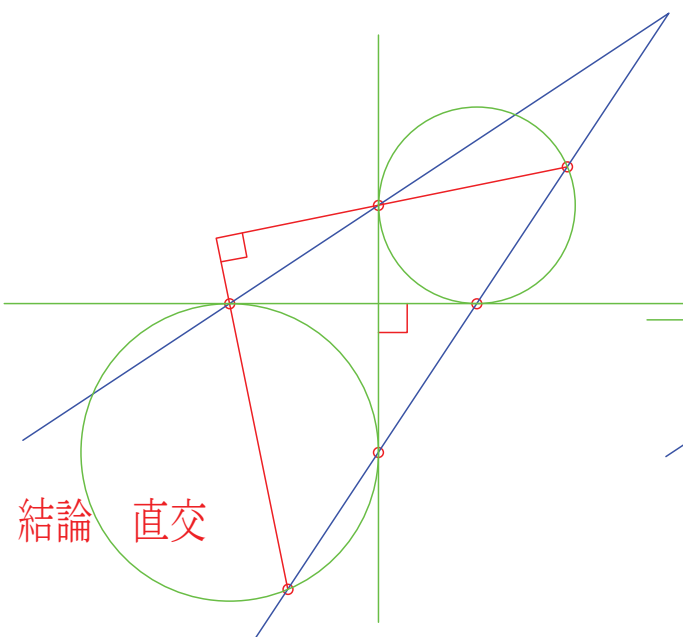
2008-2-7

by H. E

初級問題

中級問題

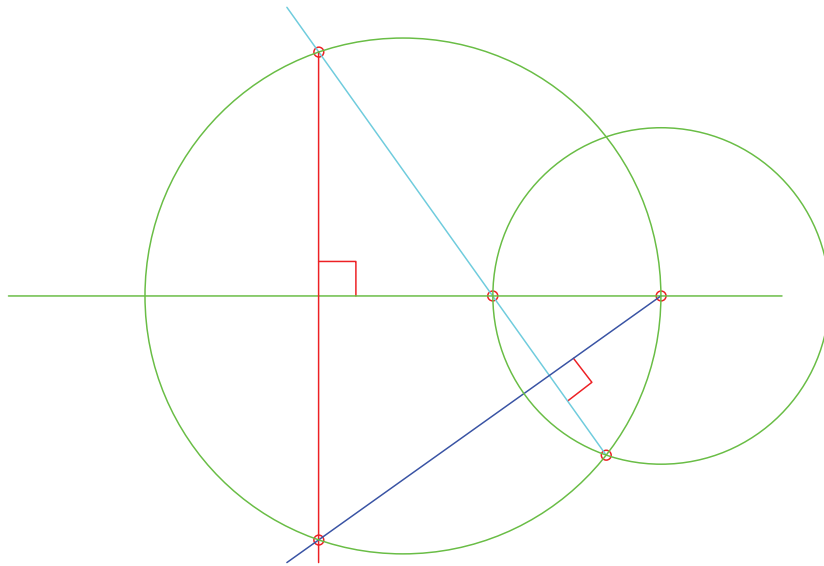
2008-1-5



by H. EBISUI

直交問題(初級問題)

2008-1-9

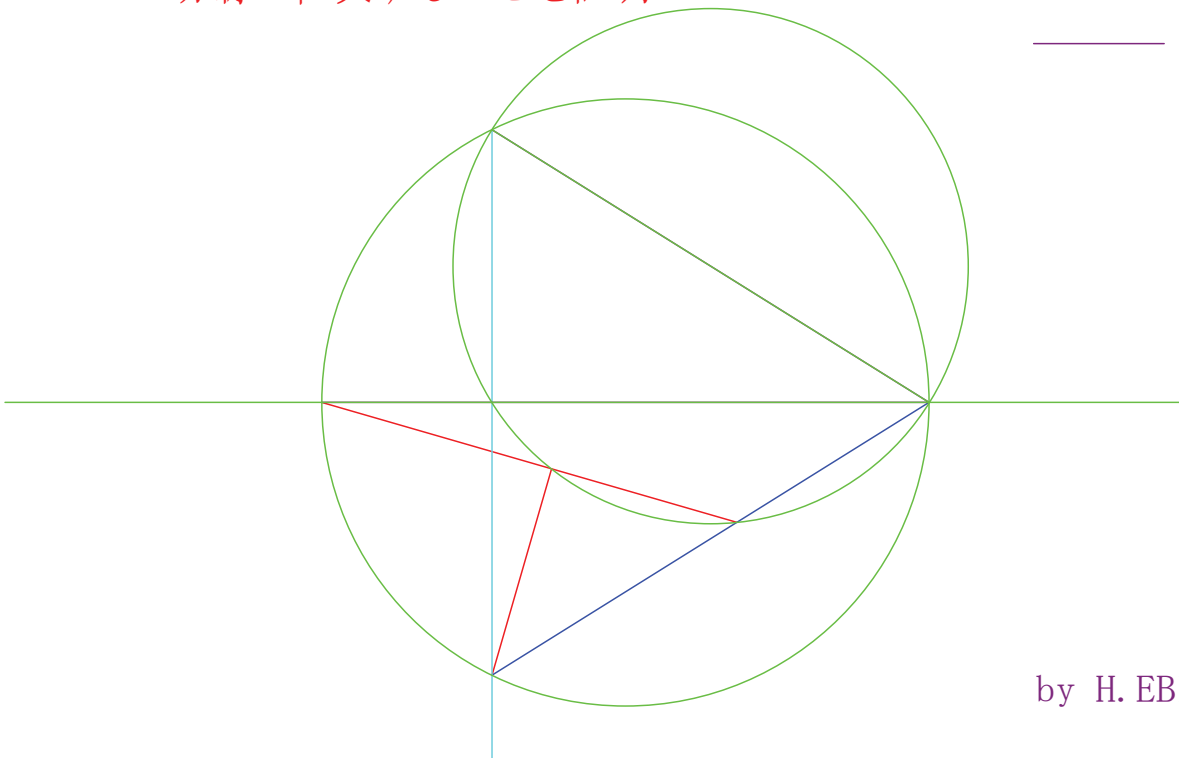


by H. EBISUI

赤線が直交することを証明せよ

2008-1-13

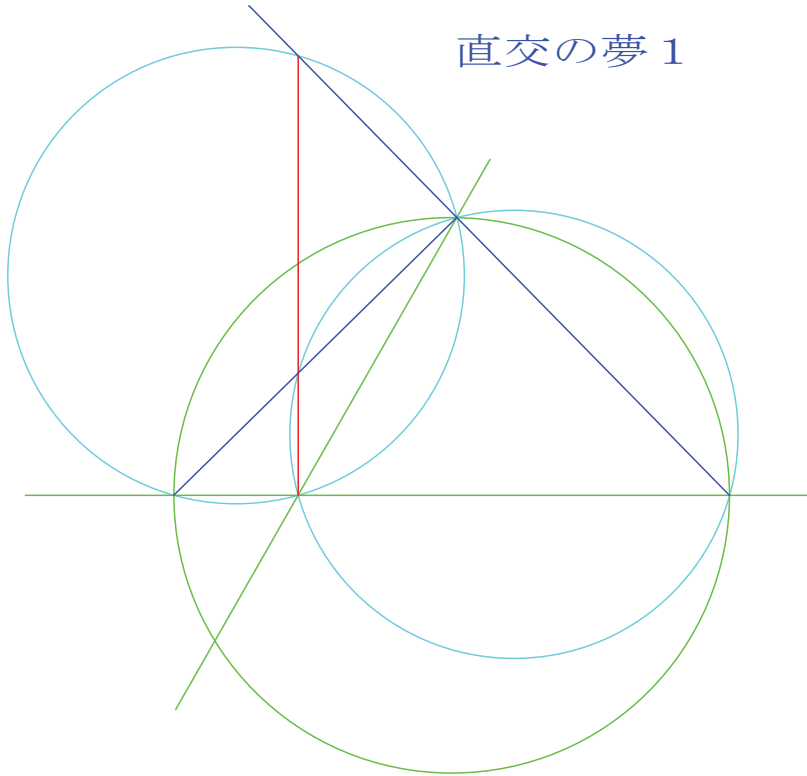
—— 直径



by H. EBISUI

直交の夢 1

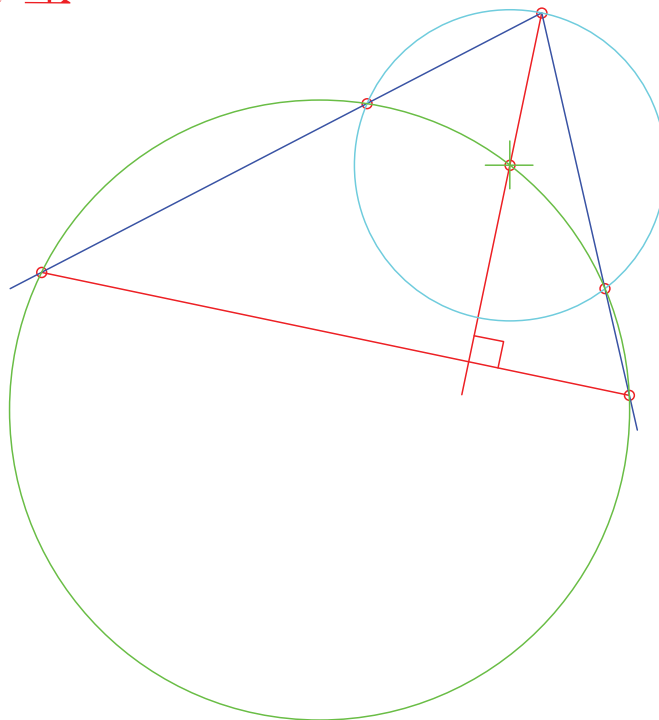
2008-1-15



by H. EBISUI

虹の定理

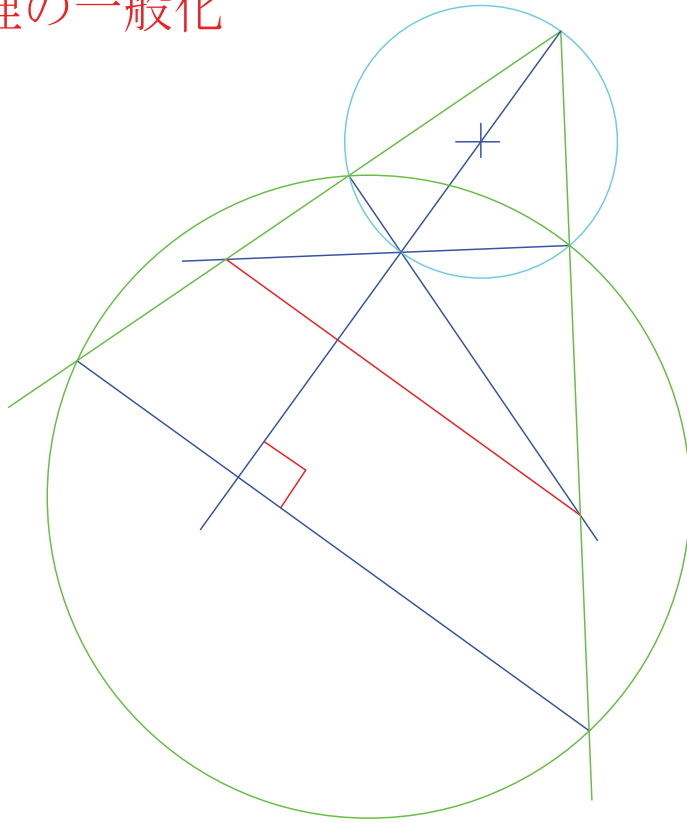
2008-1-23



by H. E

虹の定理の一般化

2008-1-24

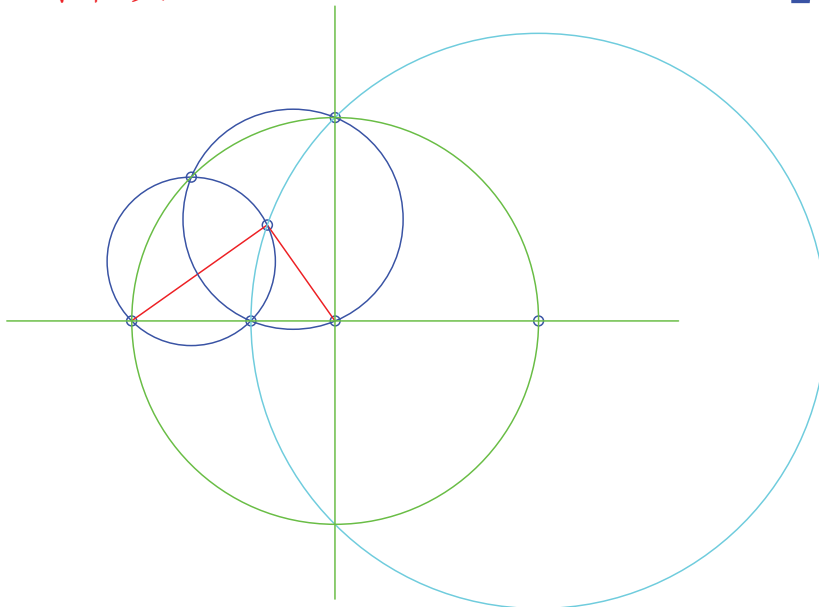


by H.E

正方形の直交問題

赤線は、直交している

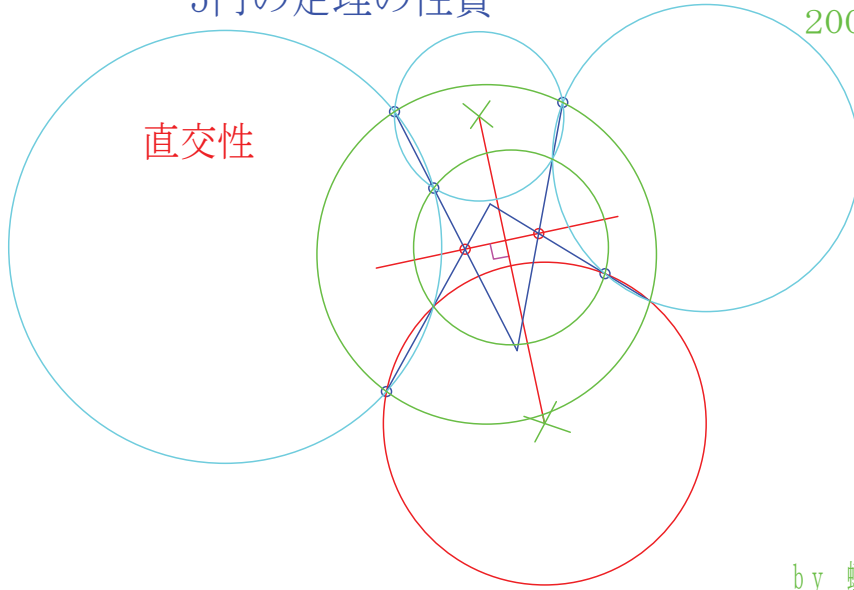
2008-1-25



by 蛭子井博孝

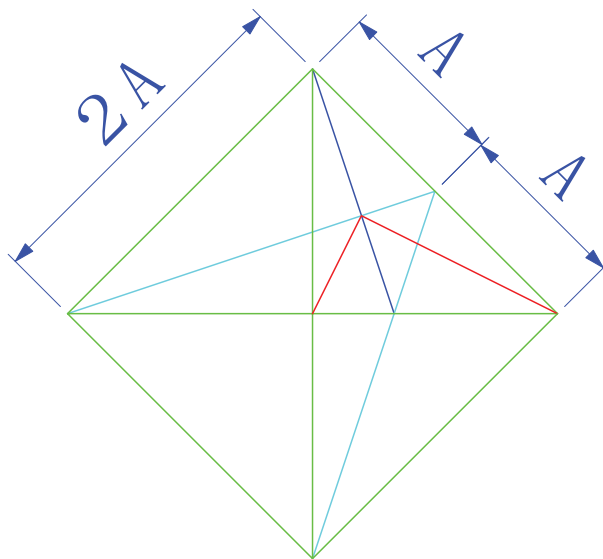
5円の定理の性質

2008-2-1



by 蛭子井博孝

正方形の直交問題(赤線は直交する)

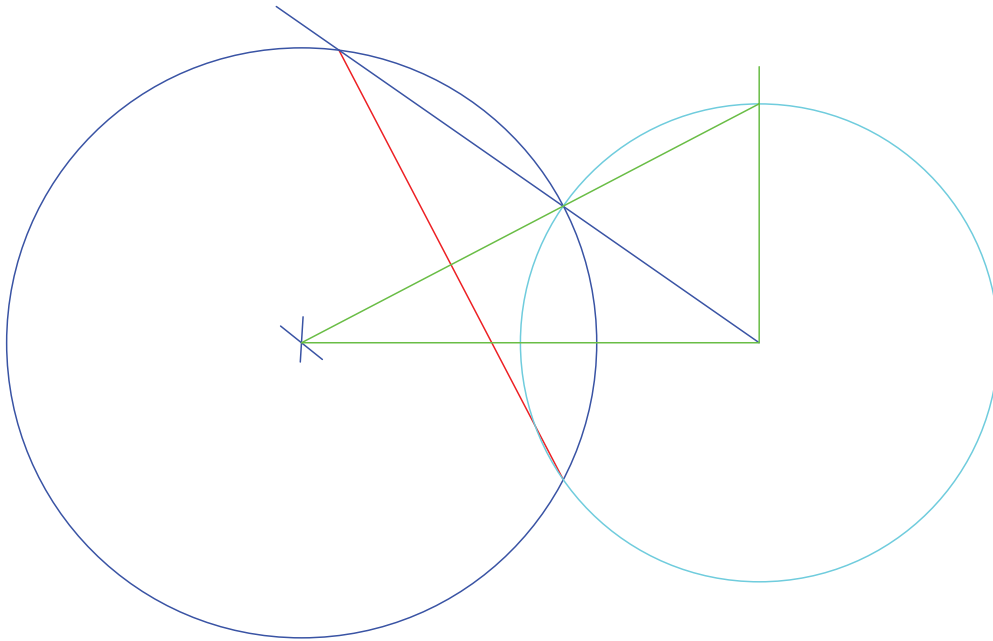


2008-2-6

by H. E

傑作問題 直角三角形 斜辺に直交

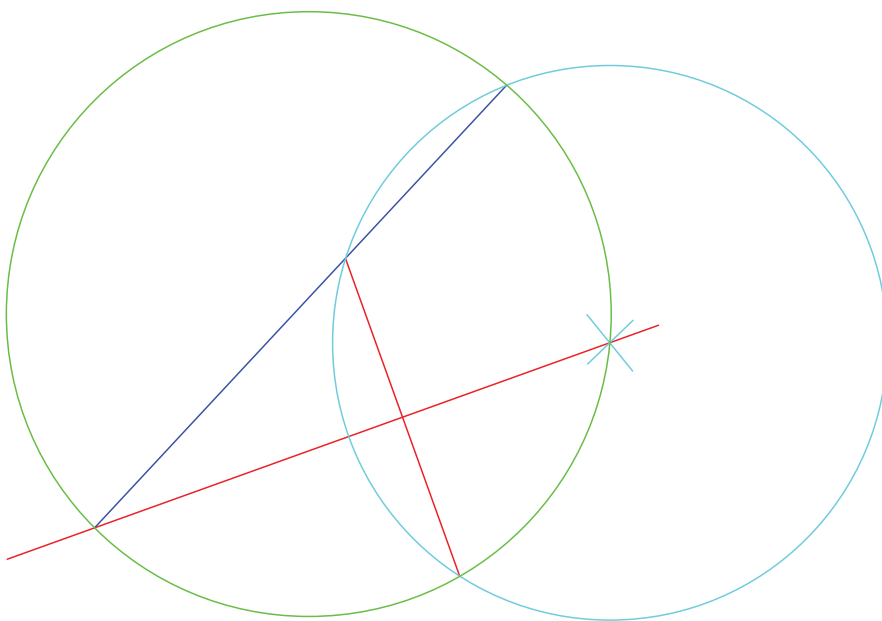
2008-2-8



by 蛭子井博孝

円 直交 1

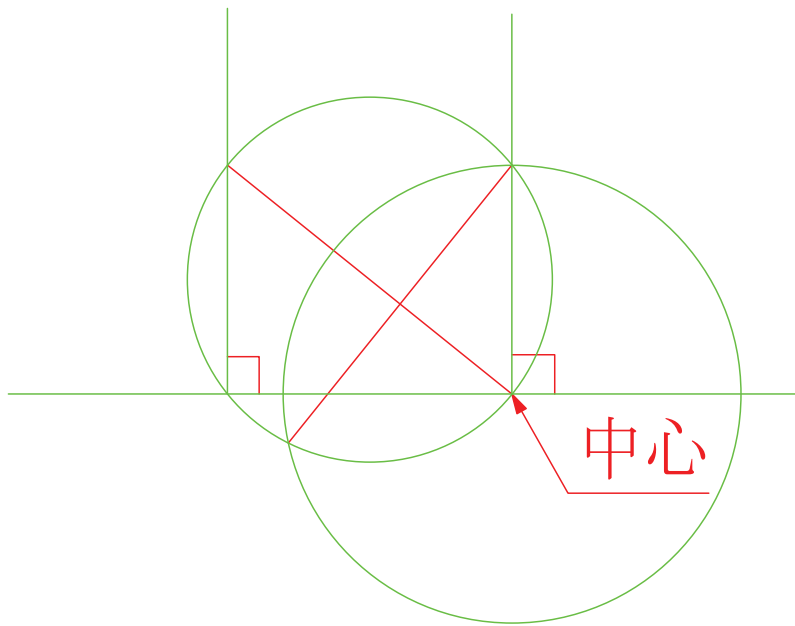
2008-2-8



by 蛭子井博孝

2-9-2 平行線 直交 2

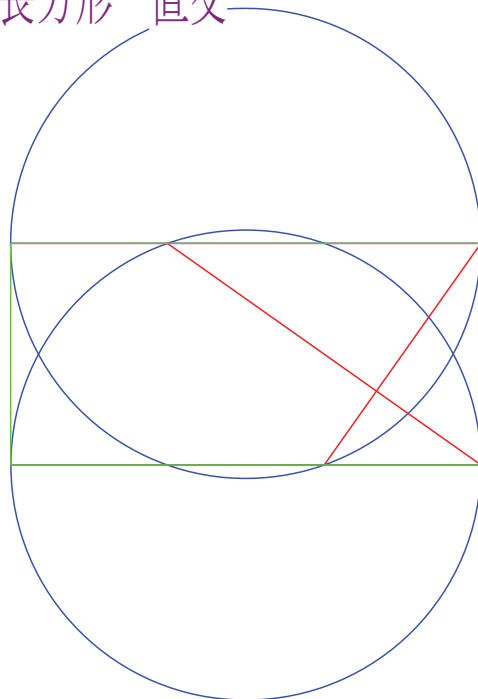
2008-2-9



by 蛭子井博孝

2-11-1 長方形 直交

2008-2-11

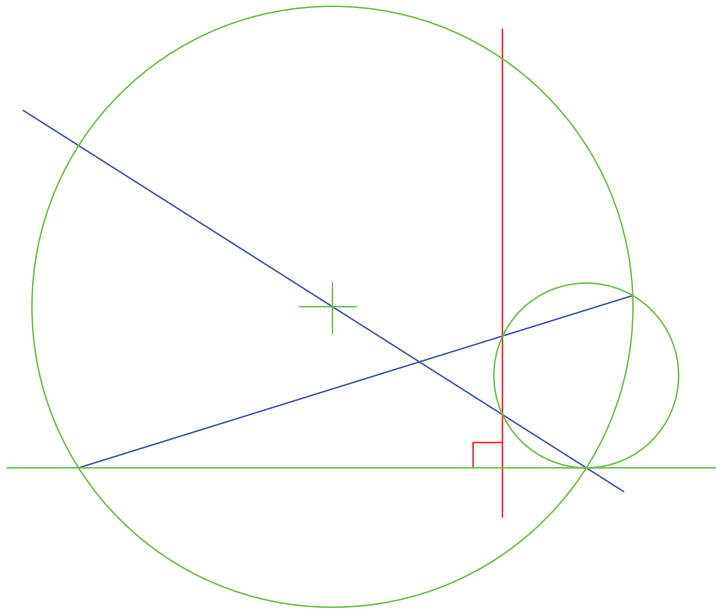


— 直径

by 蛭子井博孝

2-13-5 接円 直交

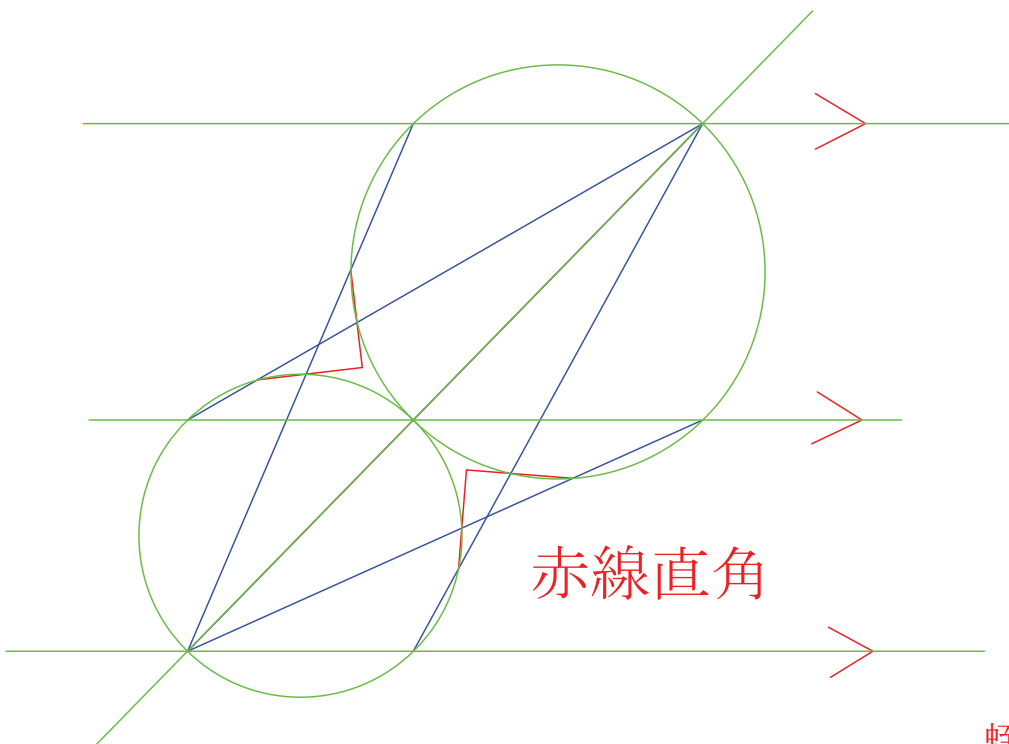
2008-2-13



by 蛭子井博孝

ひょうたんの定理

2008-2-2 1

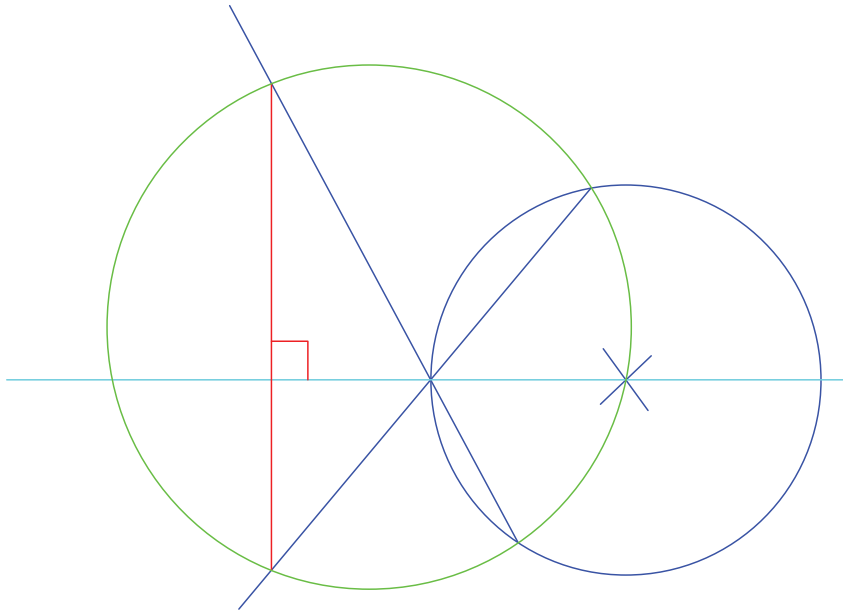


蛭子井博孝

初級問題

直交

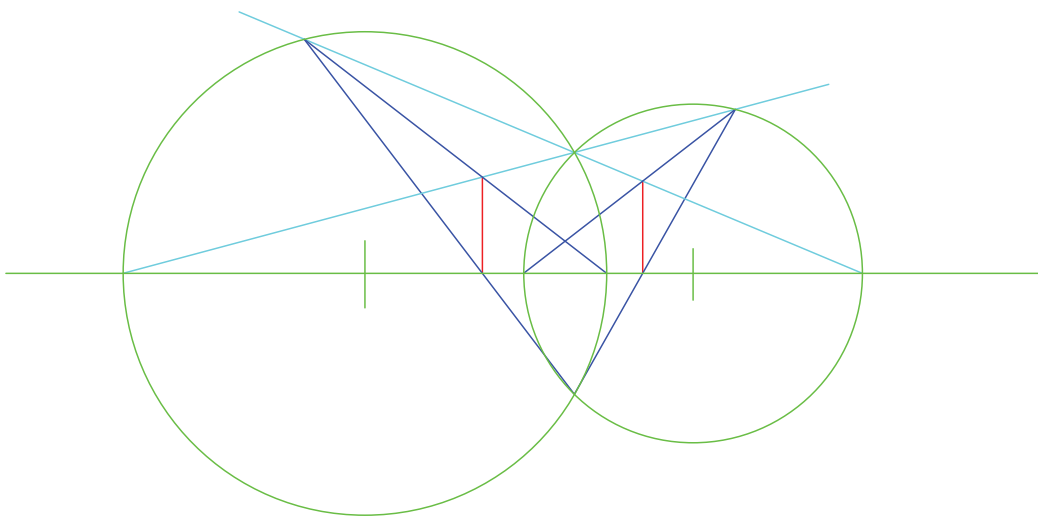
2008-3-2



蛭子井博孝

3-13 垂直

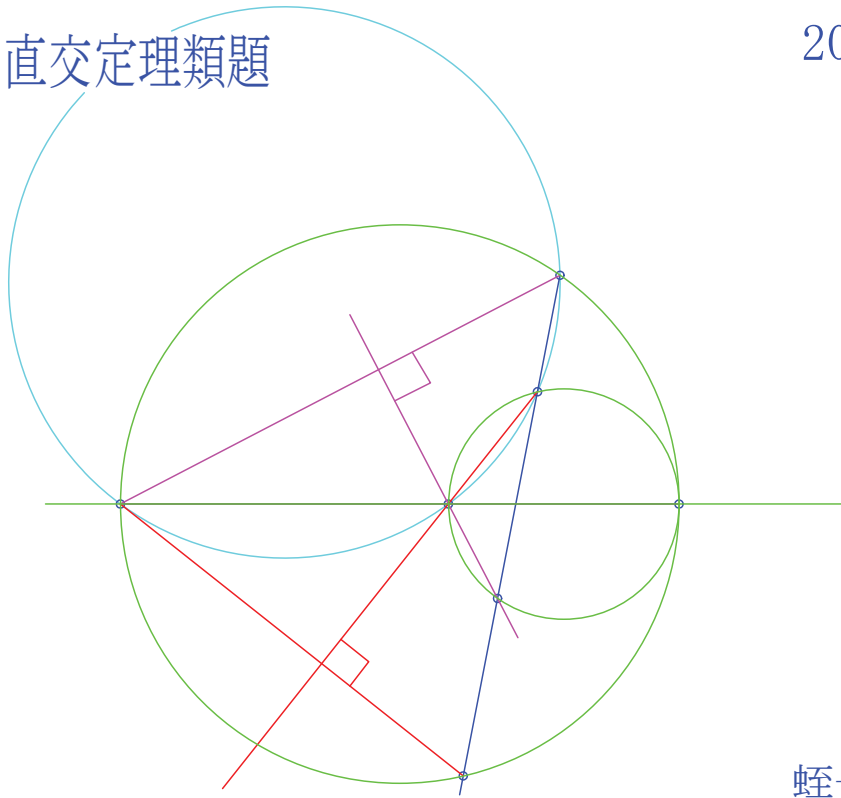
2008-3-13



蛭子井博孝

5-22 直交定理類題

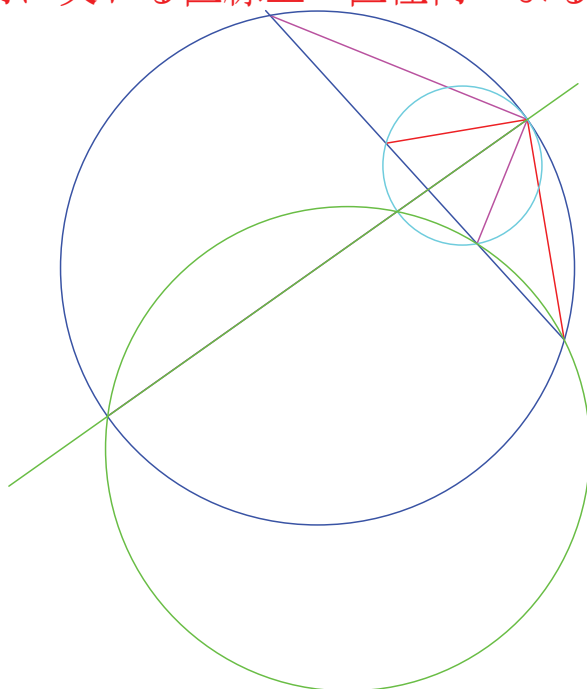
2008-5-22



蛭子井博孝

5-22 円に交わる直線上の直径円による直交定理

2008-5-22



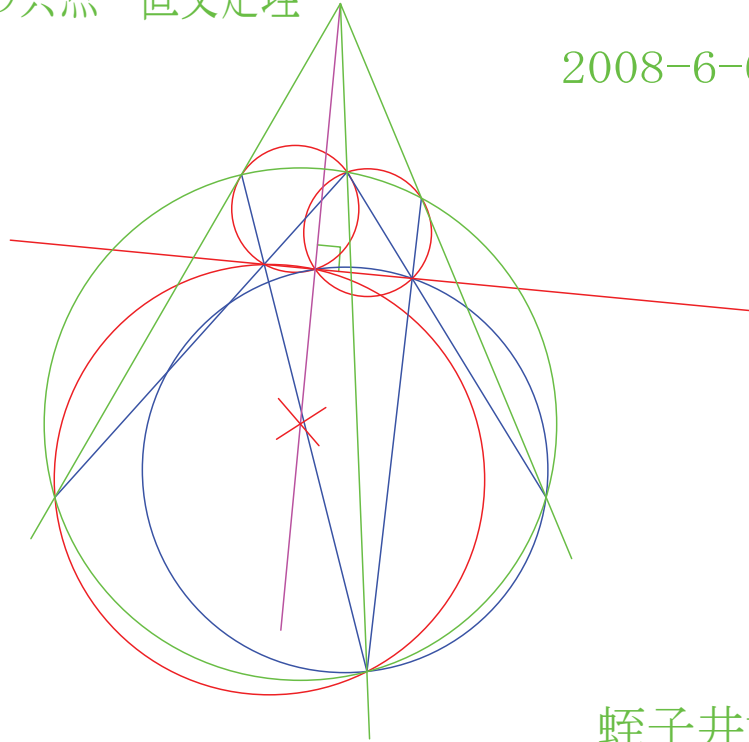
— 水色と青の円の直径線

赤、マゼンタはそれぞれ直交

蛭子井博孝

6-6 極線上の共点 直交定理

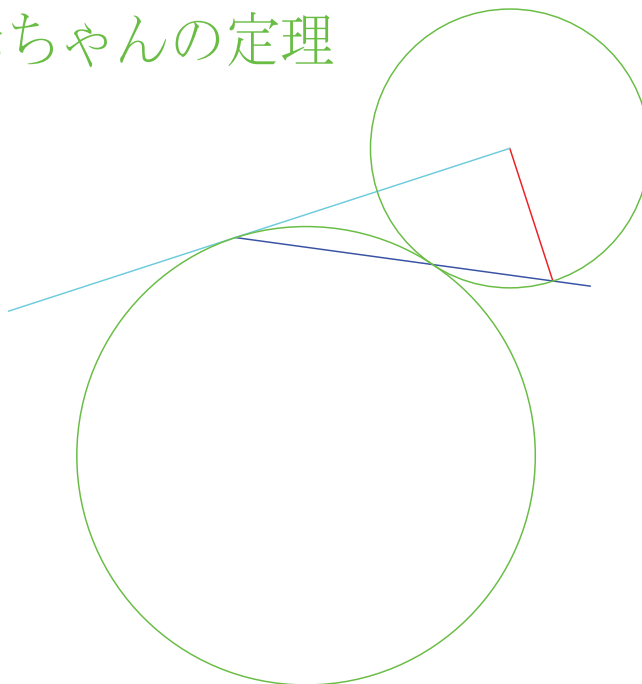
2008-6-6



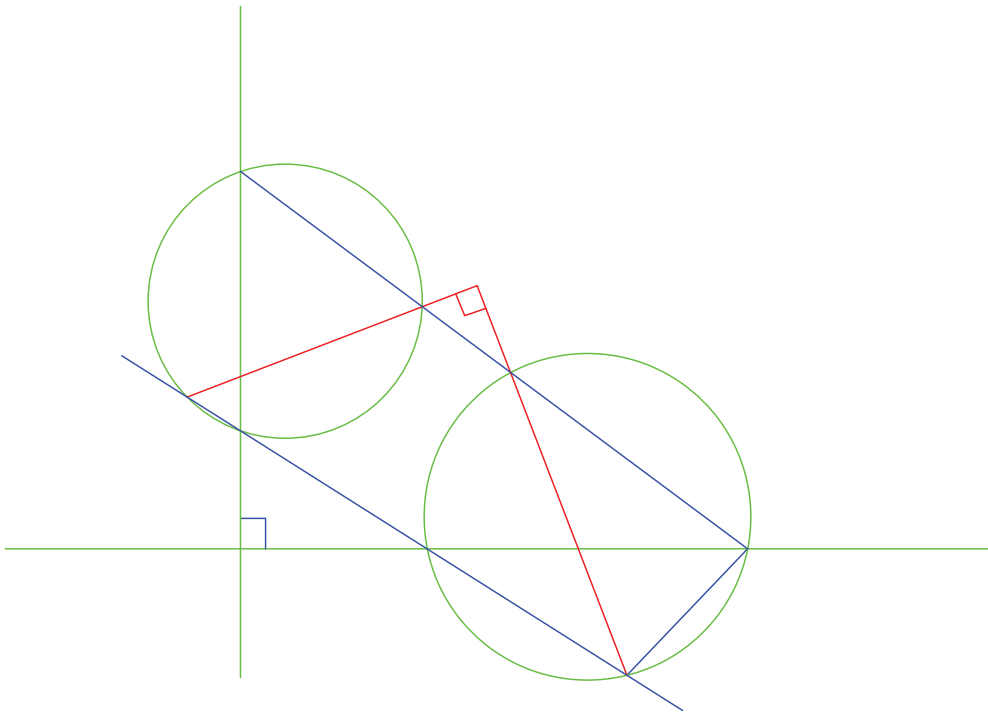
蛭子井博孝

赤ちゃんの定理

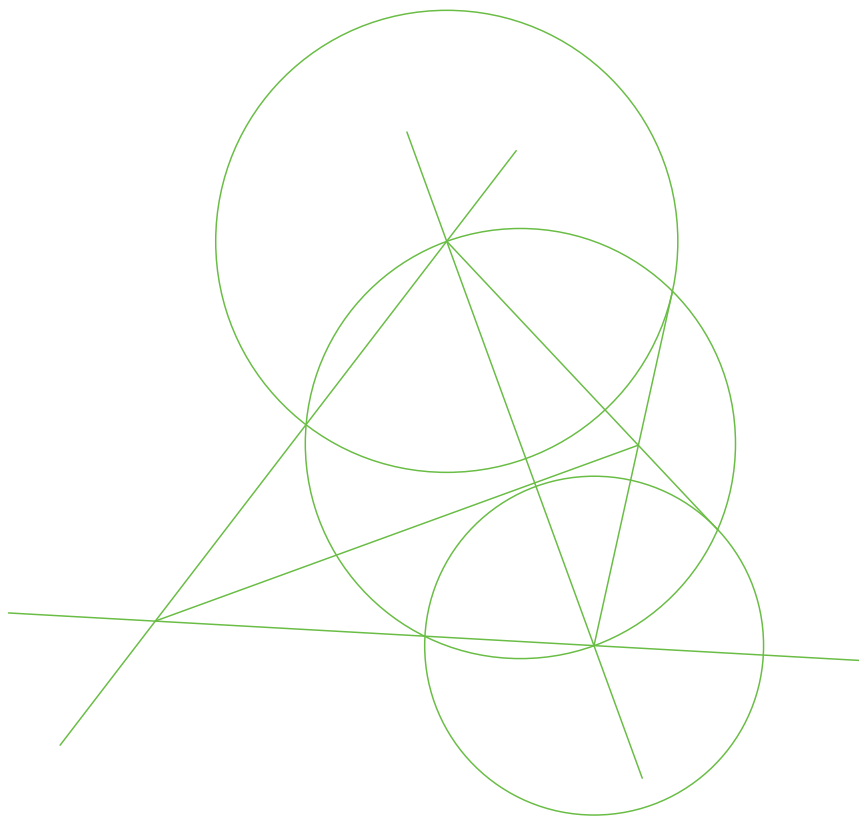
2008-7-28



蛭子井博孝

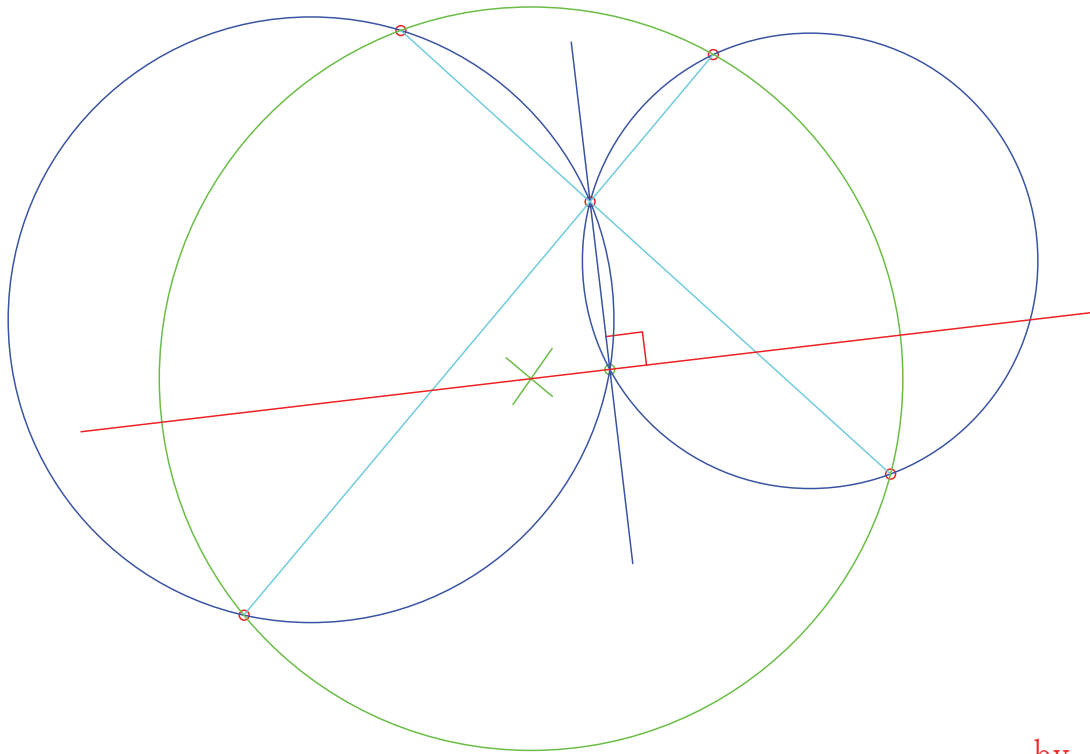


by H. EBISUI



定理： 赤線は中心線である

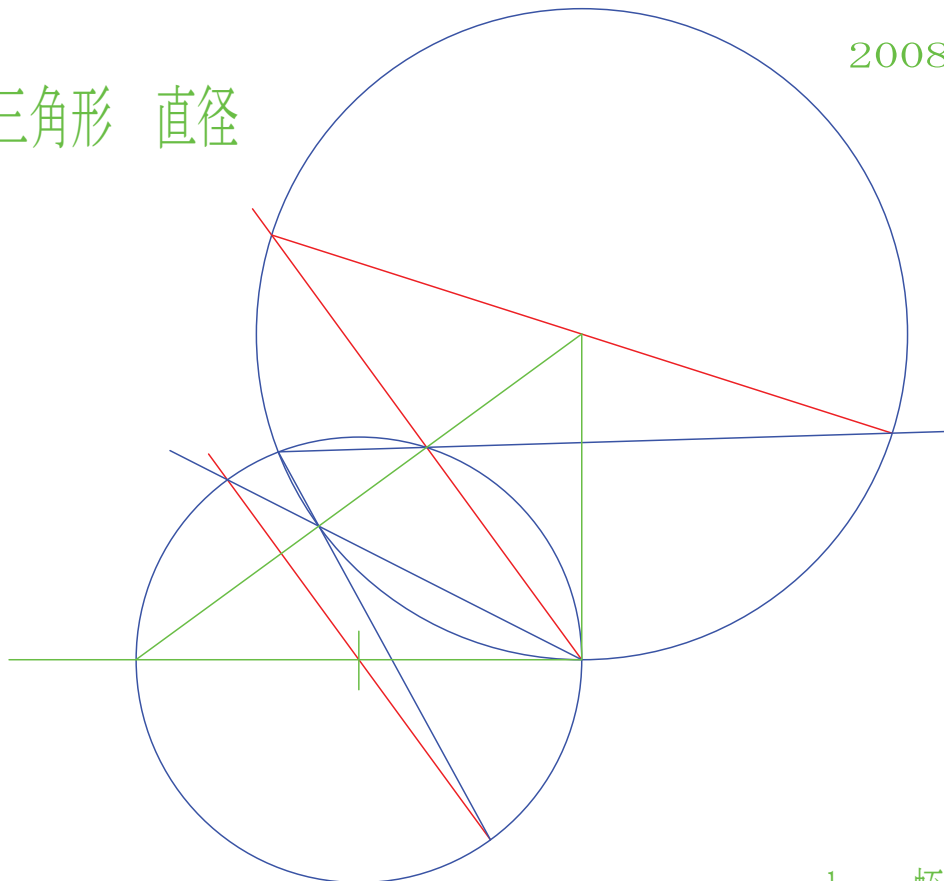
2008-1-22



by H. EBISUI

直角三角形 直径

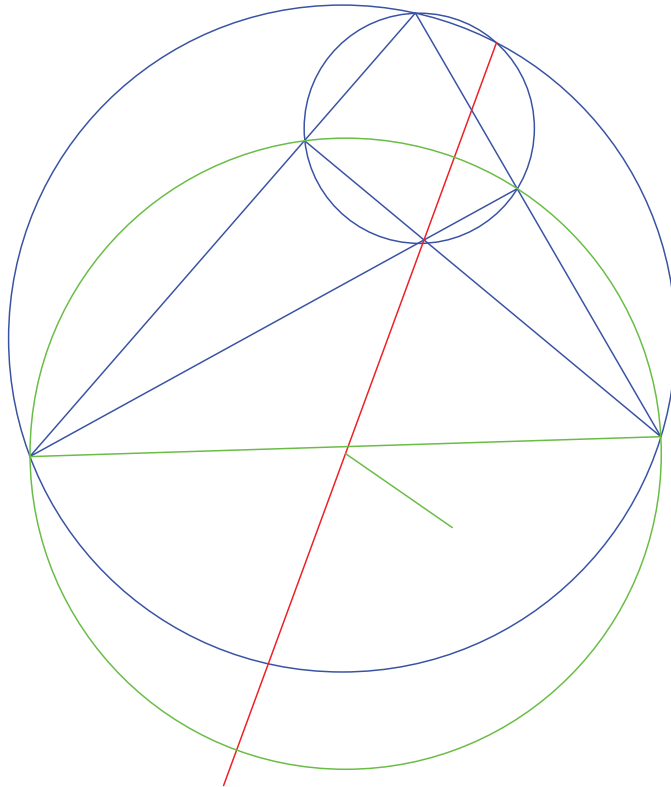
2008-2-8



by 蛭子井博孝

直径円の直径定理

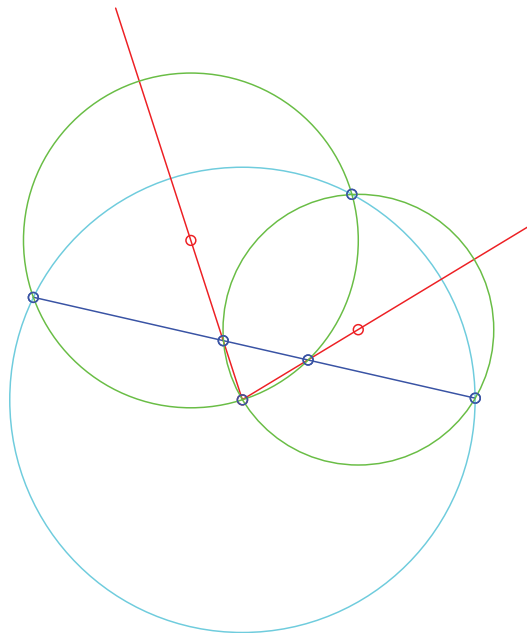
2008-2-15



蛭子井博孝

直径の定理 すなわち 正直に生きること。

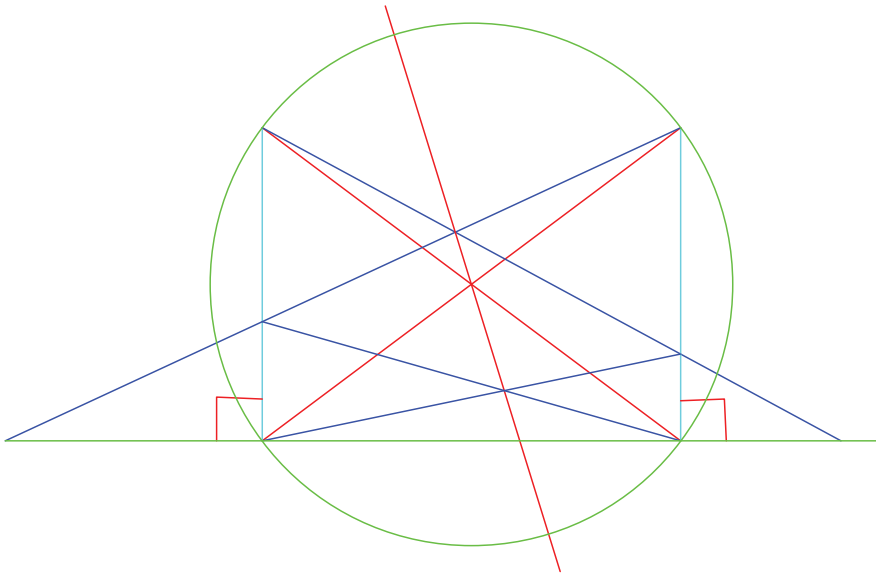
2008-6-21



蛭子井博孝

中心を通る線

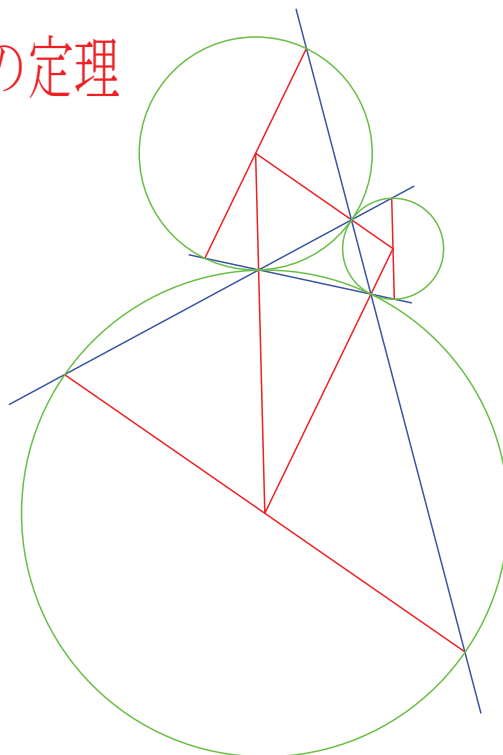
2008-6-26



蛭子井博孝

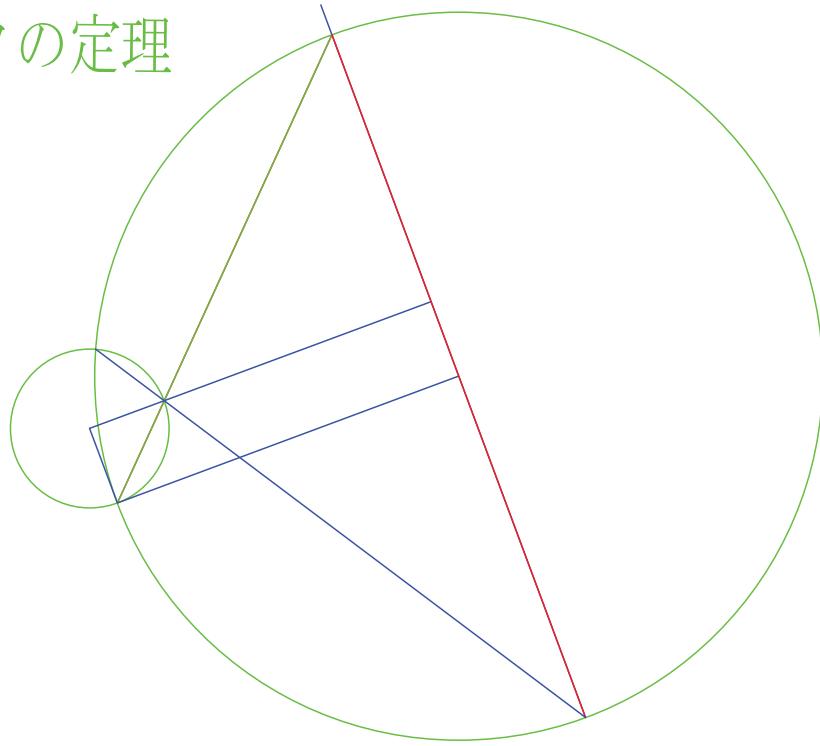
だるまこぶの定理

2008-7-28



蛭子井博孝

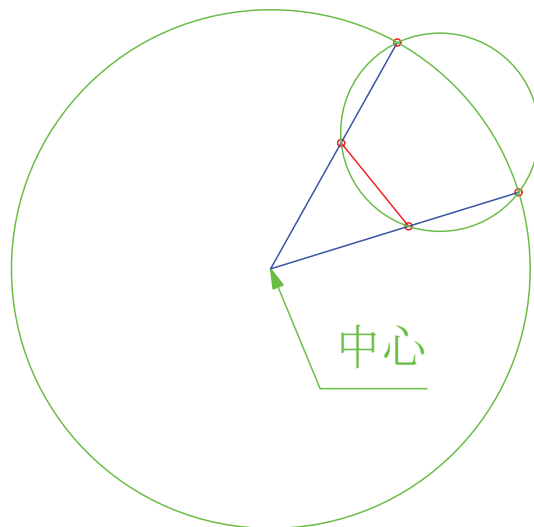
アルパークの定理



by H. EBISUI

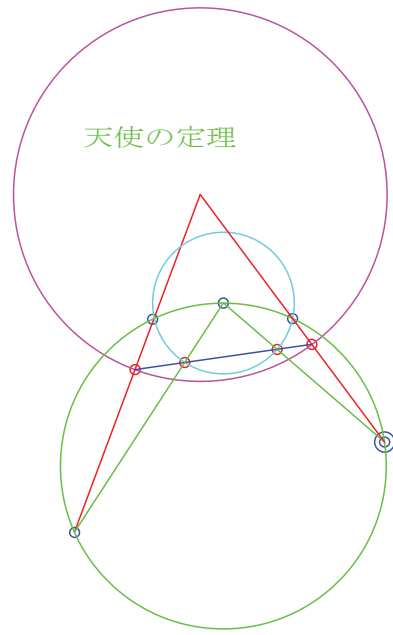
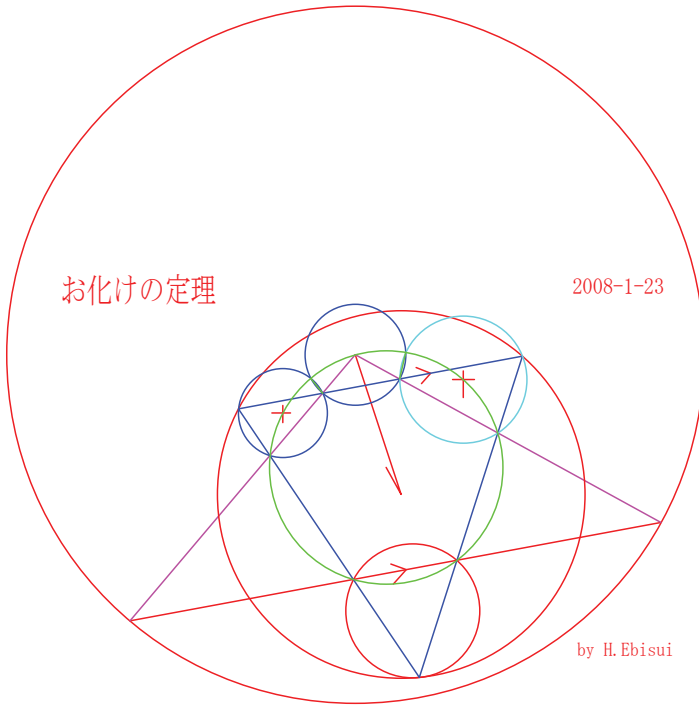
三角形は、2等辺三角形であることを証明せよ

2008-1-11



by H. EBISUI

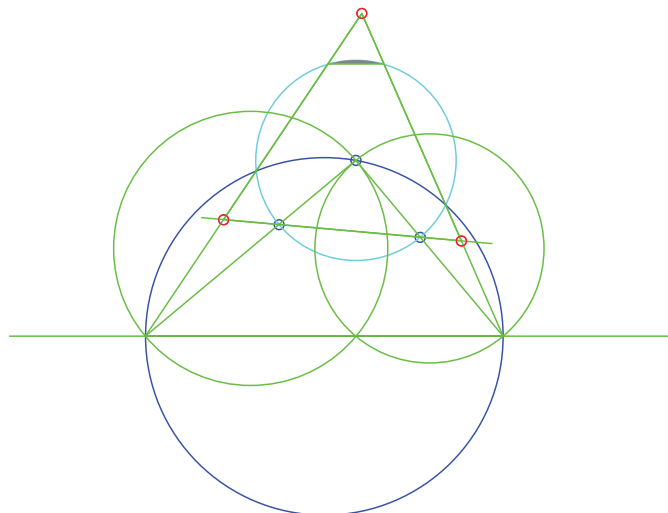
2008-1-24



おじいさんの定理

2008-1-25

水色の円の中心は鼻のてっぺんにある
 赤点は、二等辺三角形である。

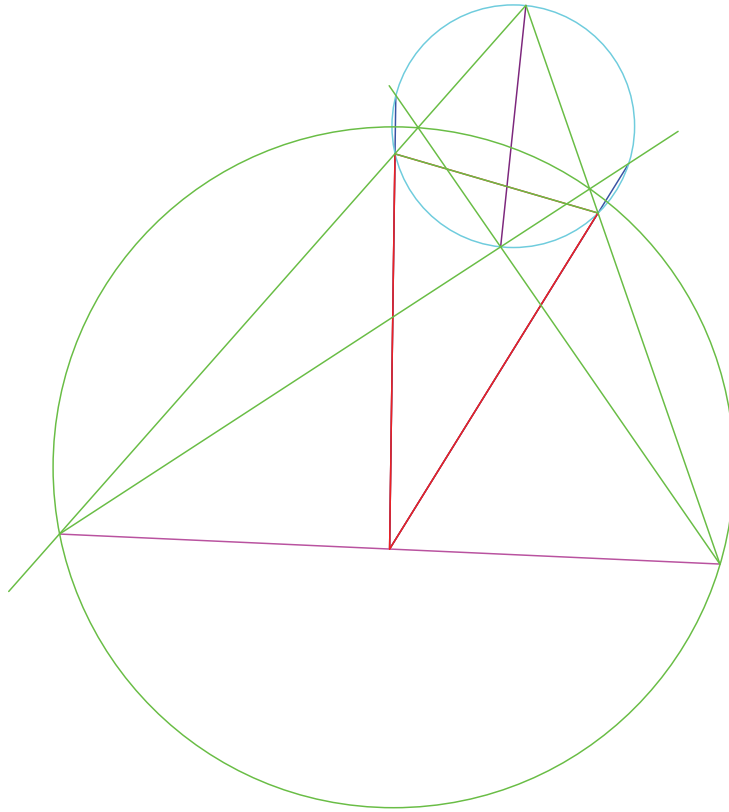


by 蛭子井博孝

紫直径の時二等辺三角形はどんなものか

二等辺三角形の定理

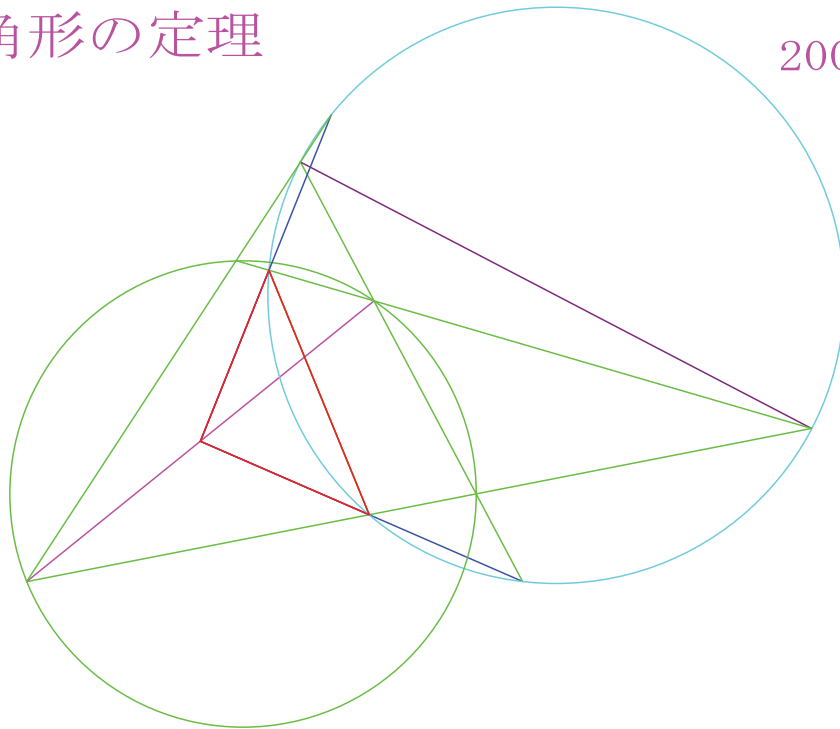
2008-1-26



by 蛭子井博孝

二等辺三角形の定理

2008-1-26

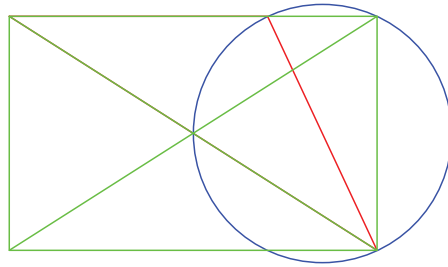


by 蛭子井博孝

長方形の問題

2008-2-2

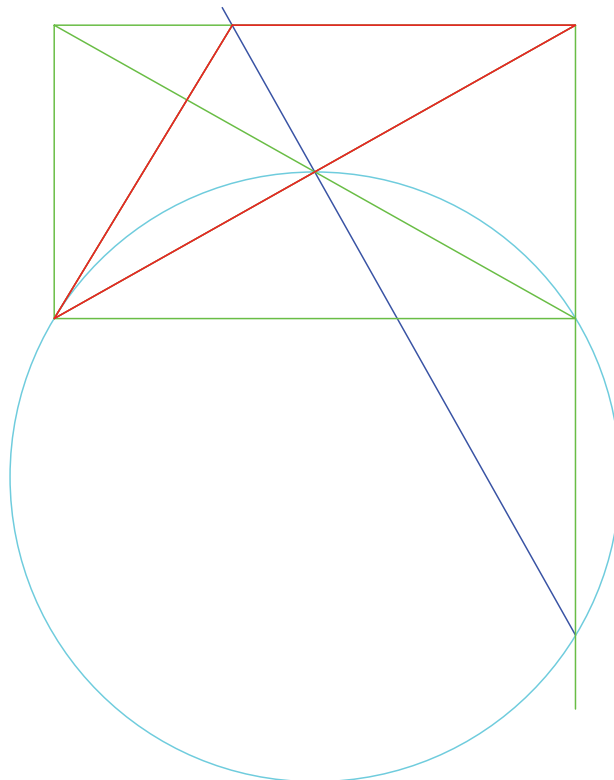
赤三角形が2等辺三角形になることを証明せよ



by 蛭子井博孝

長方形の中の2等辺三角形2

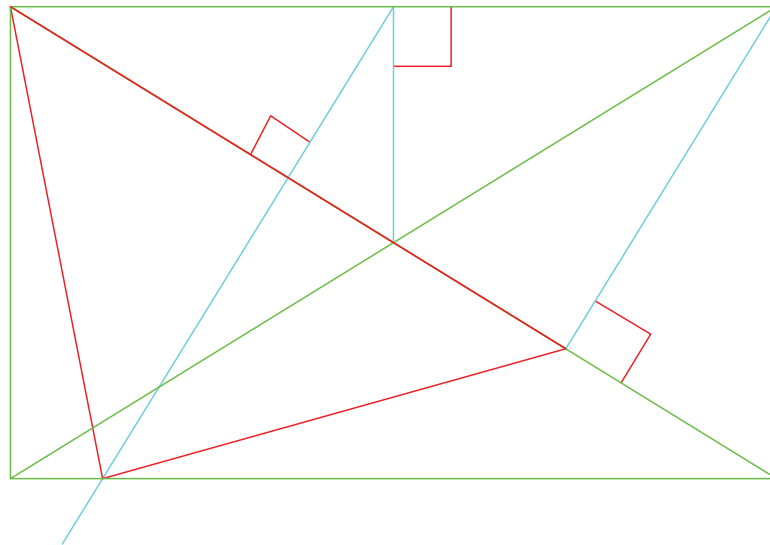
2008-2-5



by 蛭子井博孝

長方形の中の2等辺三角形

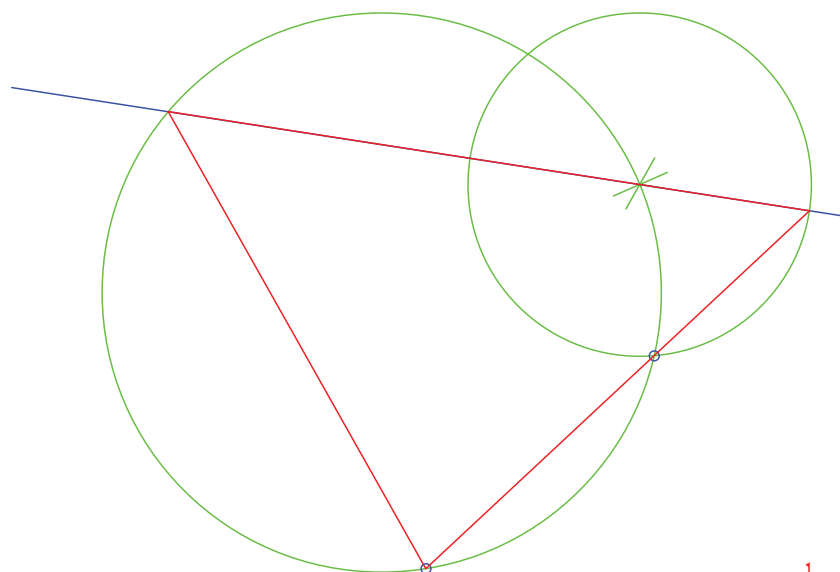
2008-2-5



by 蛭井博孝

2円の2等辺三角形問題3

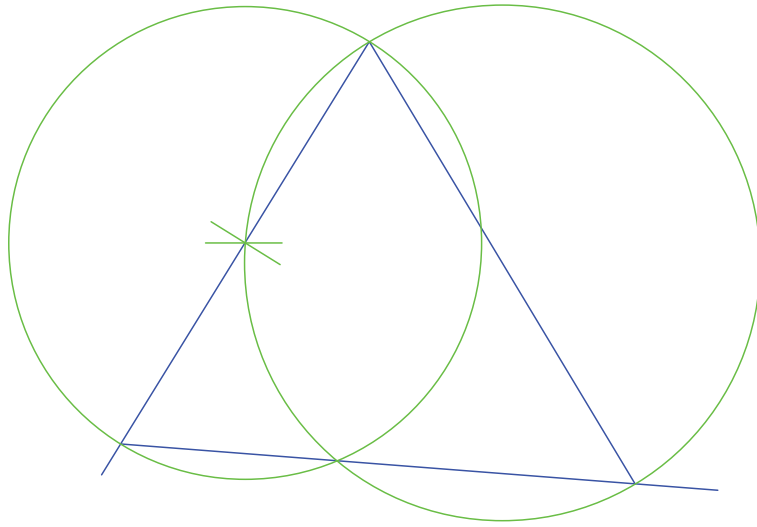
2008-2-6



by H. E

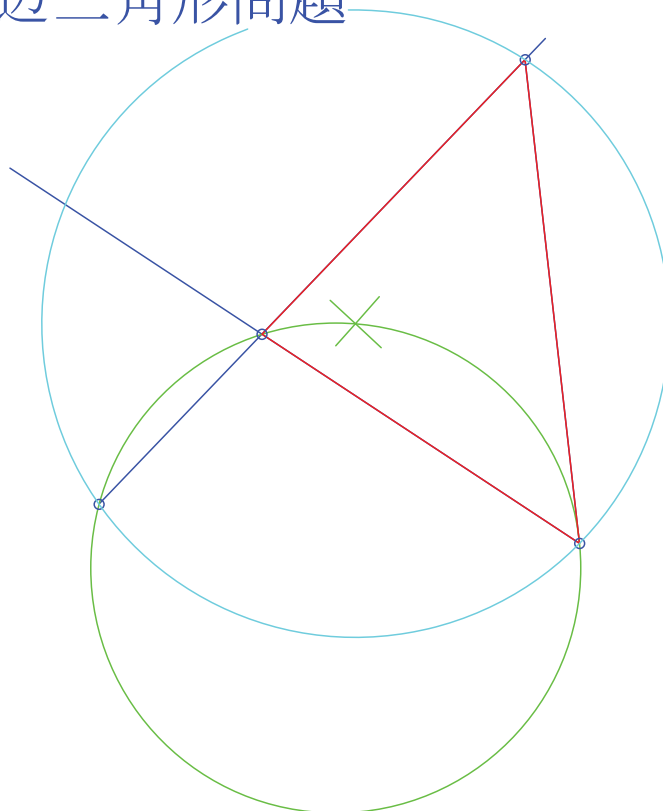
2008-2-6

2円の2等辺三角形問題



by H. E

2円の2等辺三角形問題

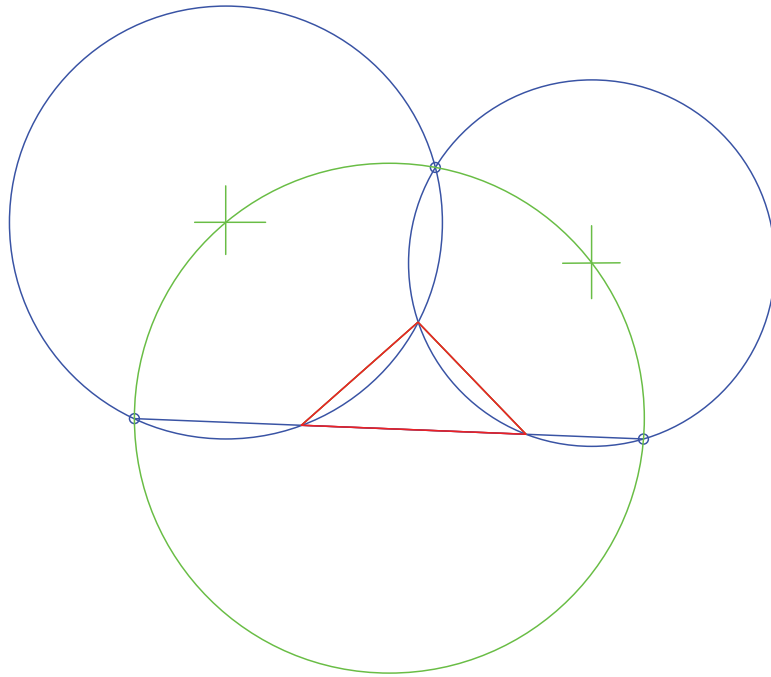


2008-2-6

by H. E

円周上で交わり、中心を持つ2円の二等辺三角形定理

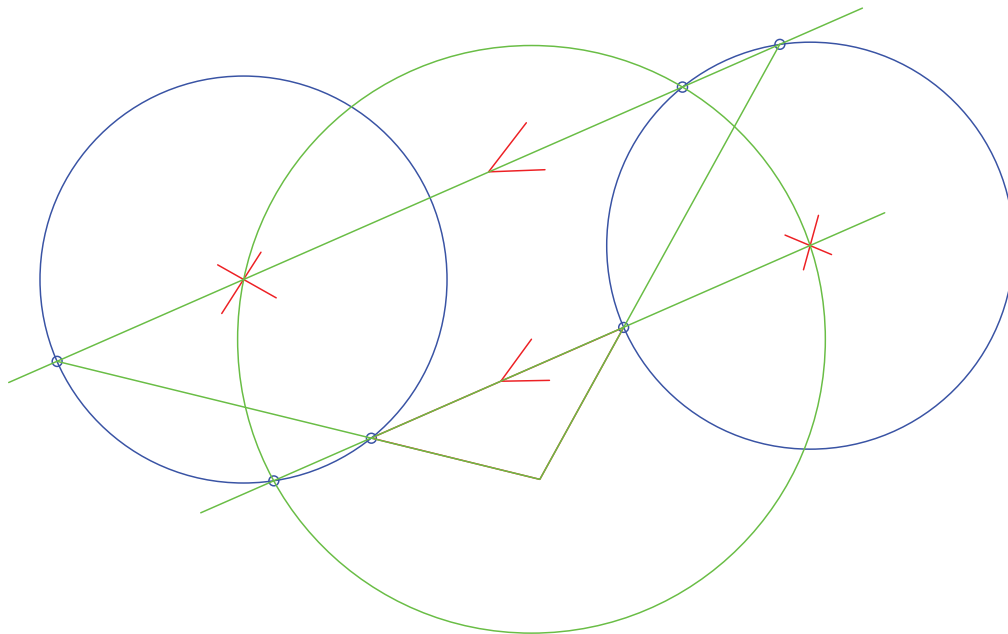
2008-2-14



蛭子井博孝

2-9-3 平行線 2等辺三角形

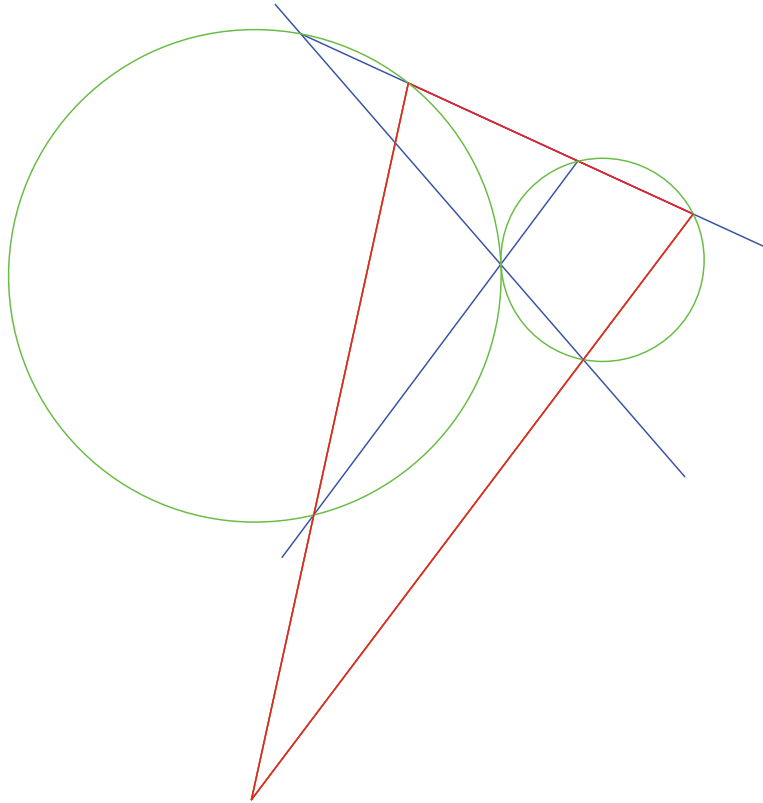
2008-2-9



by 蛭子井博孝

2-11-3 接円 2等辺三角形

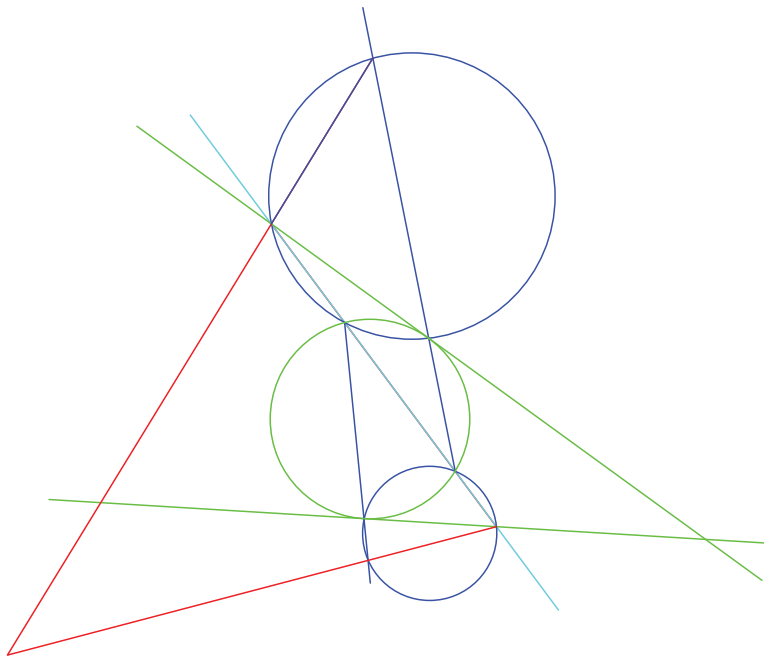
2008-2-11



by 蛭子井博孝

円に接する2直線の2等辺三角形定理

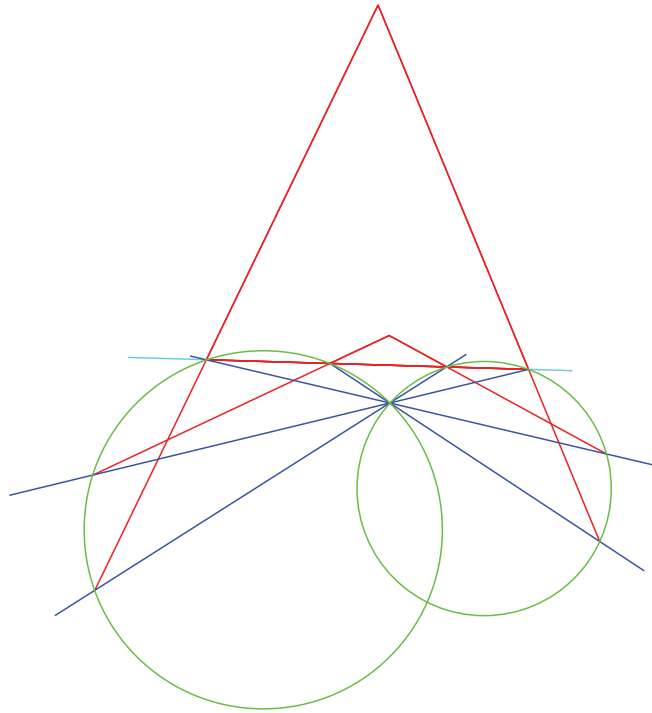
2008-2-14



蛭子井博孝

2円と1直線の大小2等辺三角形

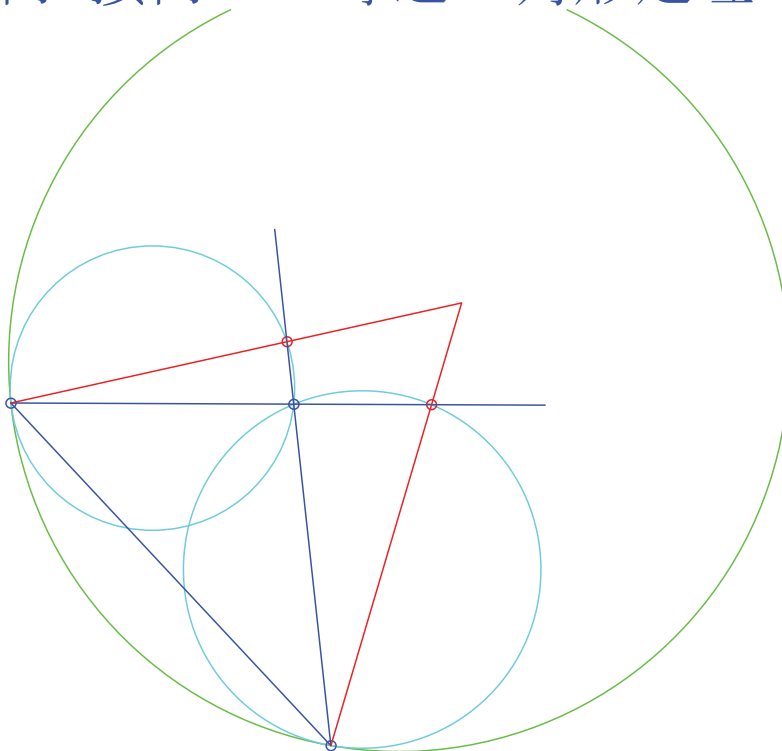
2008-2-14



蛭子井博孝

円2接円の二等辺三角形定理

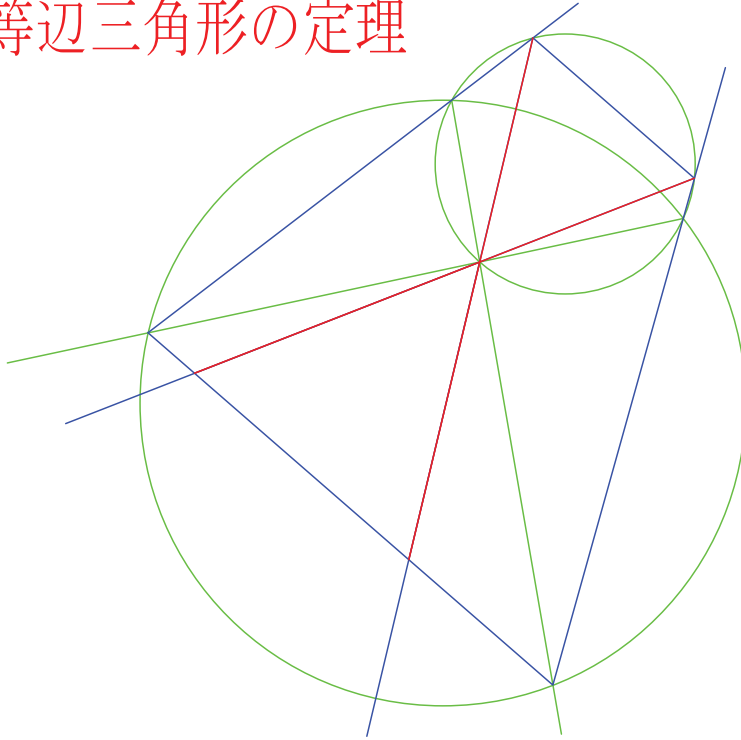
2008-5-19



蛭子井博孝

二等辺三角形の定理

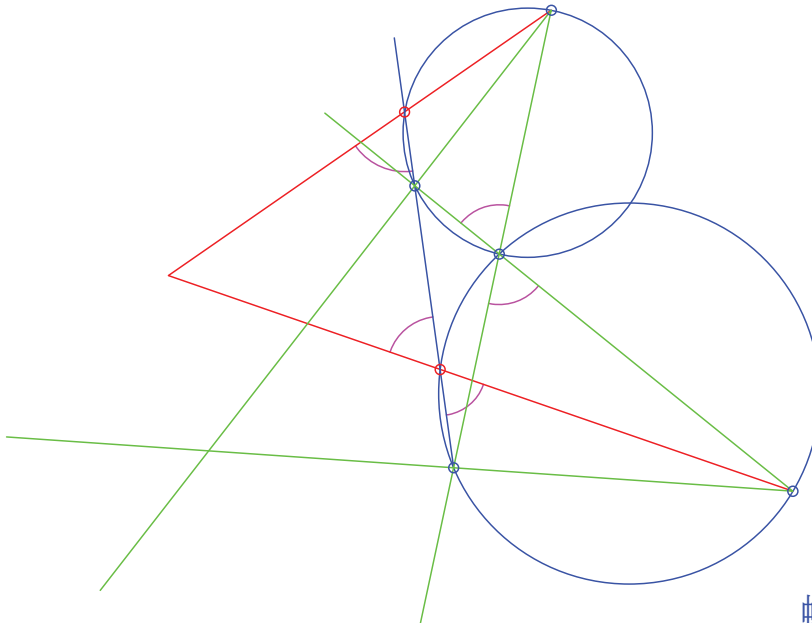
2008-5-22



蛭子井博孝

5-24 二等辺三角形(証明付き)

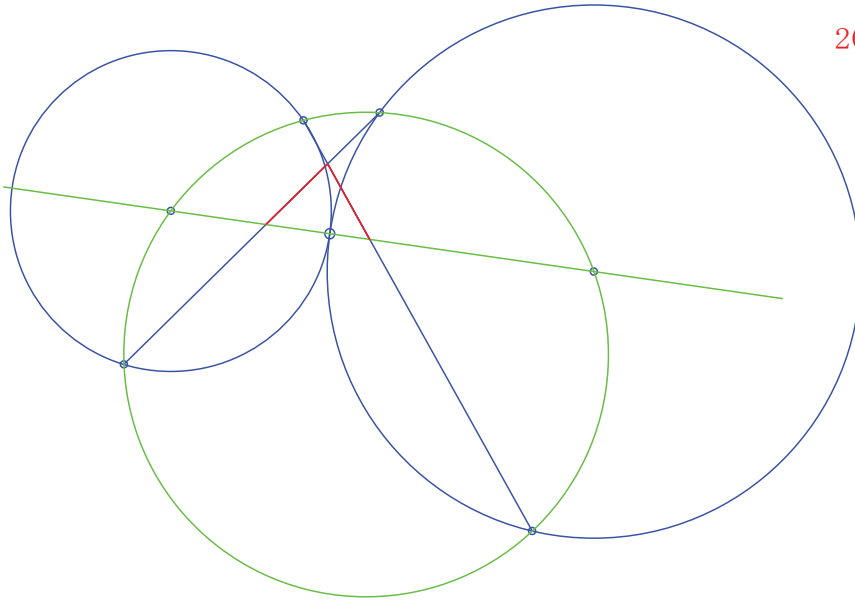
2008-5-24



蛭子井博孝

小さな2等辺三角形

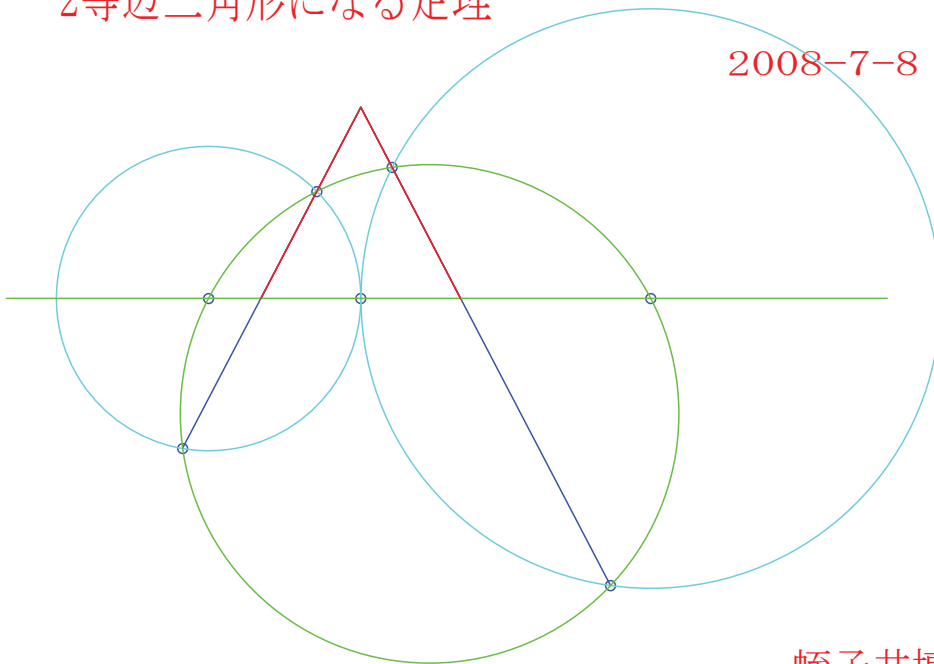
2008-6-22



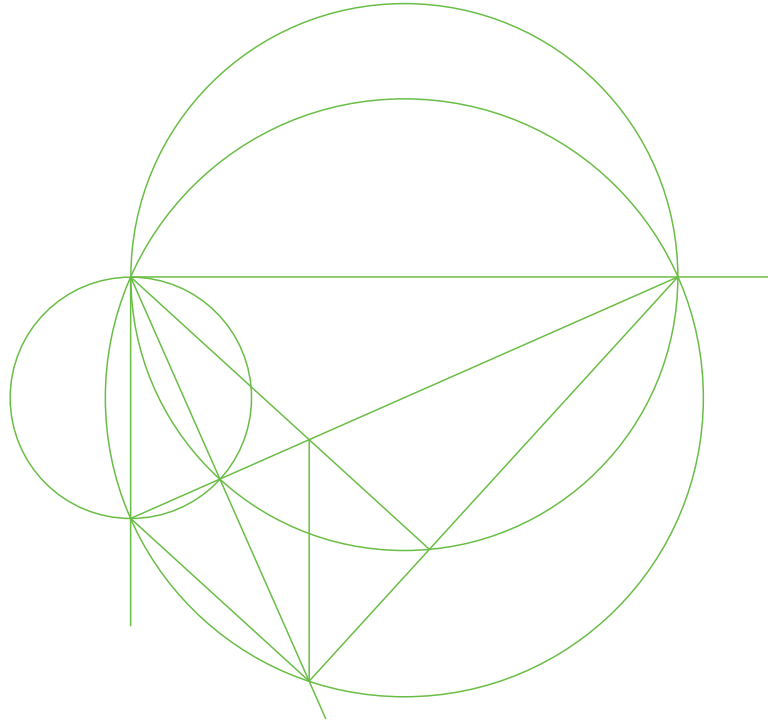
蛭子井博孝

2等辺三角形になる定理

2008-7-8

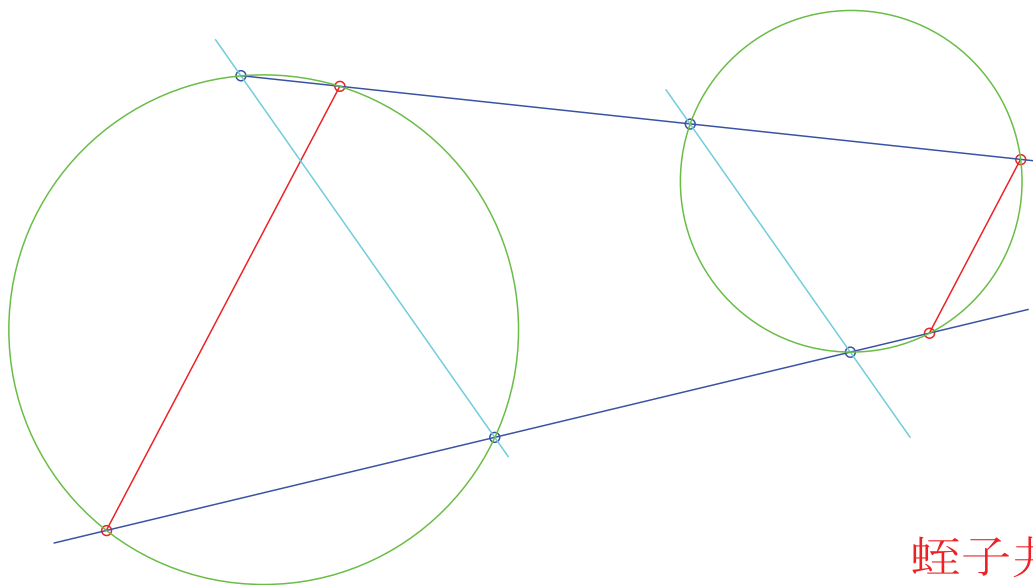


蛭子井博孝



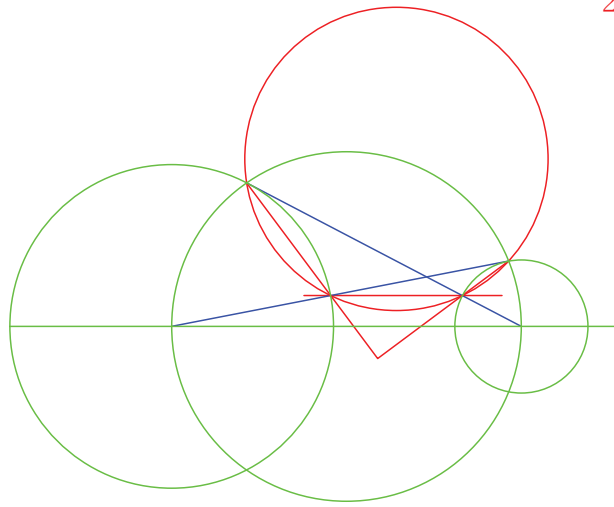
水色平行なら、赤平行

2008-5-19



蛭子井博孝

2007-12-15



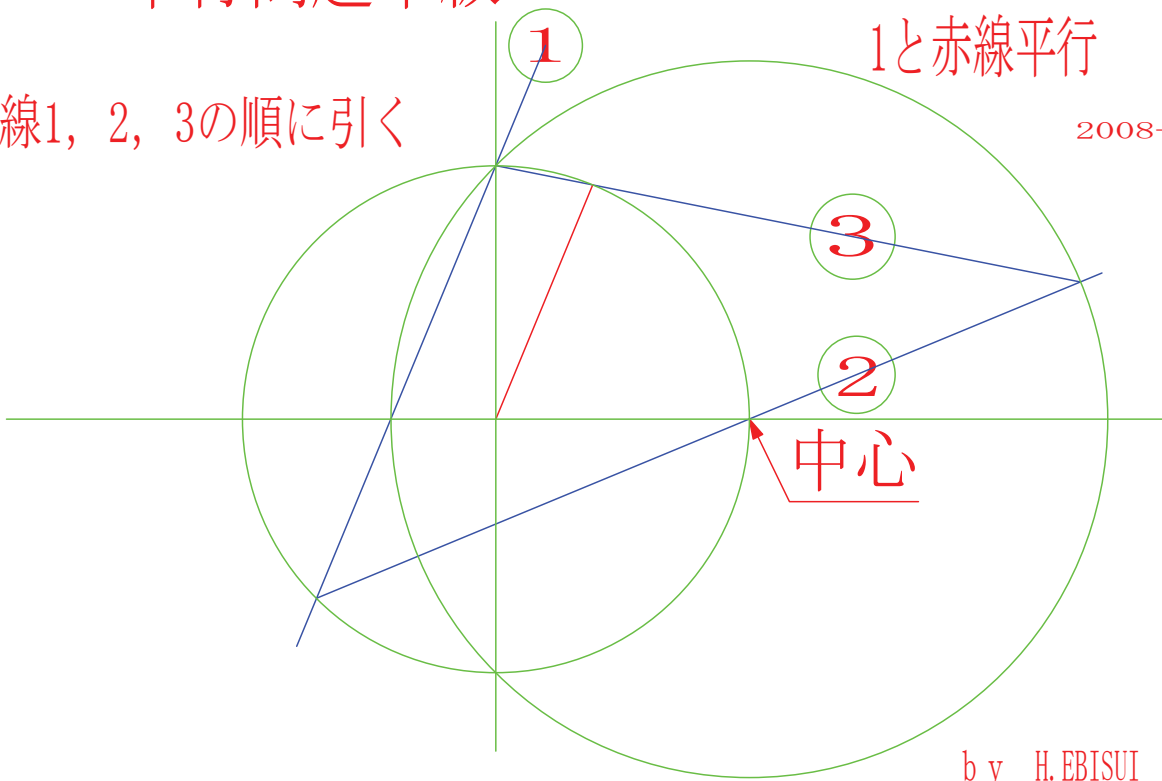
H. EBISUI

平行問題中級

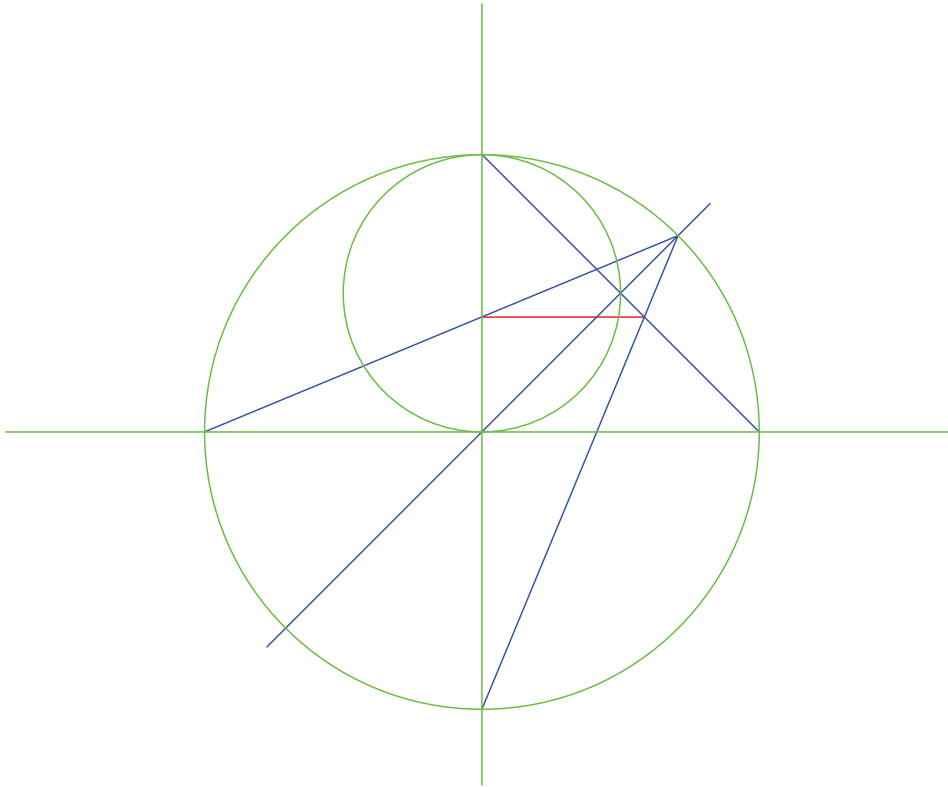
青線1, 2, 3の順に引く

1と赤線平行

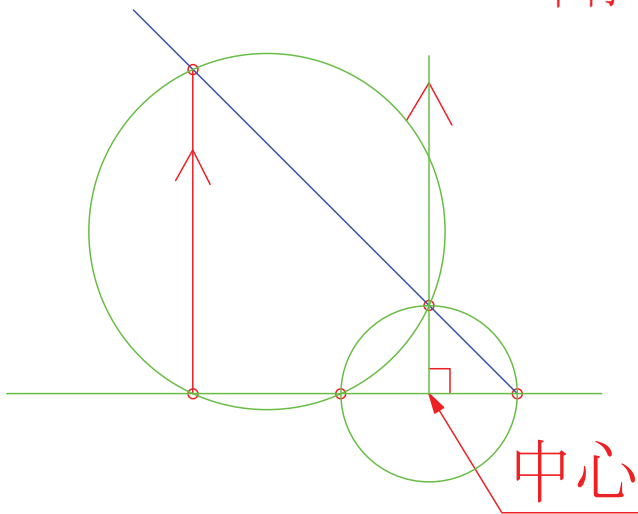
2008-1-4



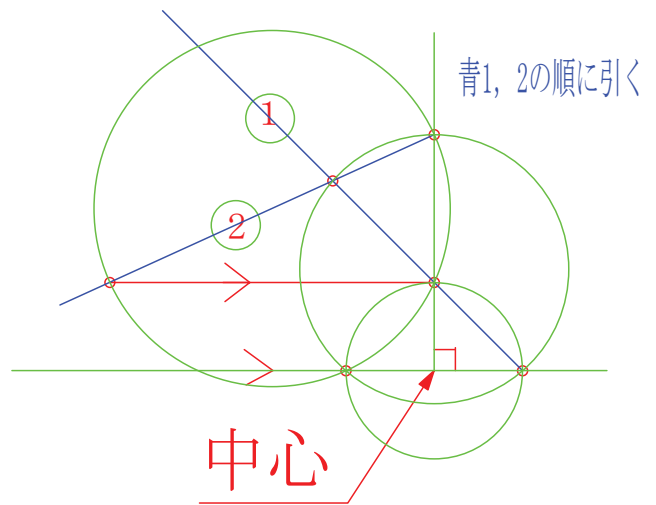
by H. EBISUI



平行であることを証明せよ 2008-1-6



初級問題

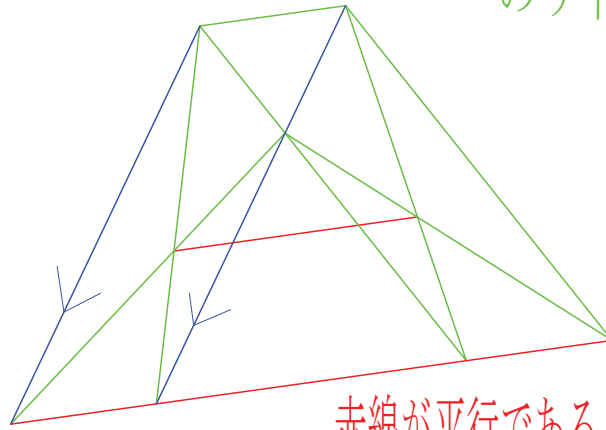


準中級問題

おむすびの定理

2008-1-7

のり平行四辺形だよ

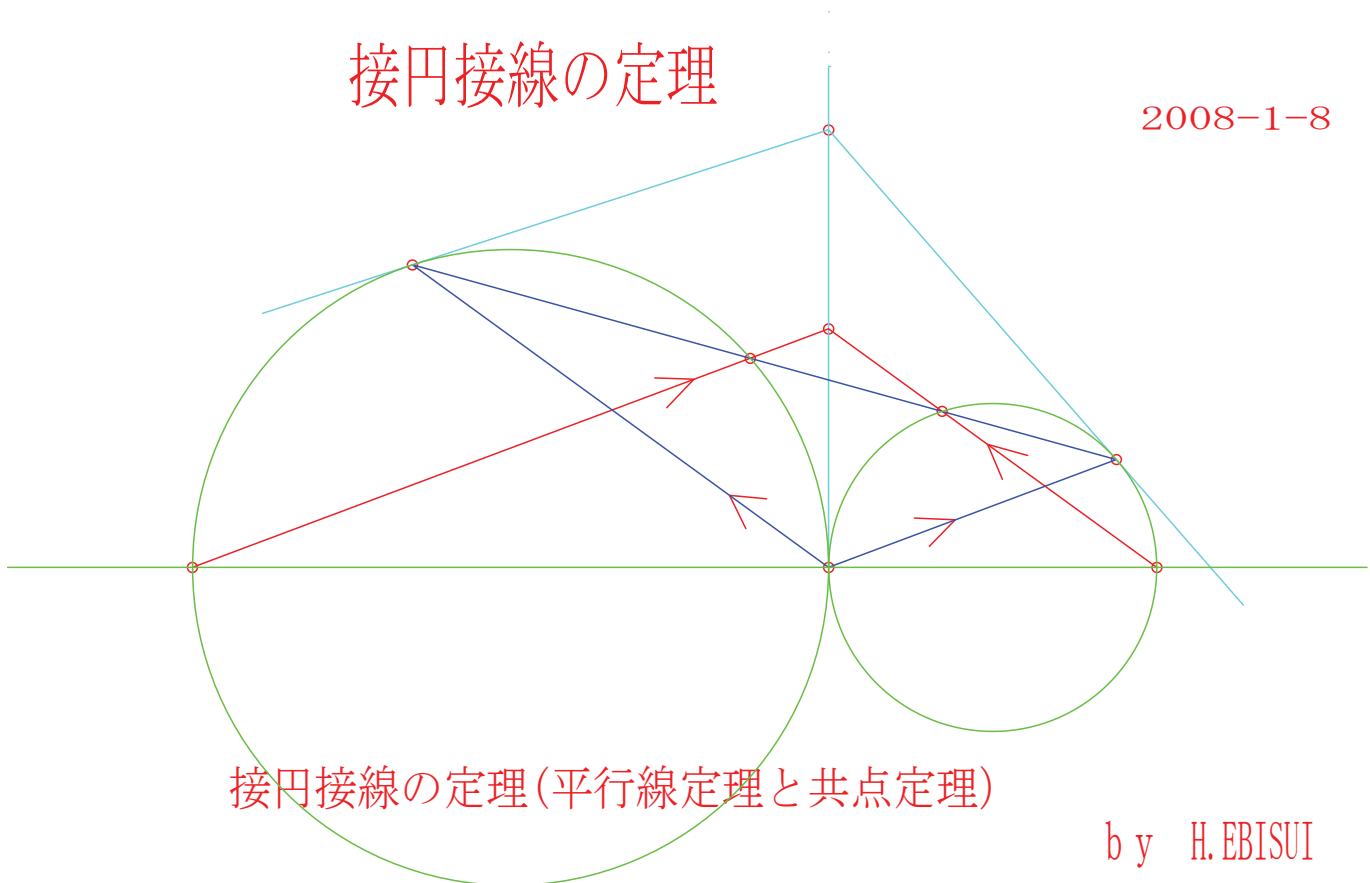


赤線が平行であることを証明せよ。

by H. E

接円接線の定理

2008-1-8



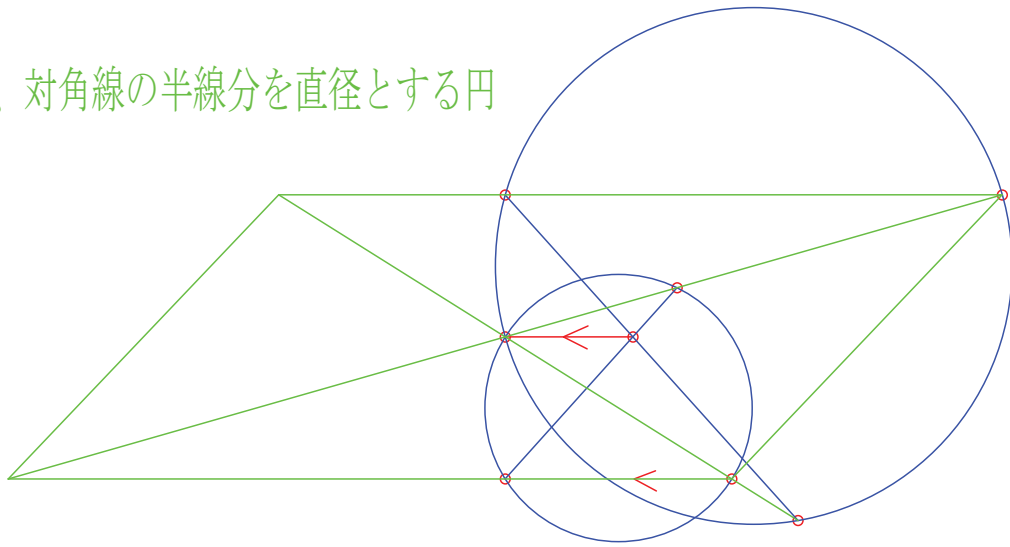
接円接線の定理 (平行線定理と共点定理)

by H. EBISUI

平行四辺形と円の平行線定理

2008-1-8

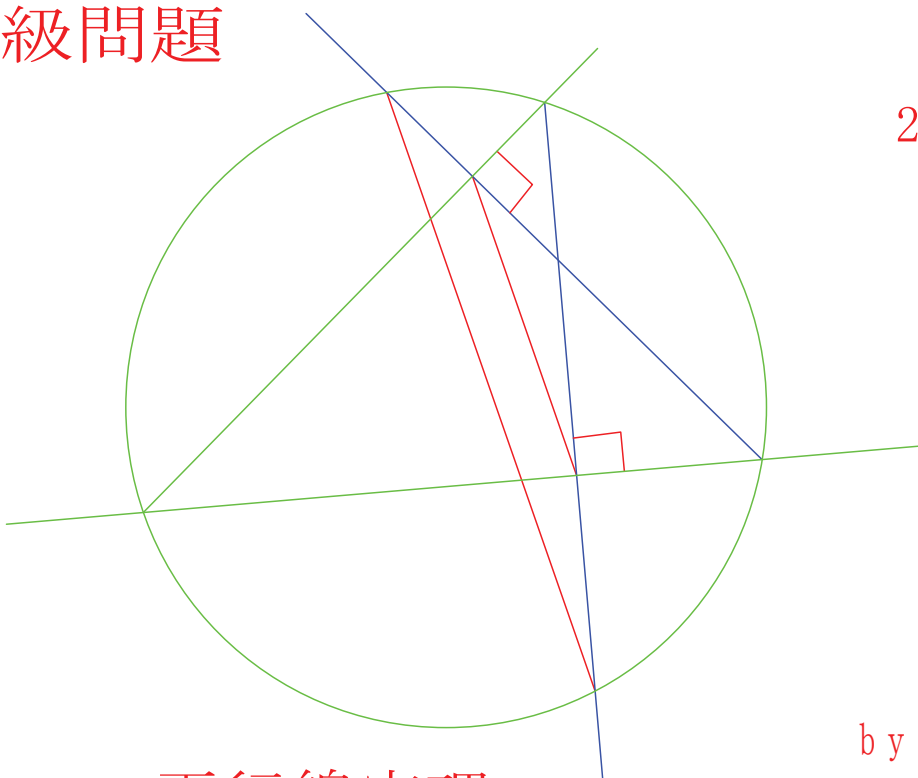
青の円は、対角線の半線分を直径とする円



b y H.EBISUI

初級問題

2008-1-10

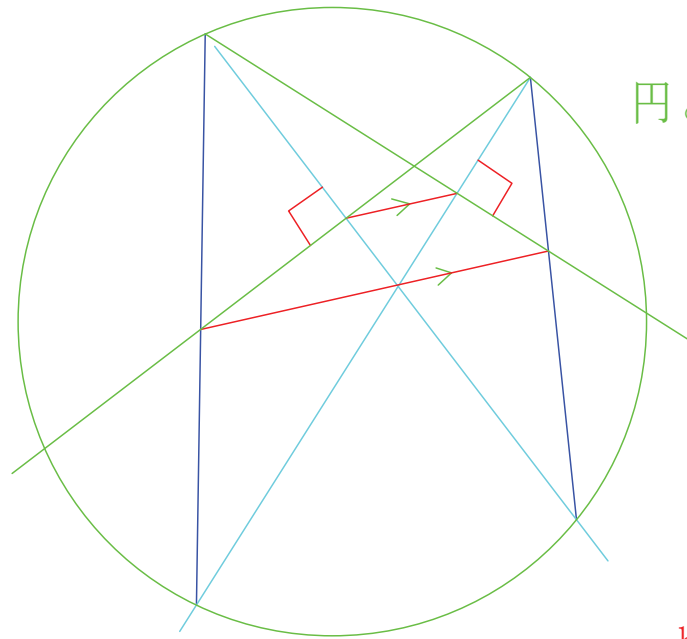


平行線定理

b y H.EBISUI

平行線問題準上級

2008-1-10



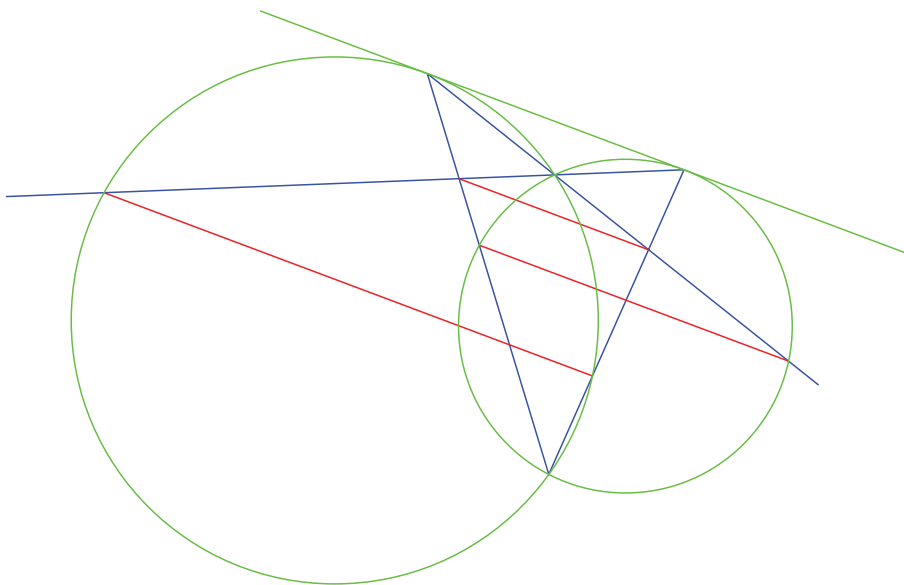
円と2直線に関する
垂線による
平行線定理

b y H. EBISUI

平行問題中級

赤線は、共通接線に平行

2008-1-11

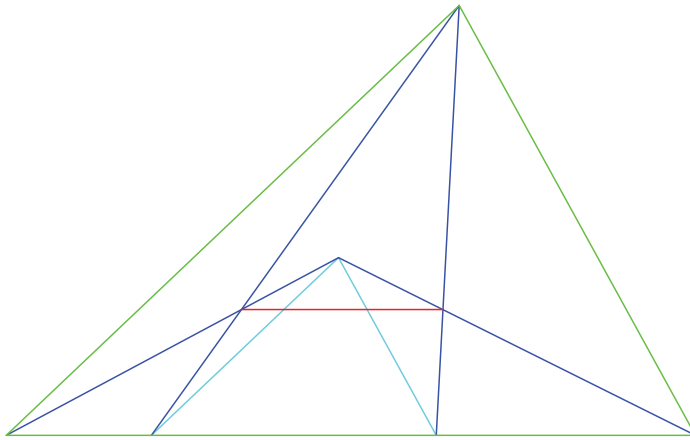


b y H. EBISUI

続おむすびの定理

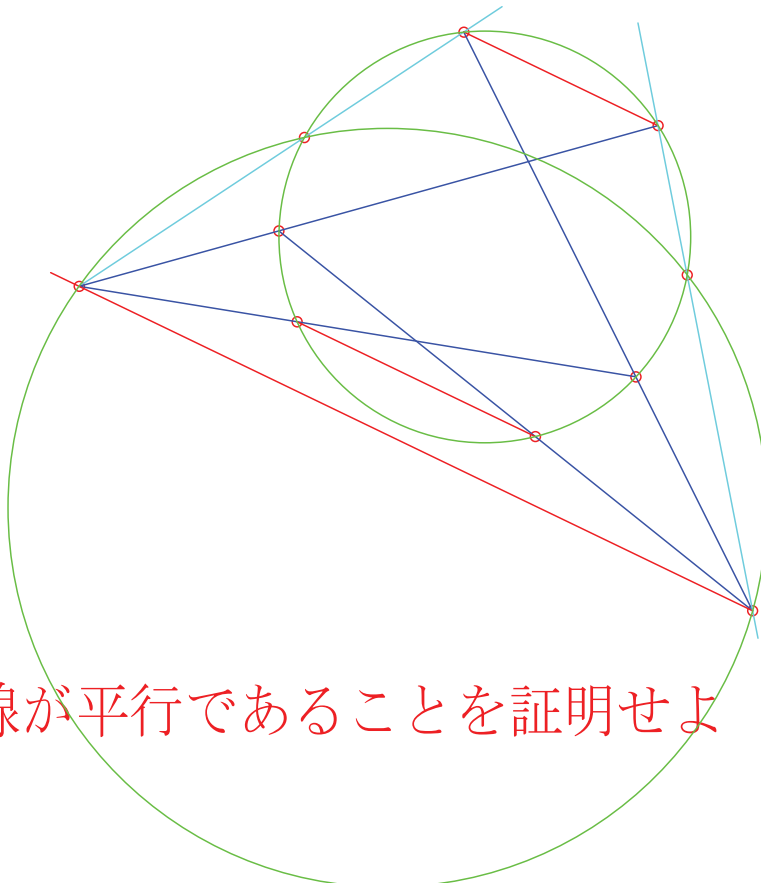
2008-1-12

水色と、みどり平行のとき、あかとみどり平行になることを証明せよ



by H. EBISUI

2008-1-13

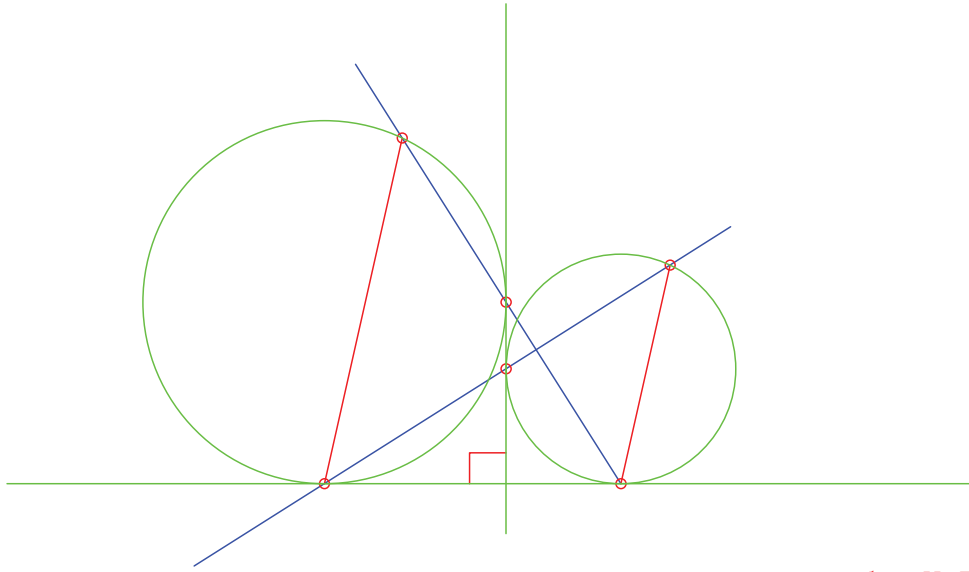


赤線が平行であることを証明せよ

by H. EBISUI

初級問題

2008-1-13

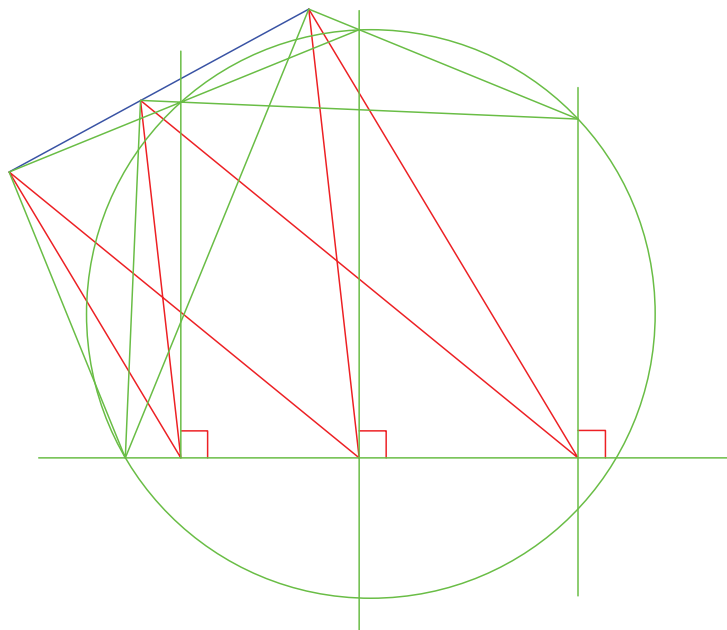


by H. EBISUI

赤3組が平行であることを証明せよ

2008-1-14

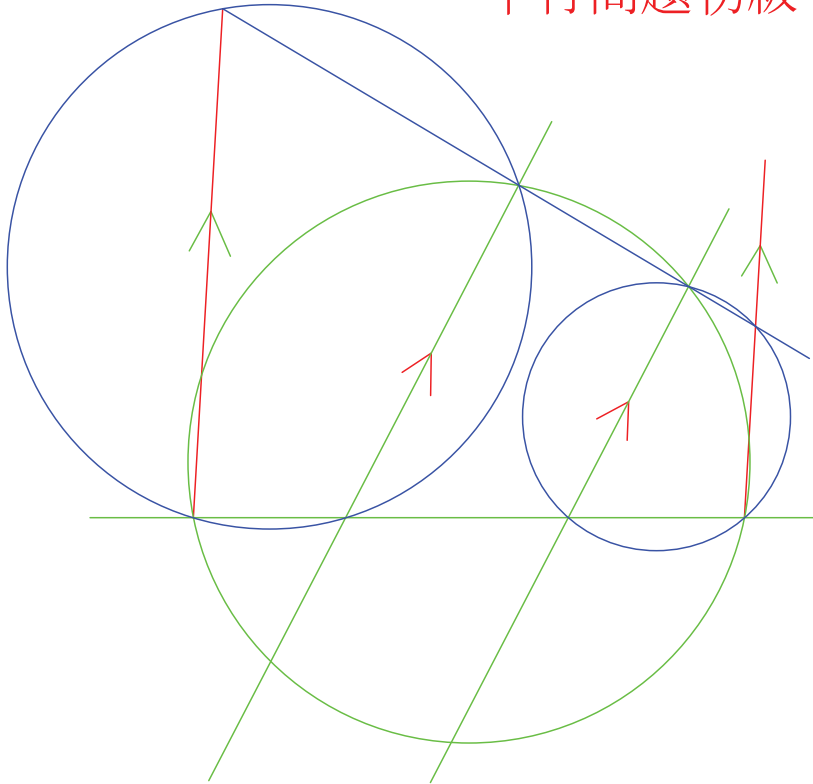
—— シムソン線



by H. EBISUI

平行問題初級

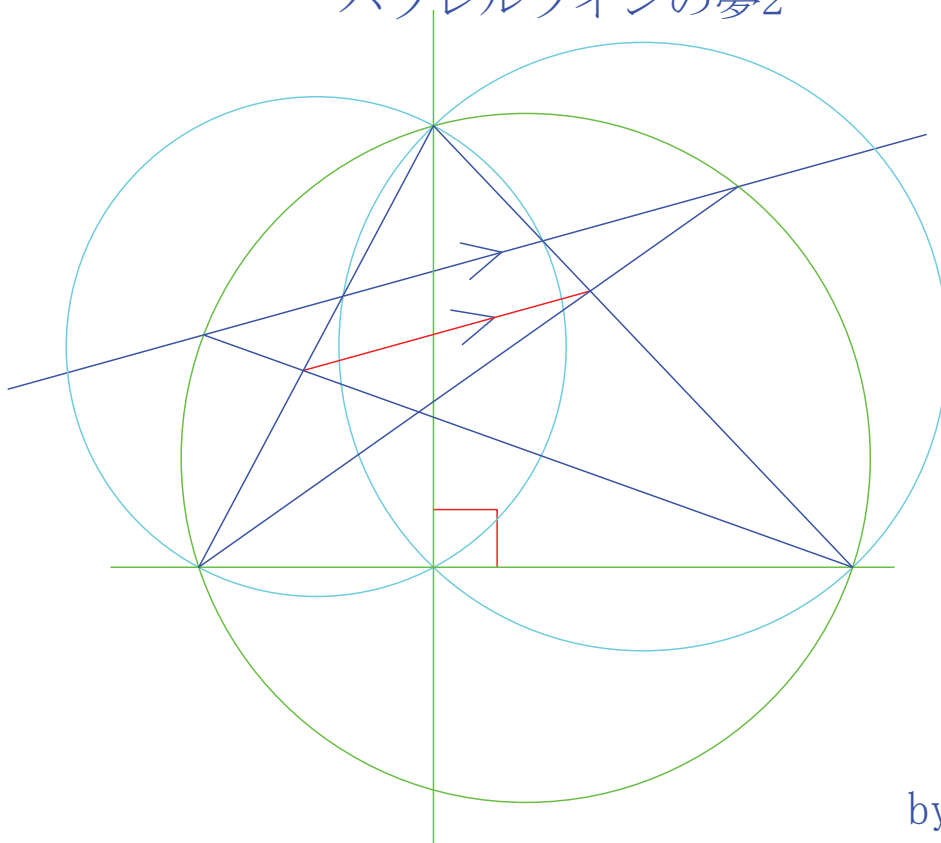
2008-1-14



by H. EBISUI

平行ラインの夢2

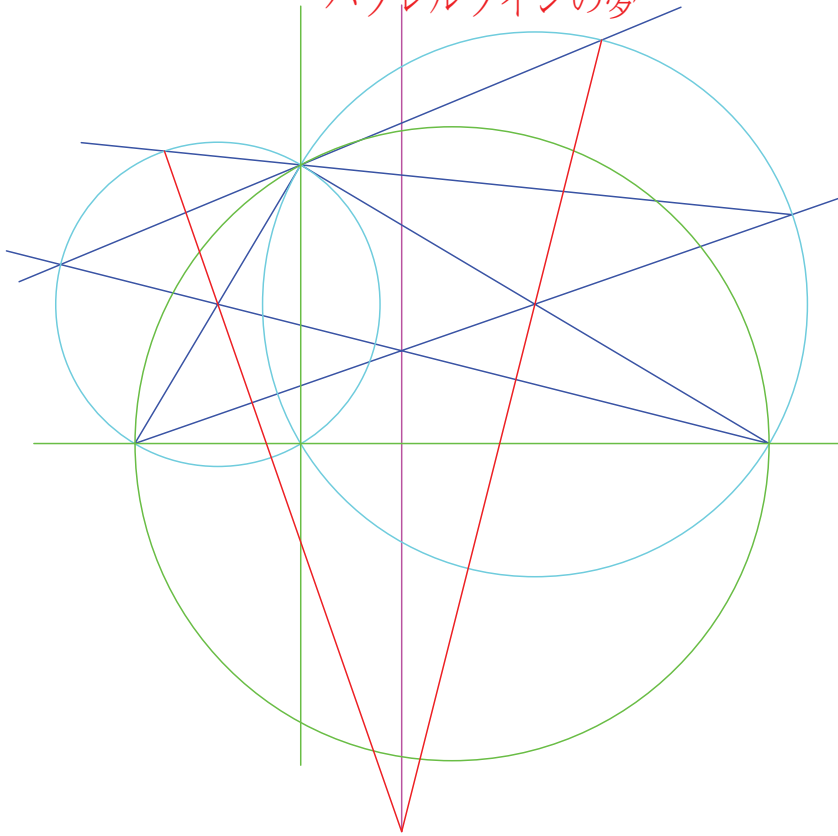
2008-1-15



by H. EBISUI

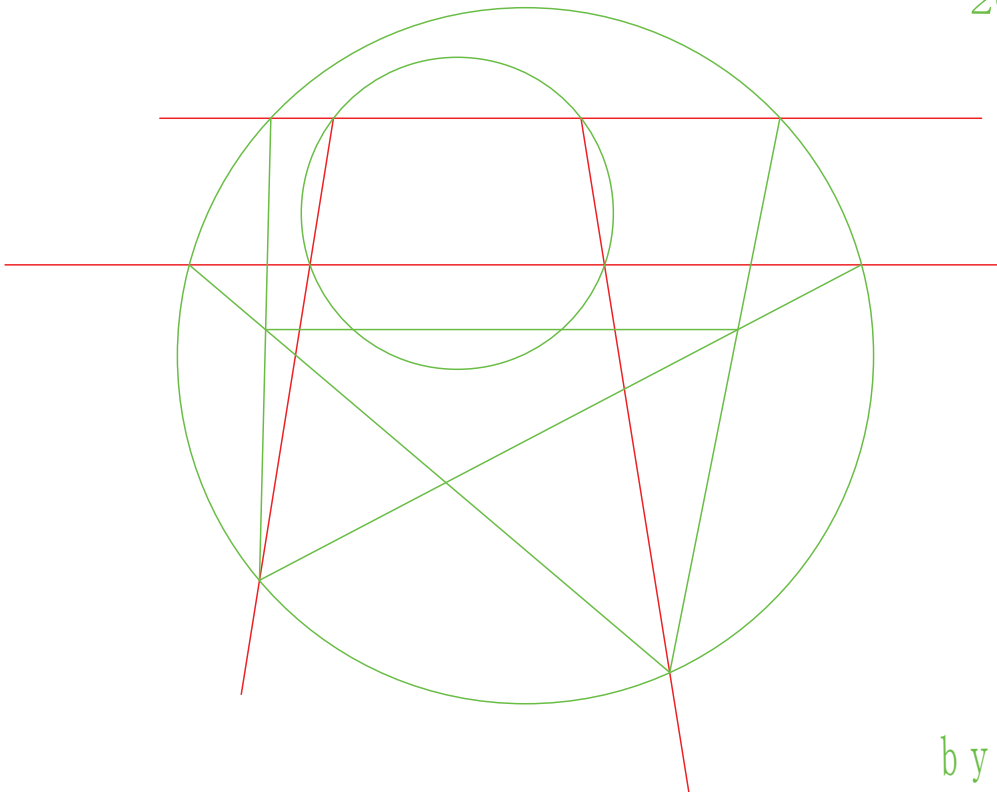
平行ラインの夢

2008-1-15



by H. EBISUI

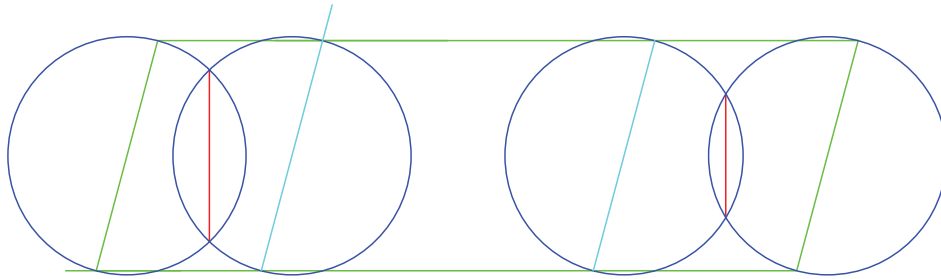
2008-1-15



by H. Ebisui

俵むすびの定理

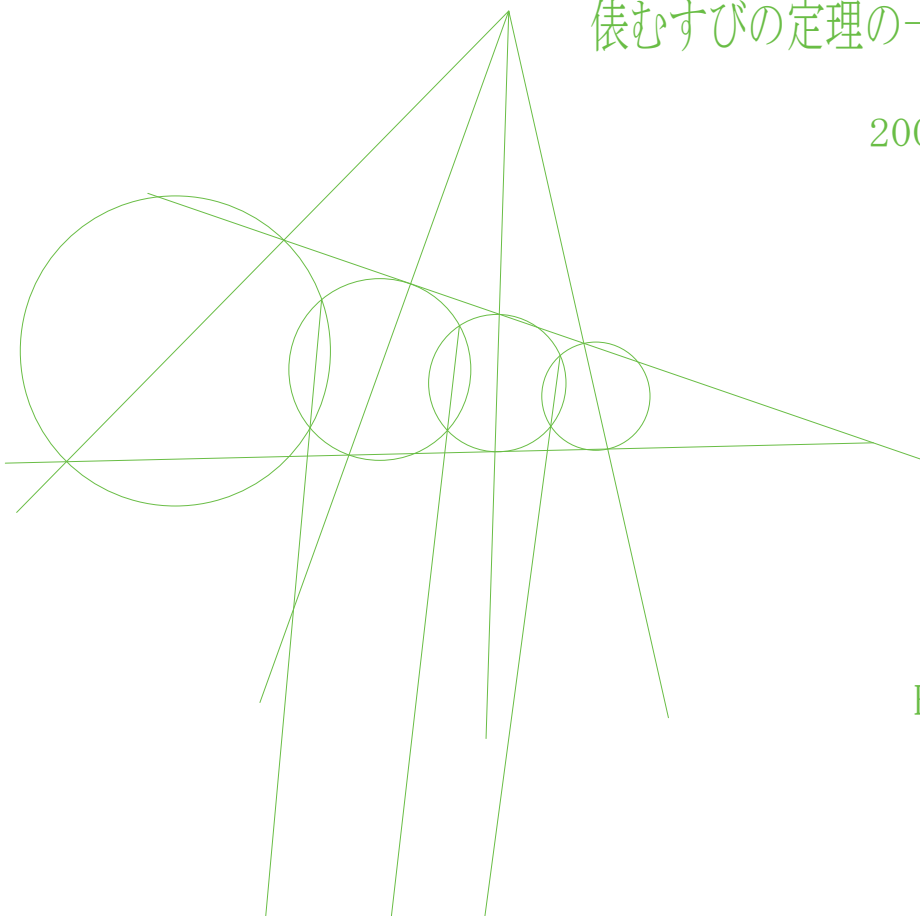
2008-1-23



by H. Ebisui

俵むすびの定理の一般型

2008-1-15

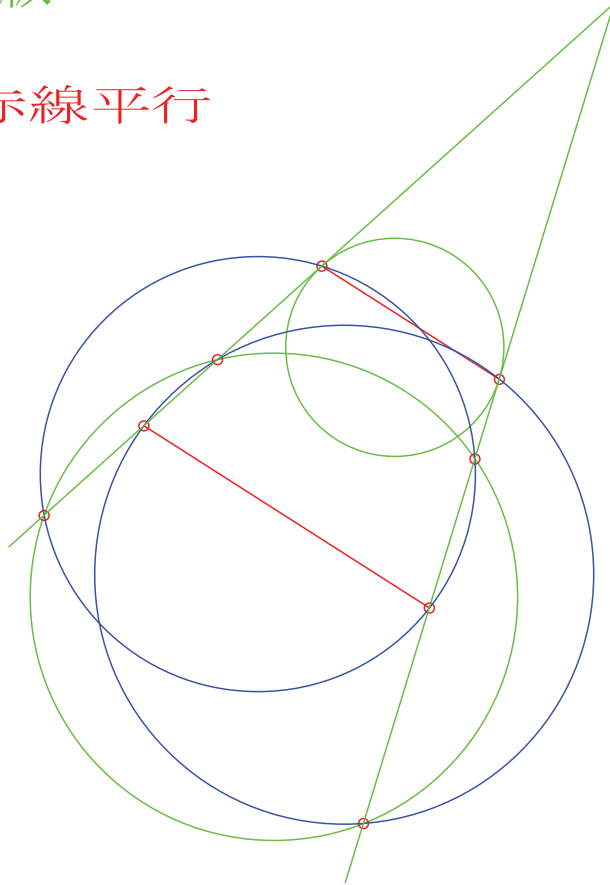


H. EBISUI

平行線問題上級

2008-1-16

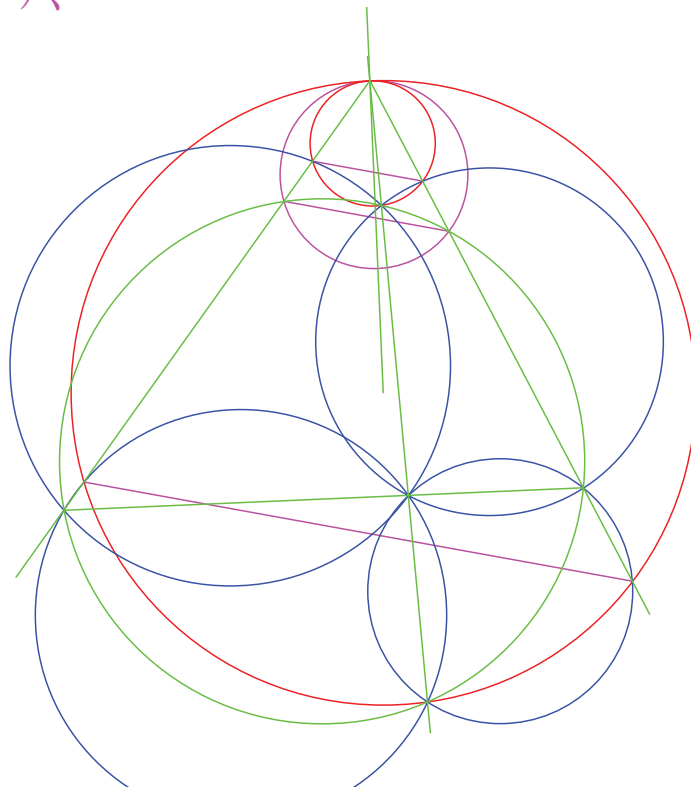
赤線平行



by H. EBISUI

僕の楽しみ、

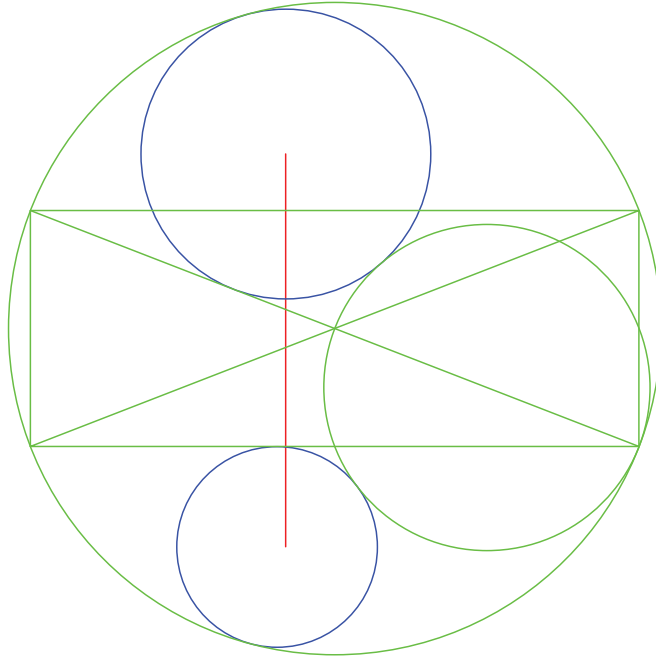
2008-1-16



平行線が成り立てば円が成り立つ

by H. EBISUI

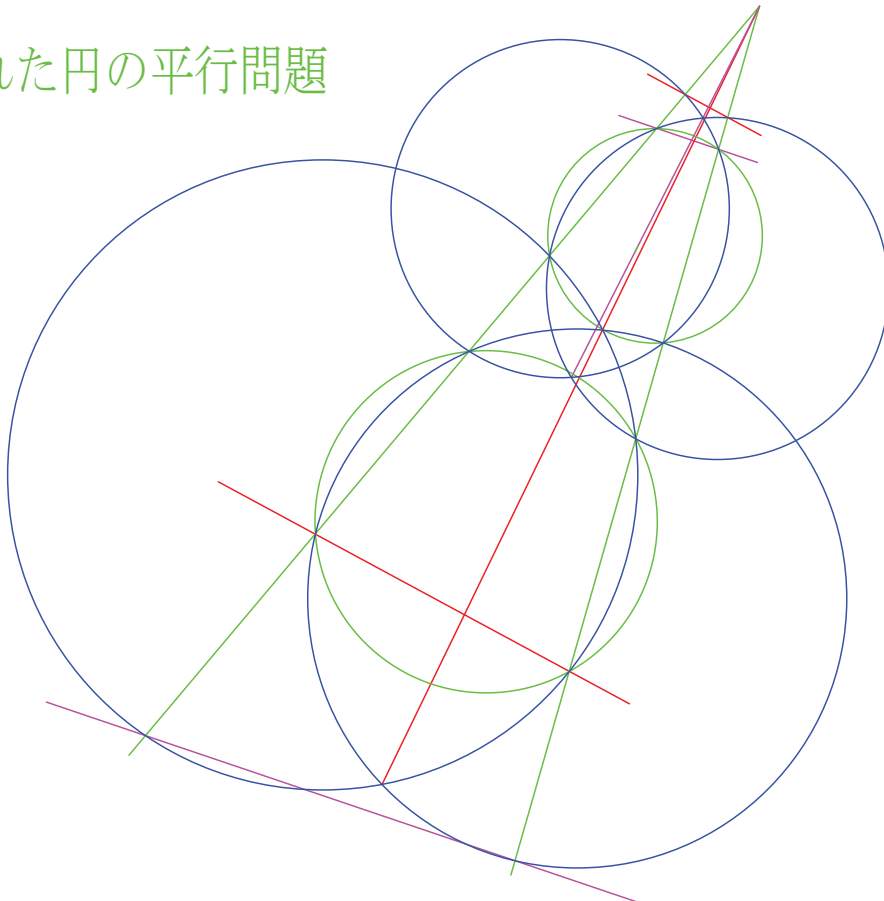
2008-1-17



by 蛭子井博孝

離れた円の平行問題

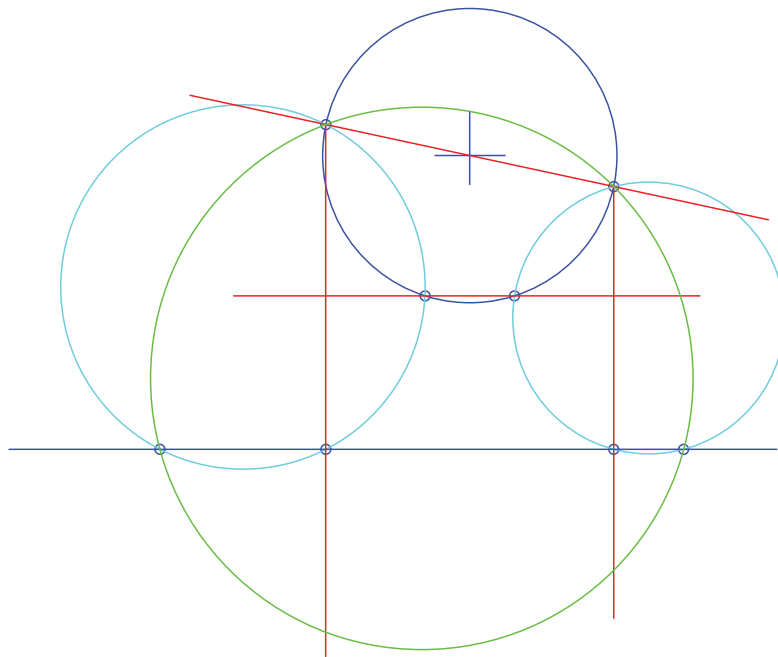
2008-1-18



by H. EBISUI

宮島の定理

2008-1-21



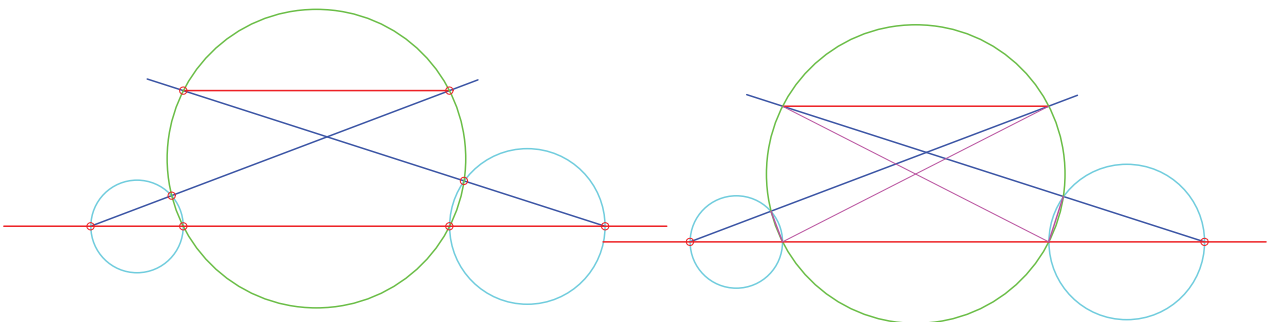
by H. EBISUI

山と月の定理

2008-1-21

赤線平行でしょうか

赤線は水色円の中心線

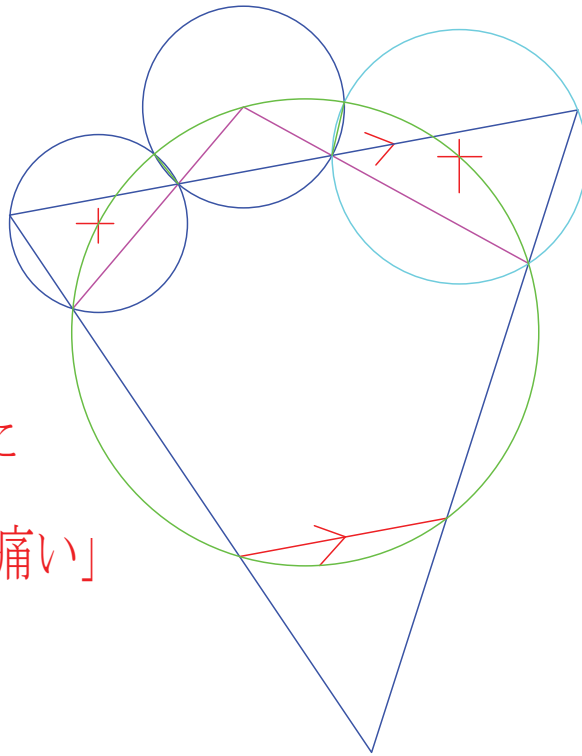


夕焼けや水平線に山の月

by H. EBISUI

お化けの定理

2008-1-23

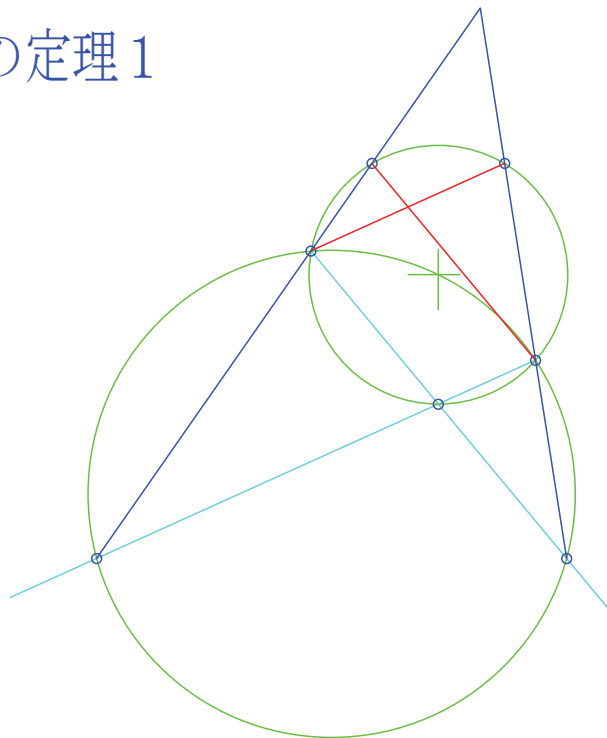


平行線を証明するのに
「頭が痛い頭が痛い」

by H. Ebisui

平行四辺形の定理 1

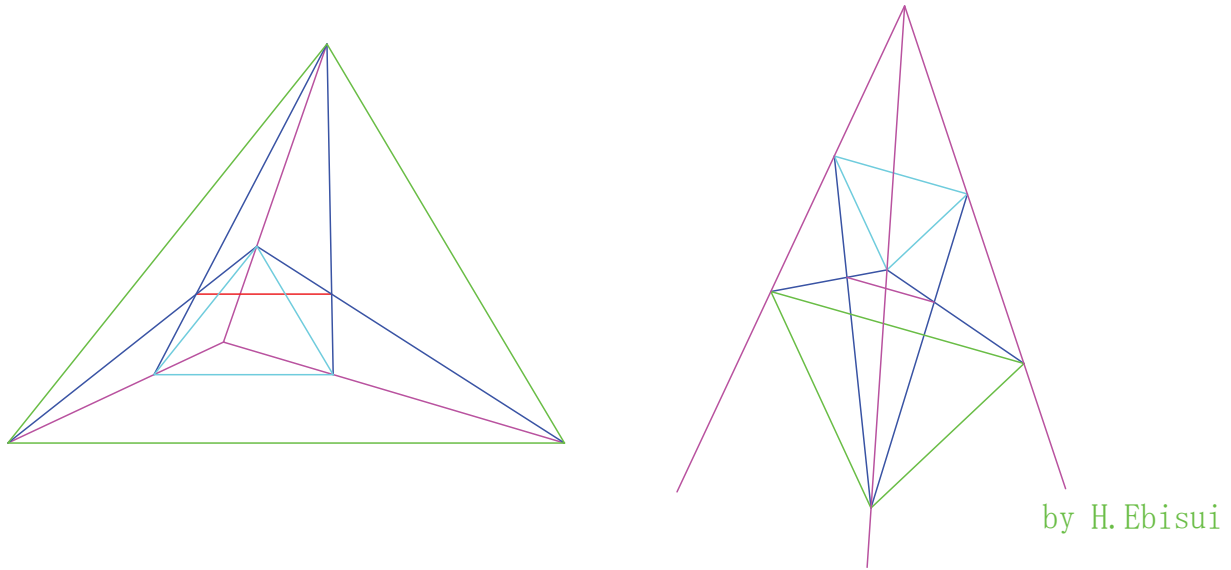
2008-1-24



by H.E

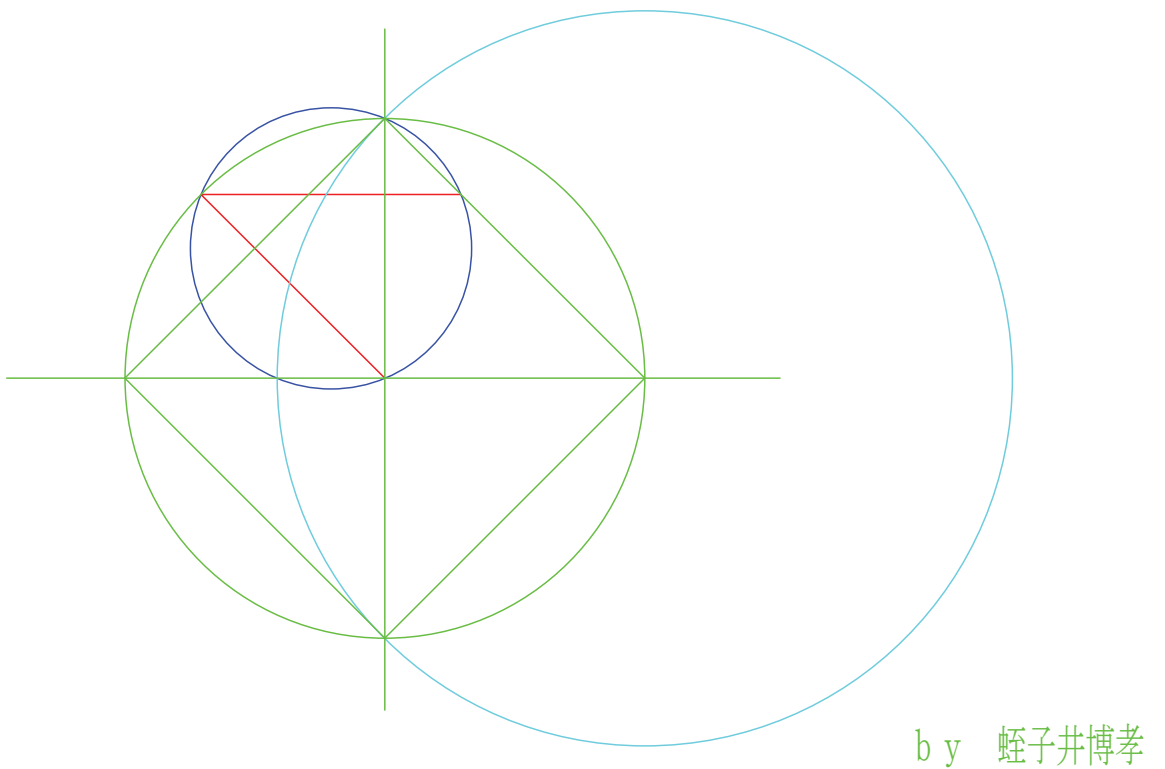
三角いなるの定理

2008-1-23



正方形の平行問題

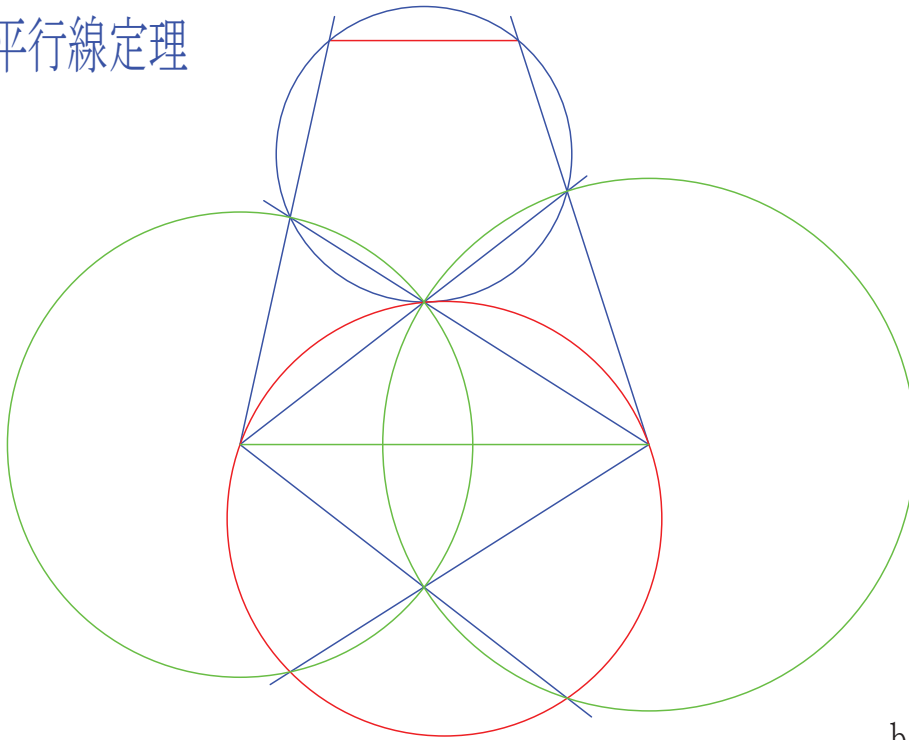
2008-1-25



人形の定理

2008-2-4

共円と平行線定理

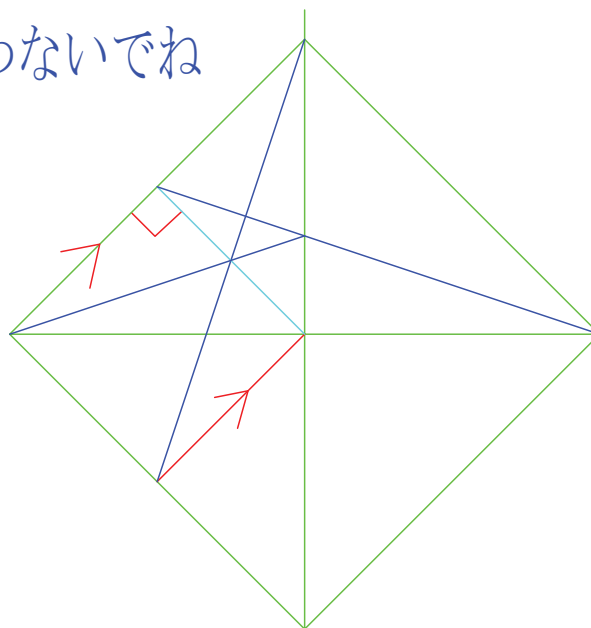


by 蛭子井博孝

正方形の定理 1

2008-2-4

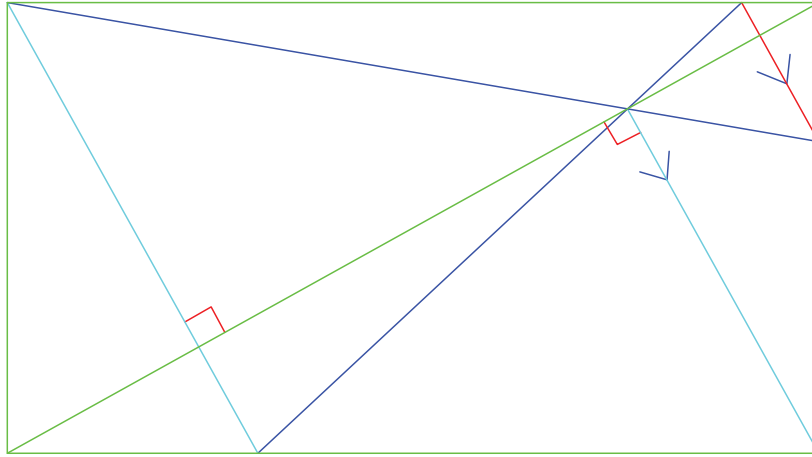
青線の順番間違わないでね



by 蛭子井博孝

長方形の定理 2

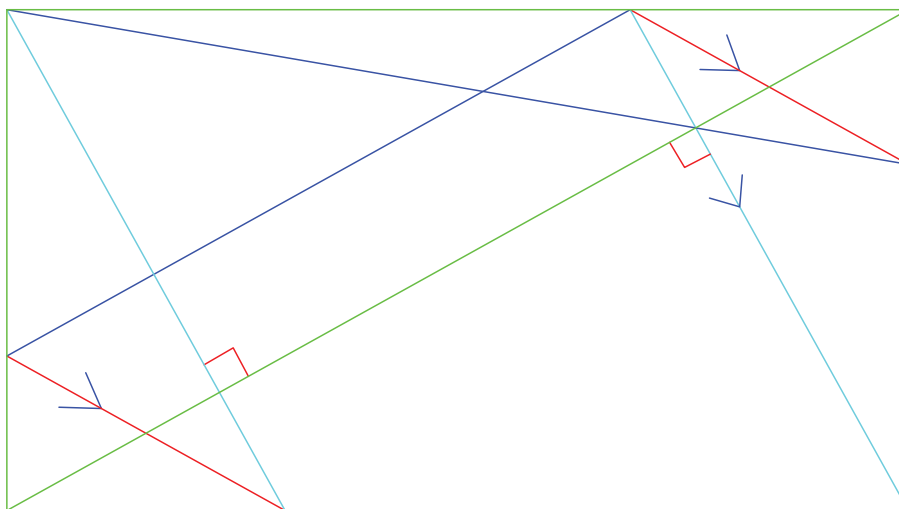
2008-2-4



by 蛭子井博孝

長方形の定理 3

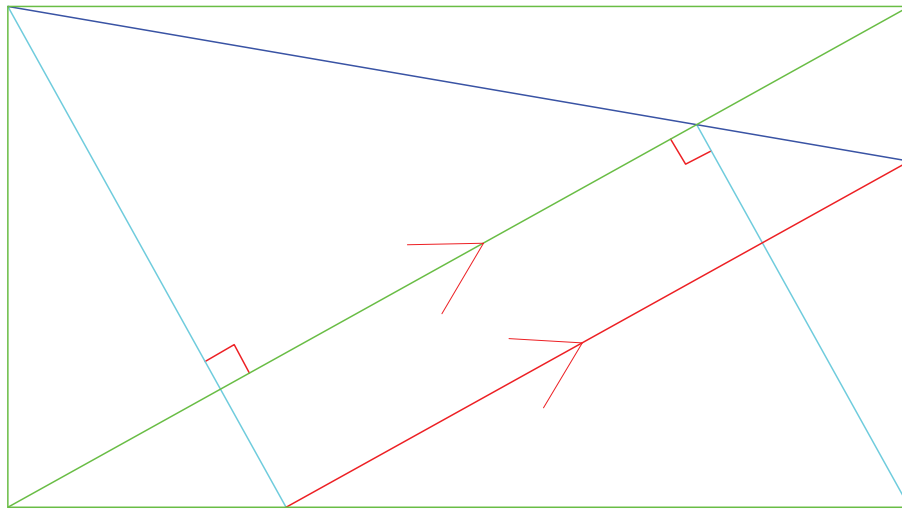
2008-2-4



by 蛭子井博孝

長方形の定理

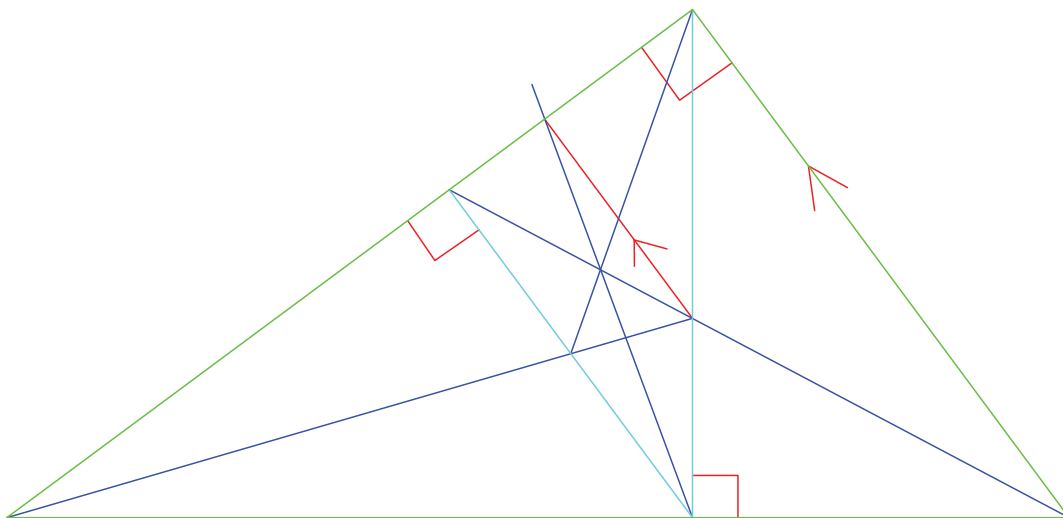
2008-2-4



by 蛭子井博孝

直角三角形の平行問題

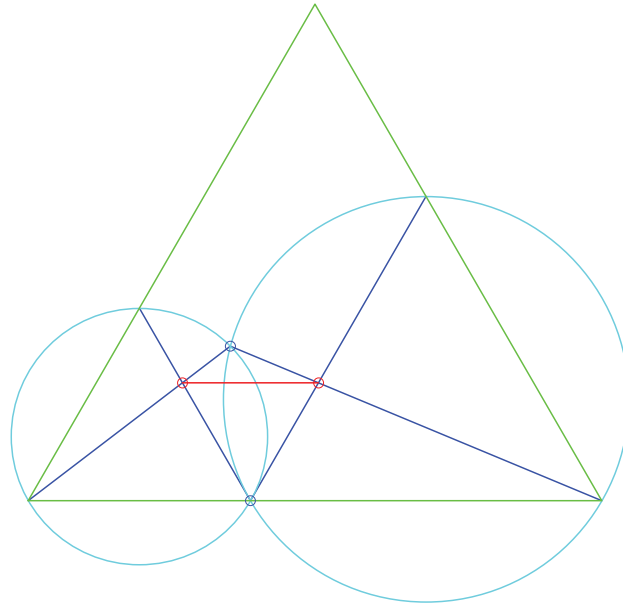
2008-2-4



青線の順番間違わないでね

by 蛭子井博孝

正三角形 平行1

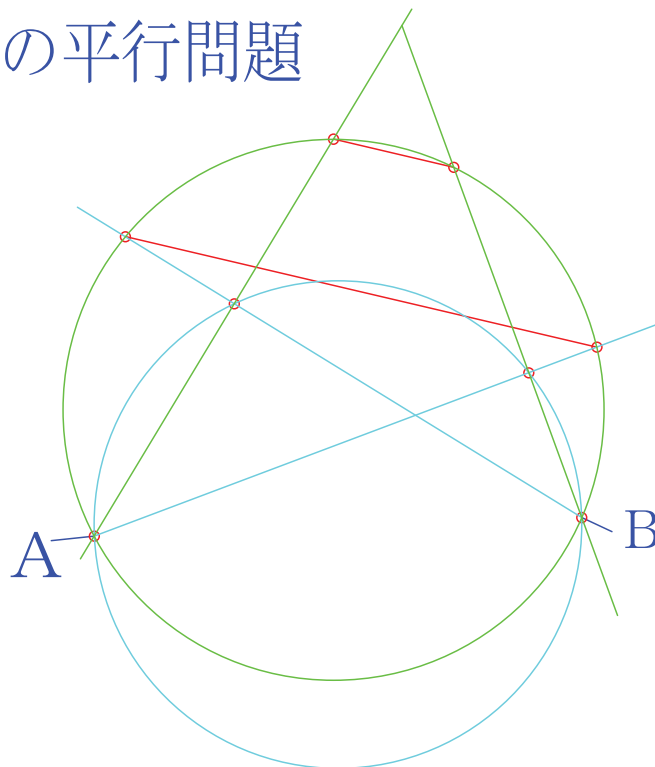


2008-2-6

by H. E

2008-2-6

円と2直線の平行問題

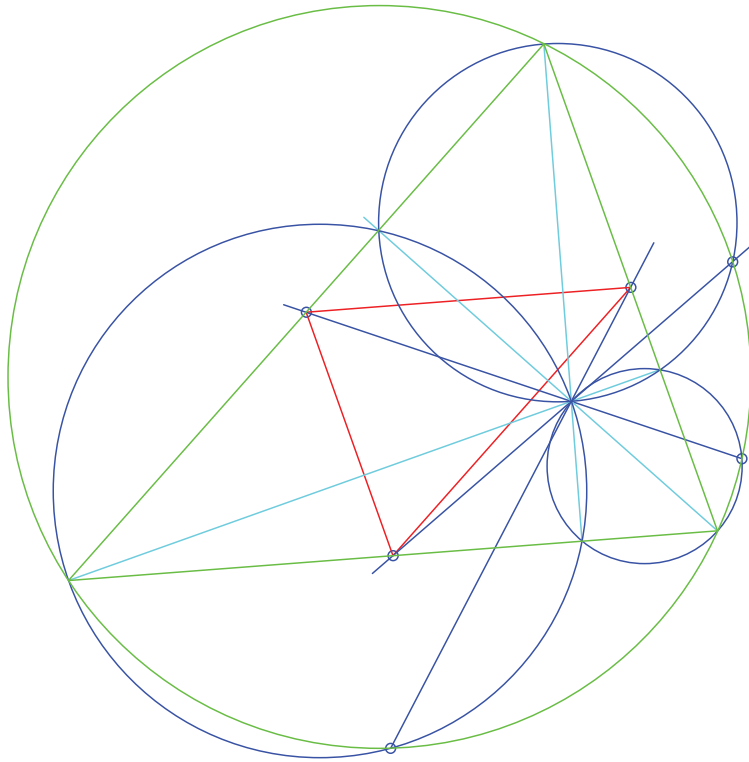


水色円は、A, Bを通る任意な円

by H. E

垂心より作った3円と外接円の交点の性質

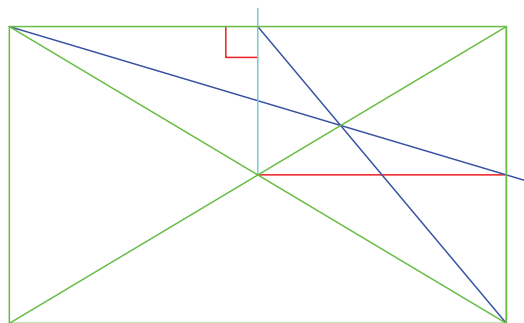
2008-2-6



by H. E

長方形の平行問題

2008-2-6

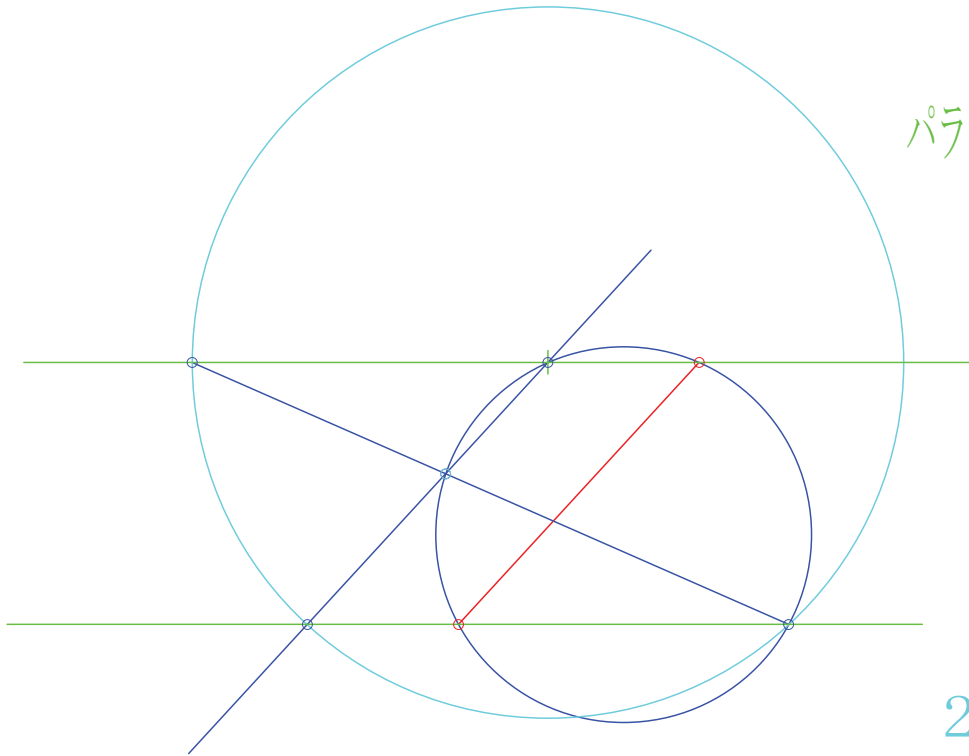


by H. E

平行線 平行線 1

2008-2-7

平行線 ありがとう

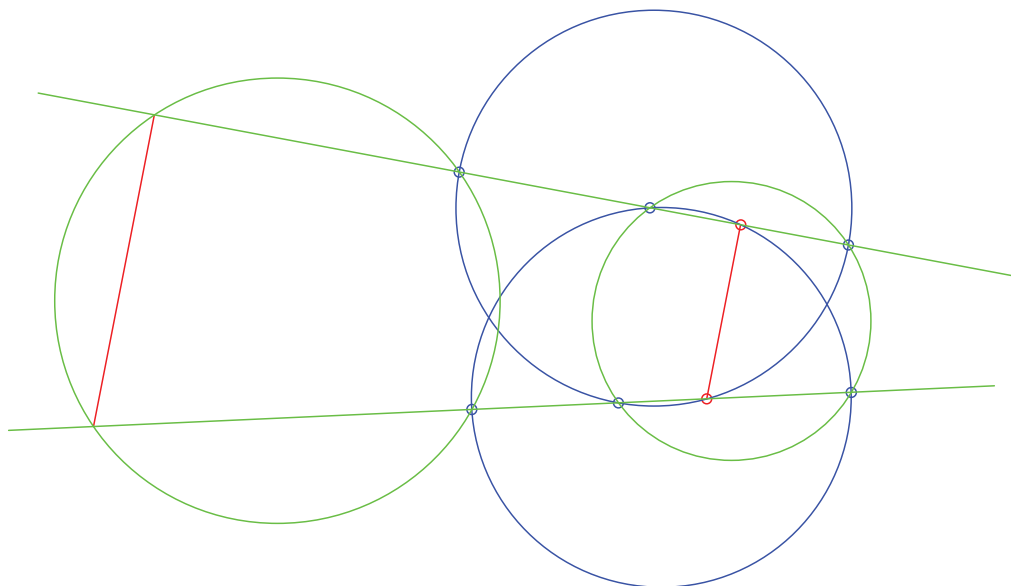


蛭子井博孝

2G7H3E8Y

2円2直線 平行 1

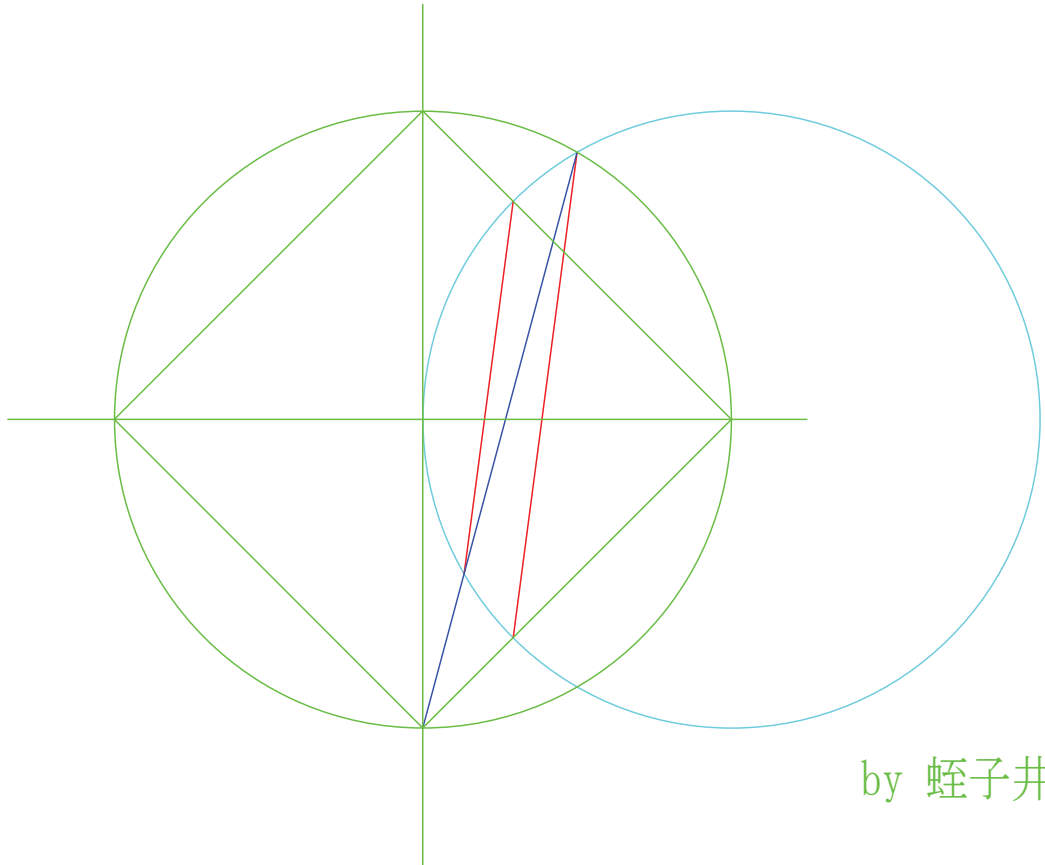
2008-2-8



b y 蛭子井博孝

2-10-5 正方形円 平行1

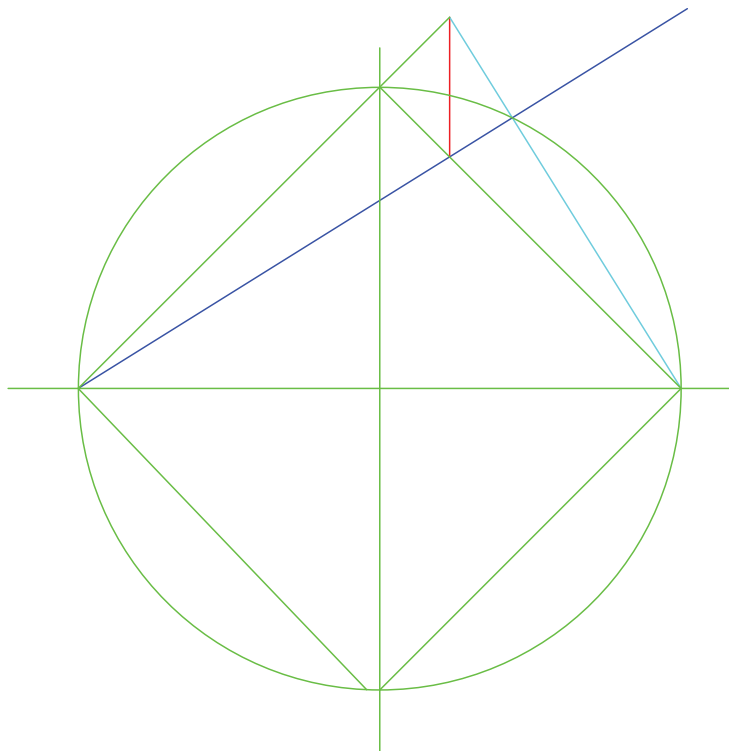
2008-2-10



by 蛭子井博孝

2-10-6 正方形円 平行2

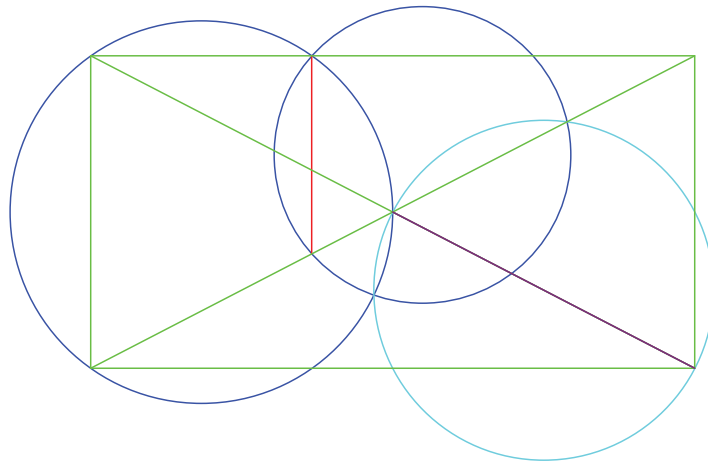
2008-2-10



by 蛭子井博孝

2-11-2 長方形 平行

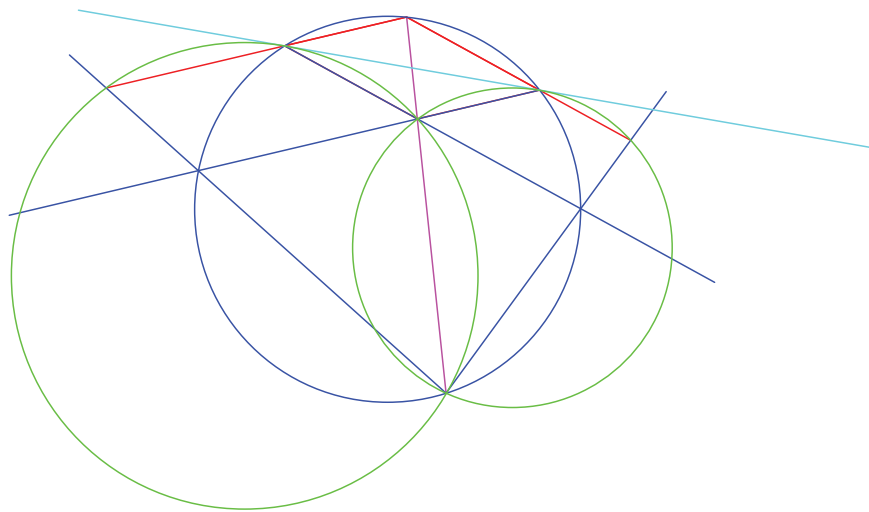
2008-2-11



b y 蛭子井博孝

2-12-2 2円共通接線 平行四辺形

2008-2-12



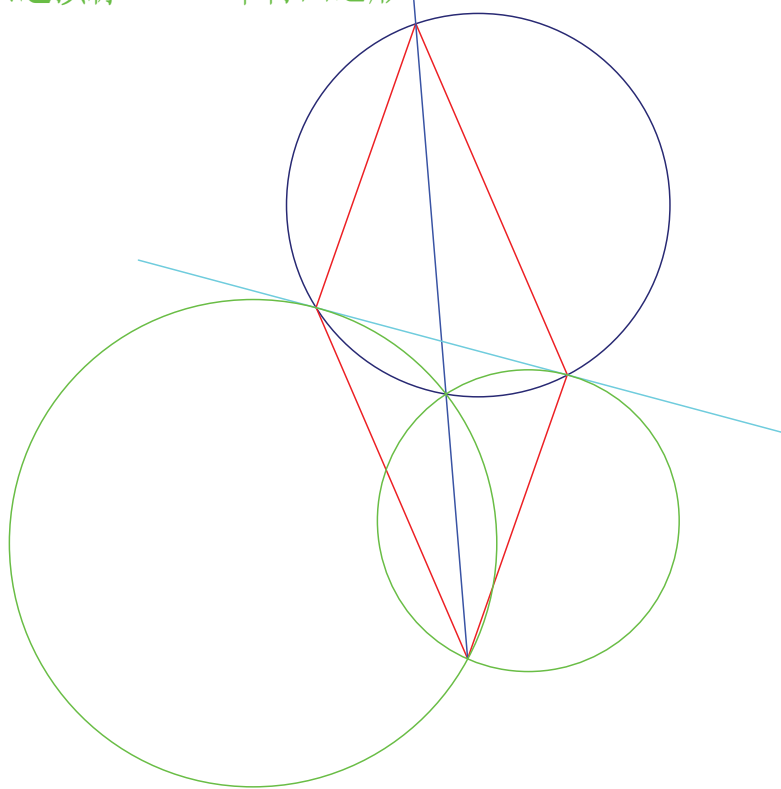
幸せ色って、何色

b y 蛭子井博孝

2-12-3 2円共通接線

平行四辺形

2008-2-12



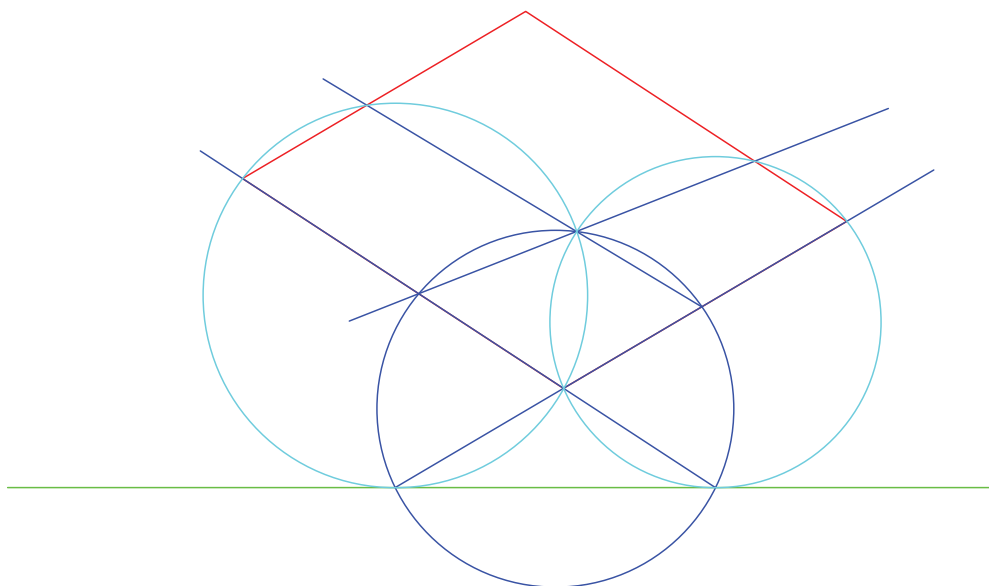
愛って、幸せ色

b y 蛭子井博孝

2-12-4 直線2接円

平行四辺形

2008-2-12

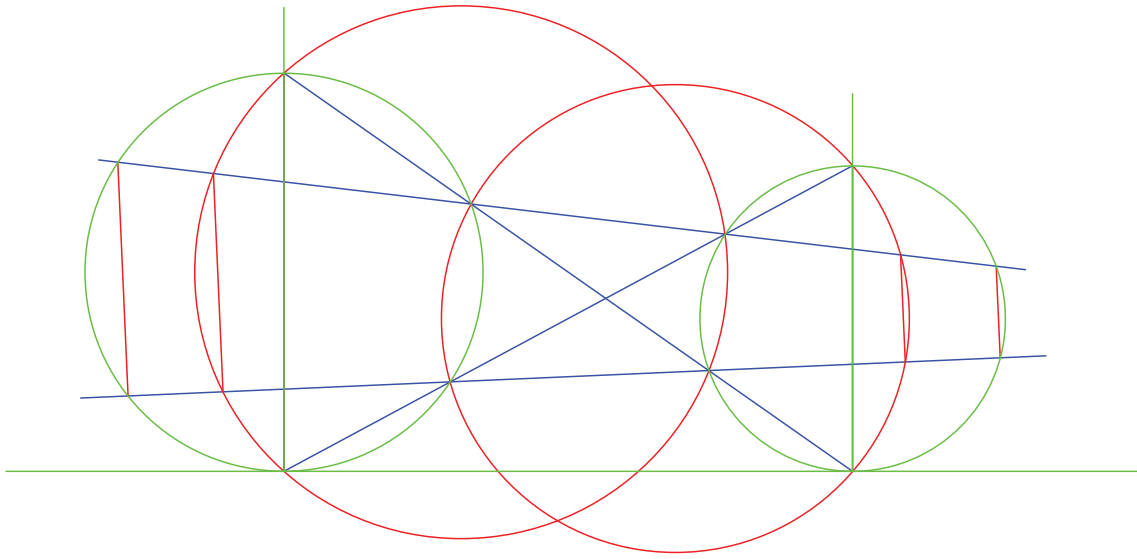


b y 蛭子井博孝

2-12-6 直線2接直径円

4 平行線

2008-2-12

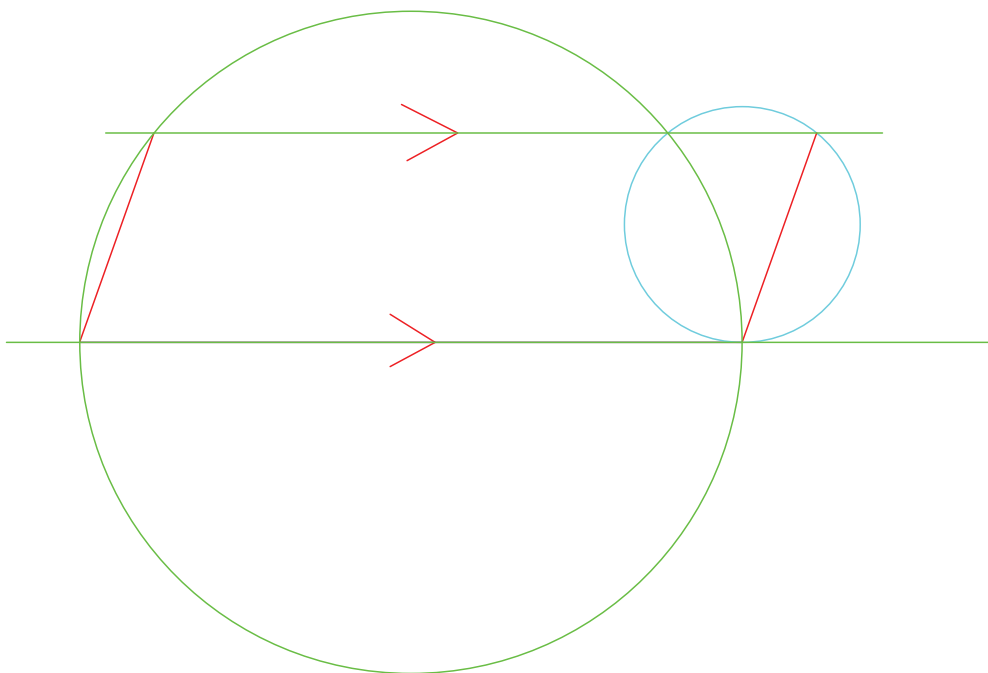


by 蛭子井博孝

2-13-2 平行線直径円

平行

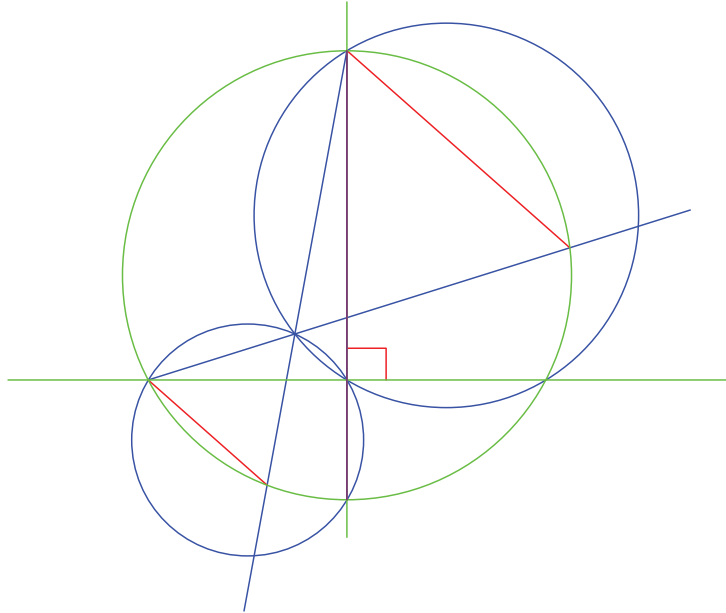
2008-2-13



by 蛭子井博孝

2-15-2 円の直径の直交線 平行定理

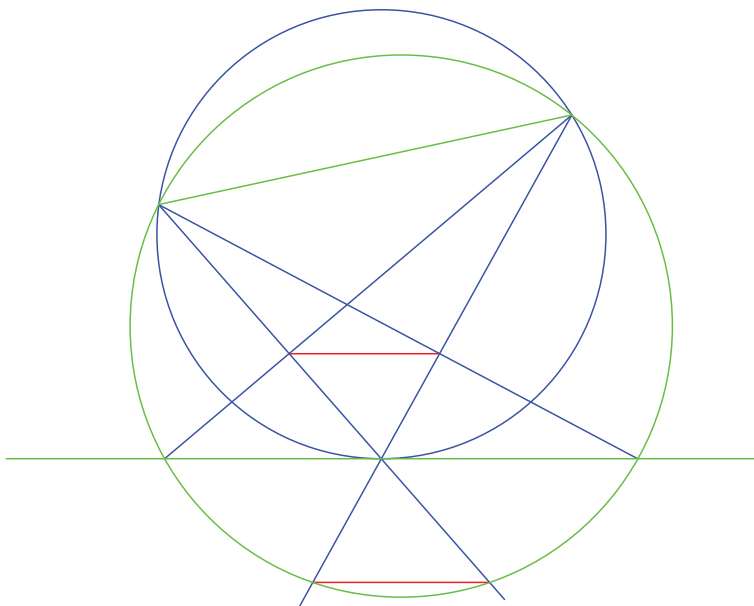
2008-2-15



蛭子井博孝

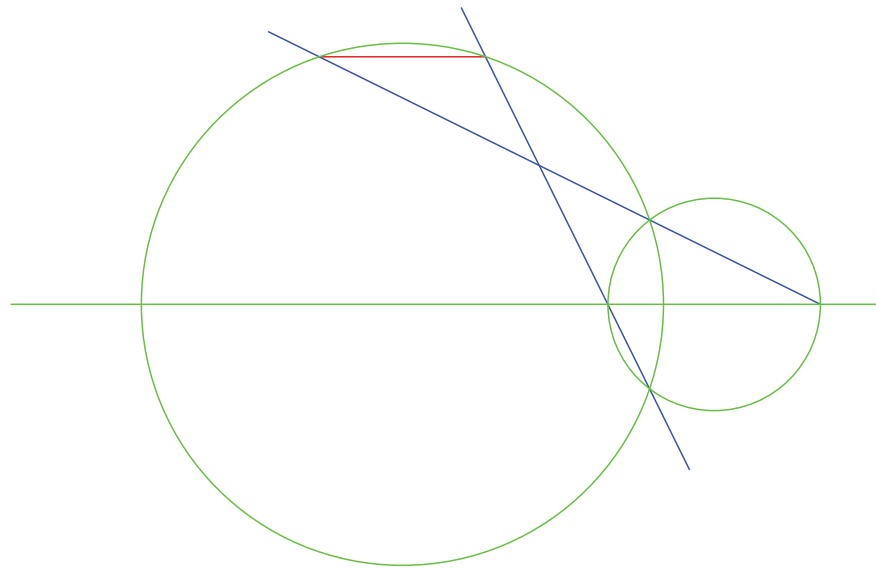
2-16-5 接円の平行問題

2008-2-16



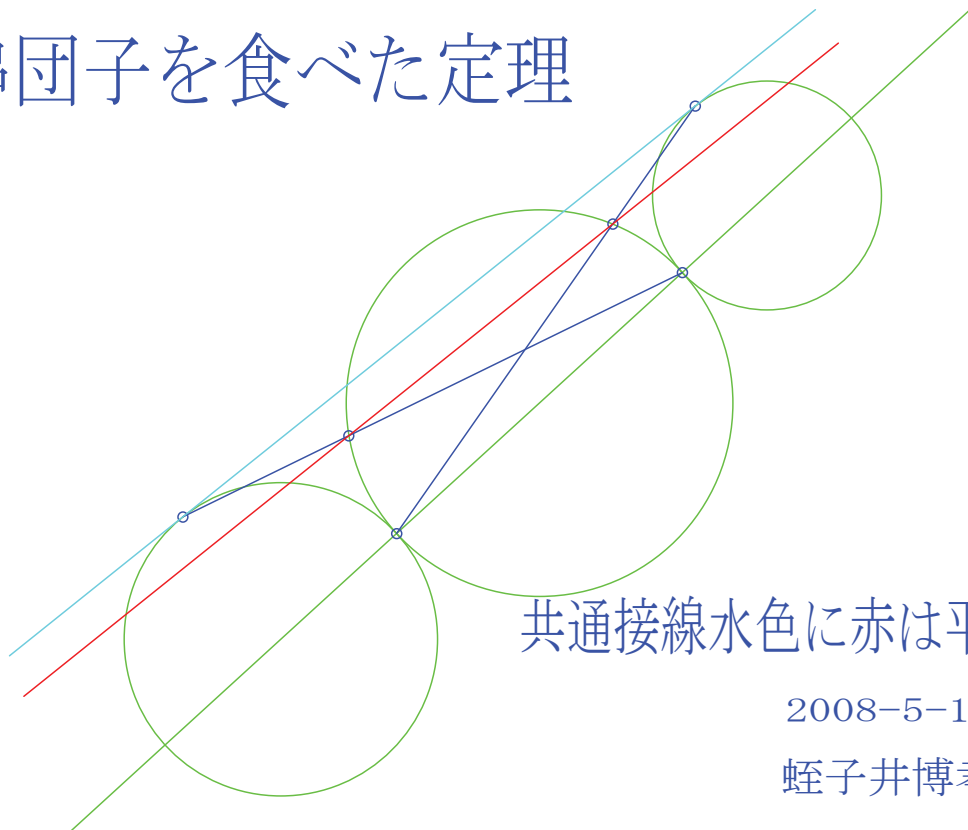
蛭子井博孝

中心線上の2円の平行線定理



by H. E
2007-12-15

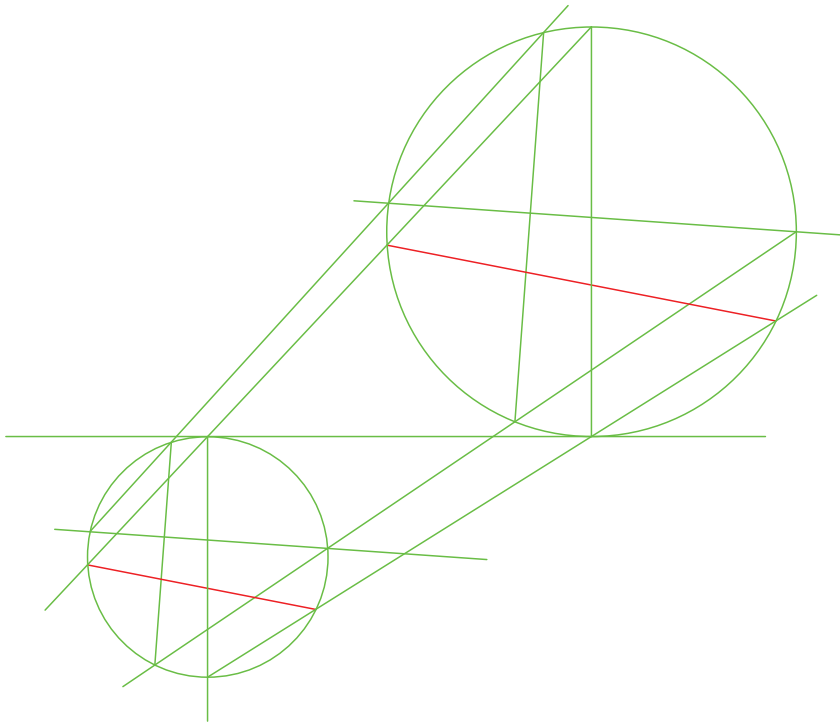
串団子を食べた定理



共通接線水色に赤は平行

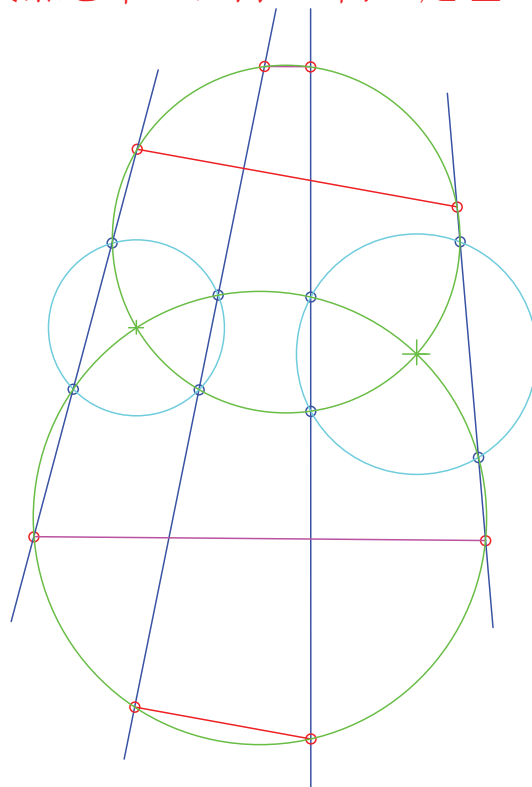
2008-5-19

蛭子井博孝



2円の交点を中心を持つ2円の定理

2008-5-20

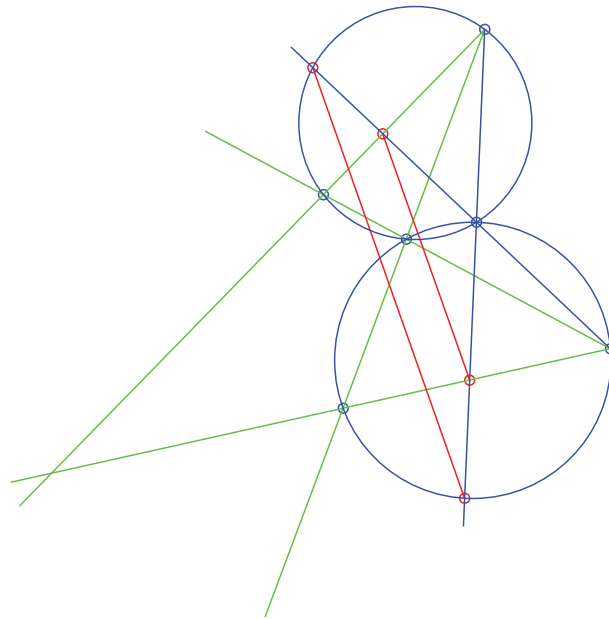


赤線平行
マゼンタも平行

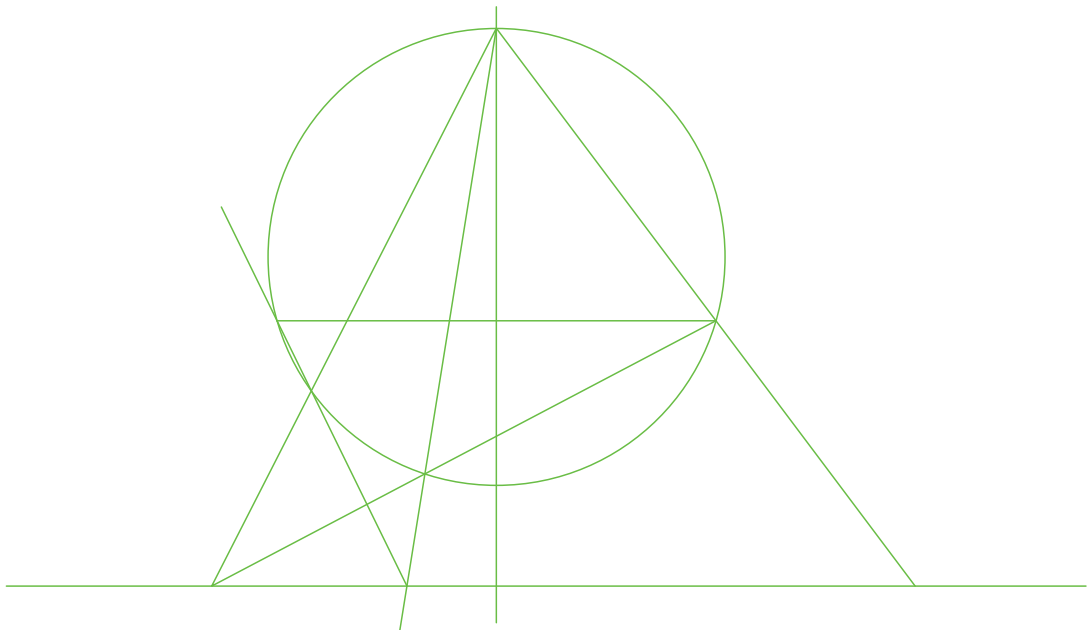
蛭子井博孝

4直線から作った平行定理

2008-5-25

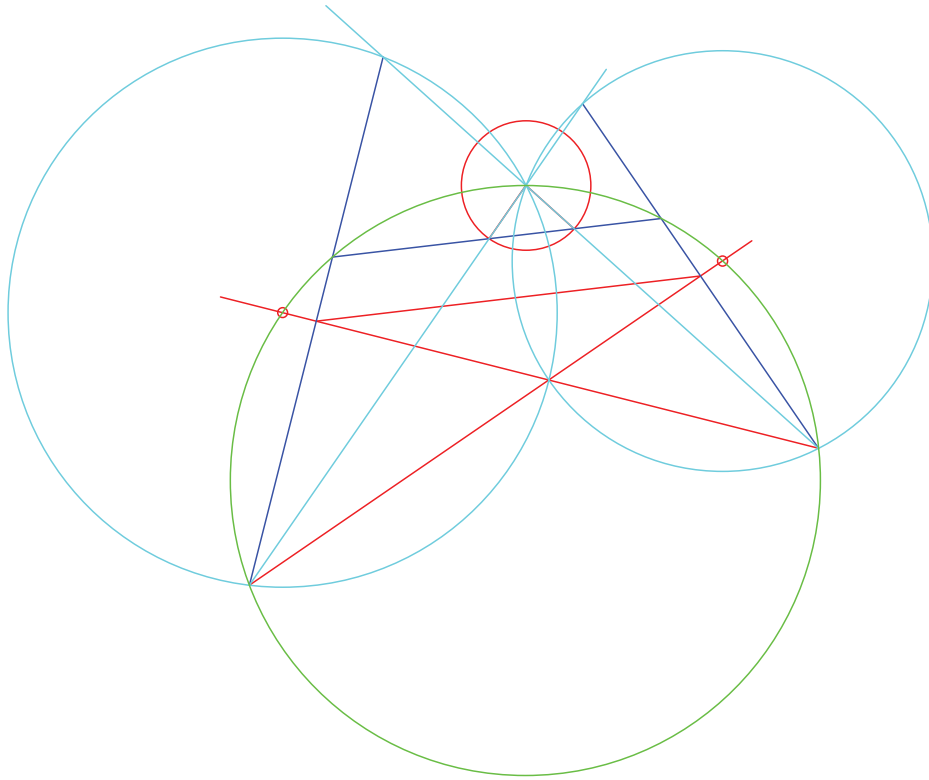


蛭子井博孝

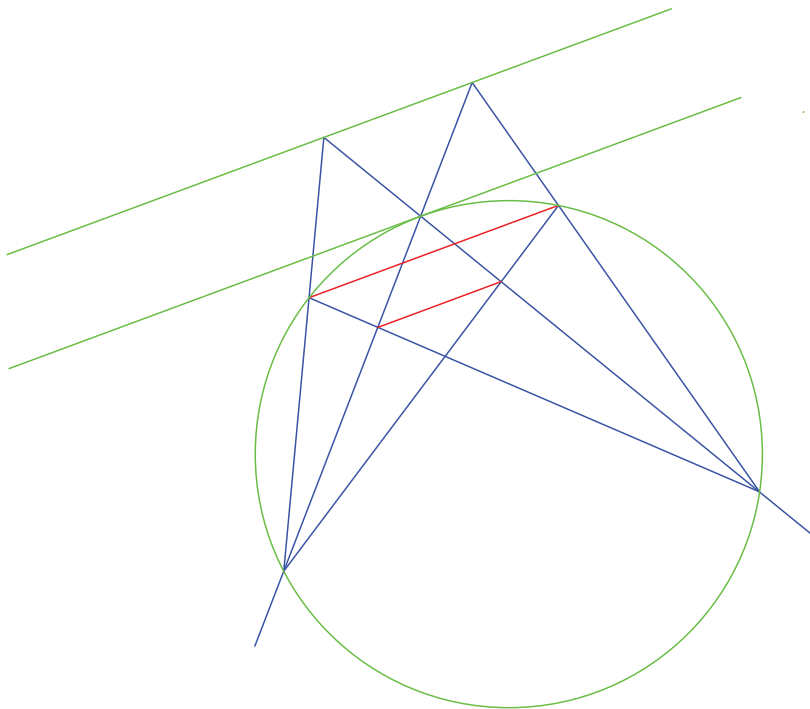


6-20 2等辺平行線定理

2008-6-20



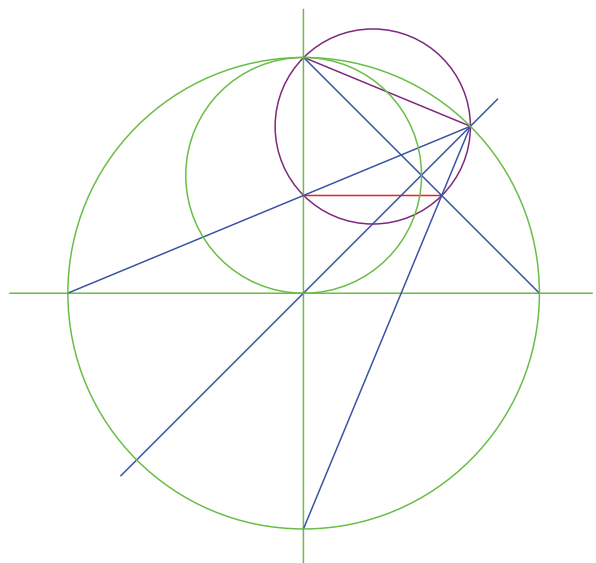
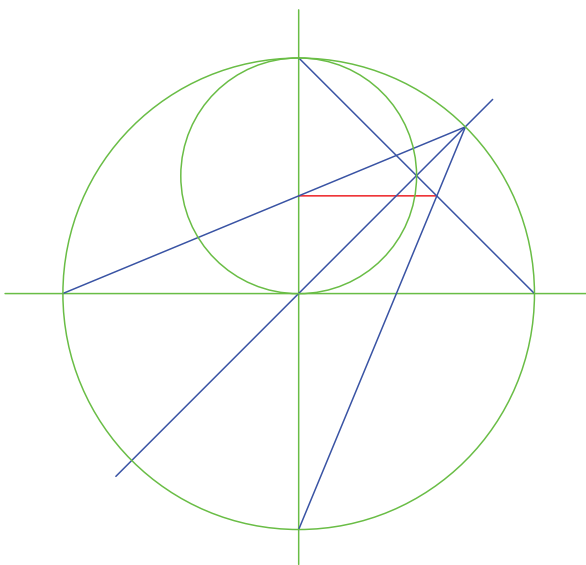
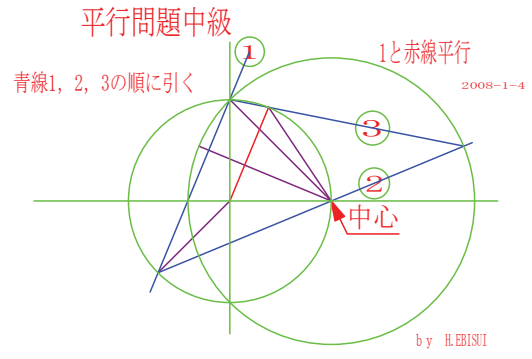
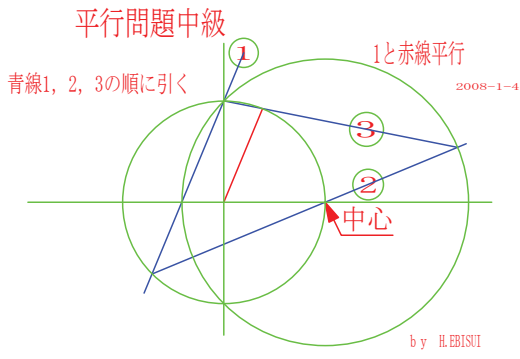
蛭子井博孝



2008-7-28

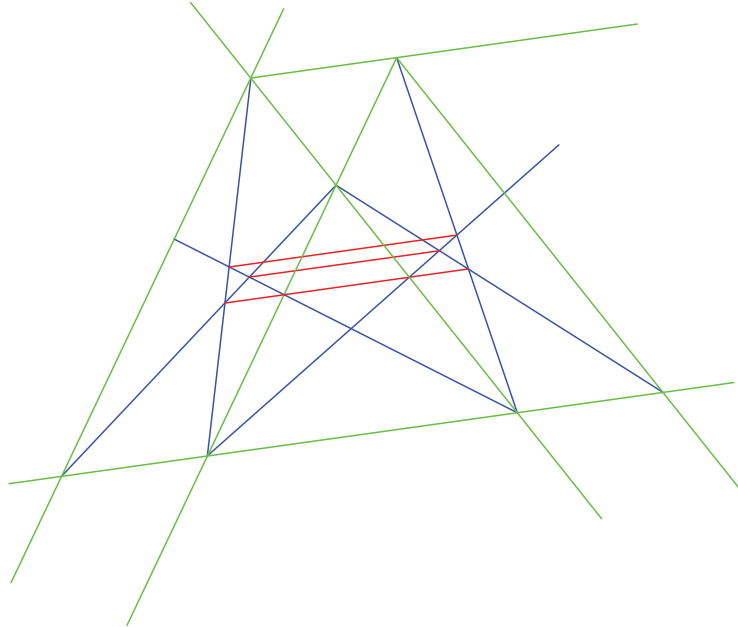
蛭子井博孝

接線と平行な線の平行線問題

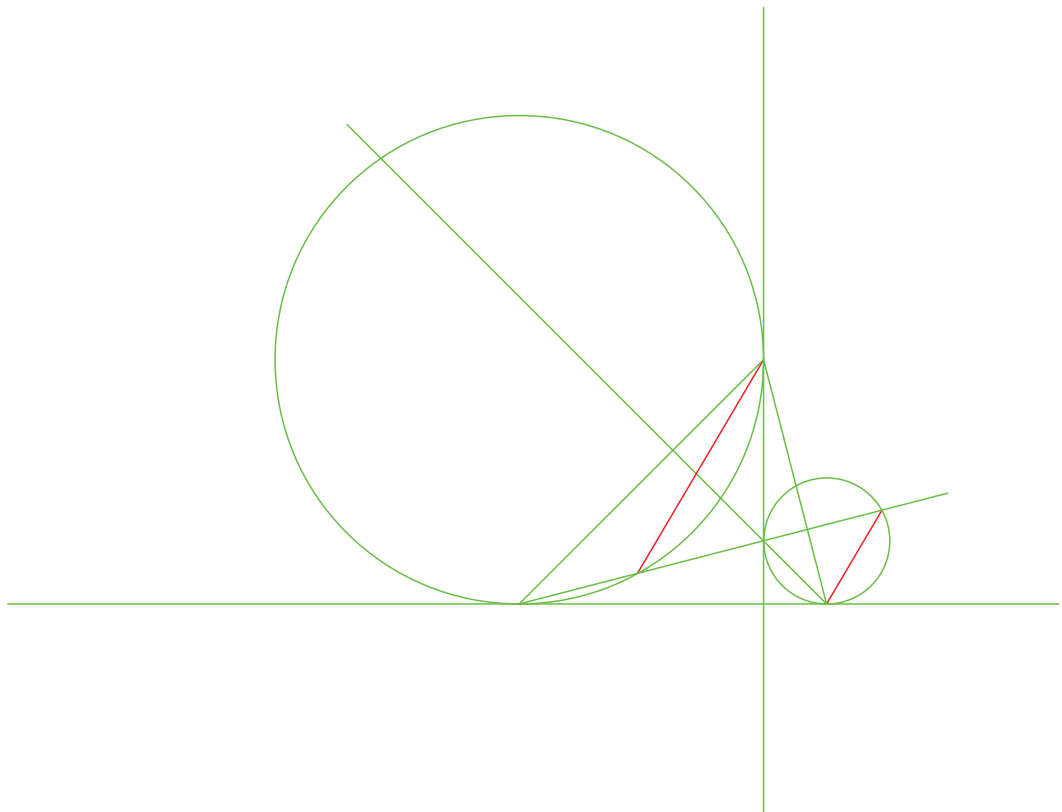


おむすびの定理

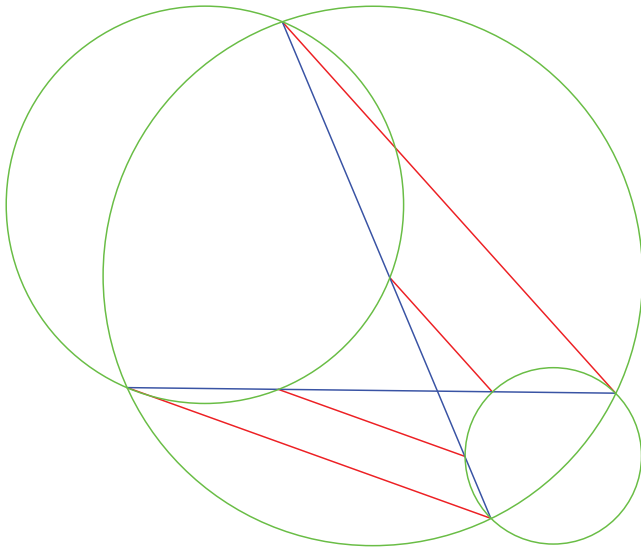
2008-1-7



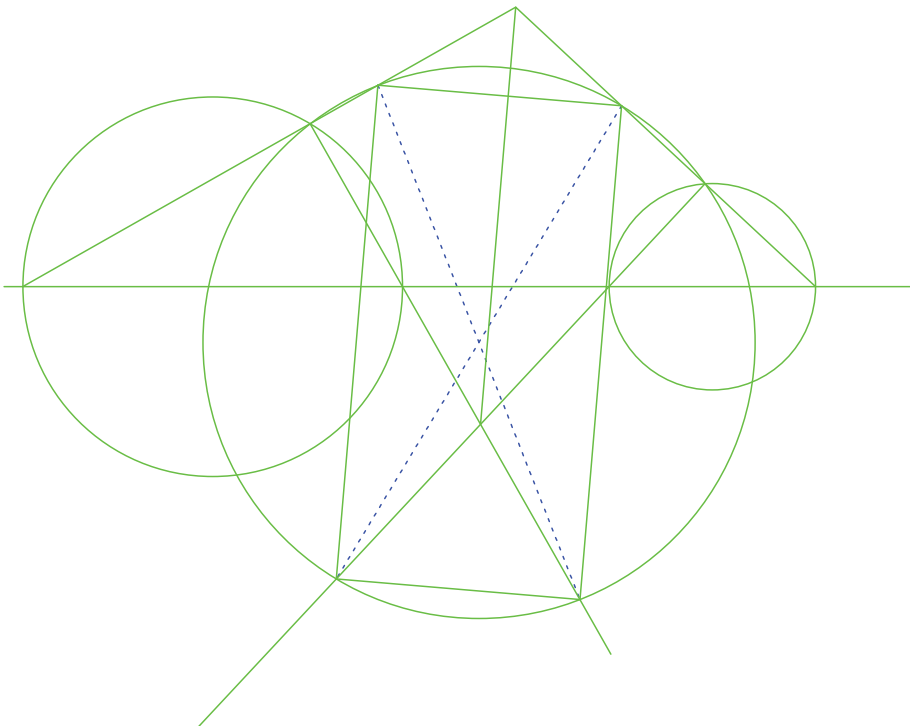
by H. E

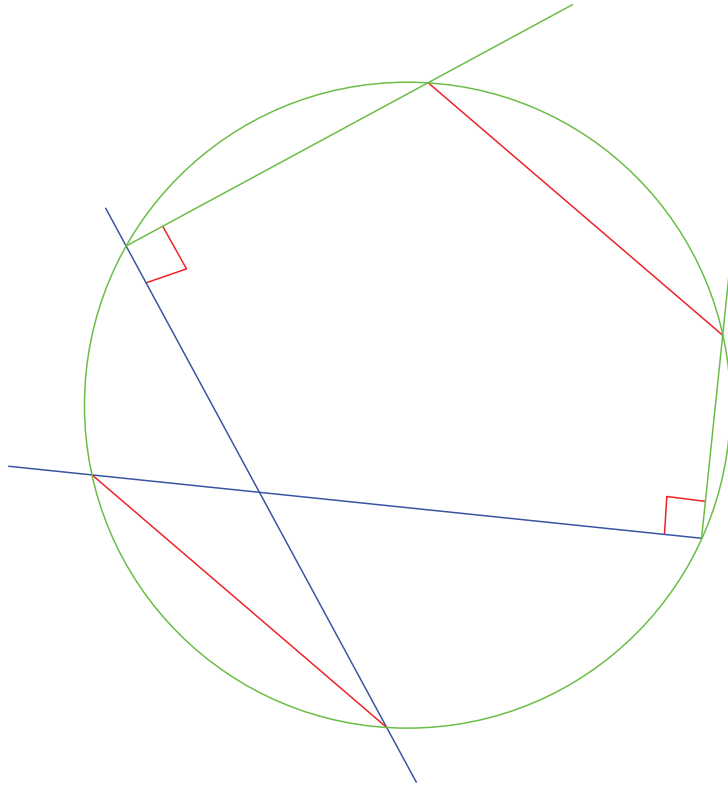


平行線問題 15



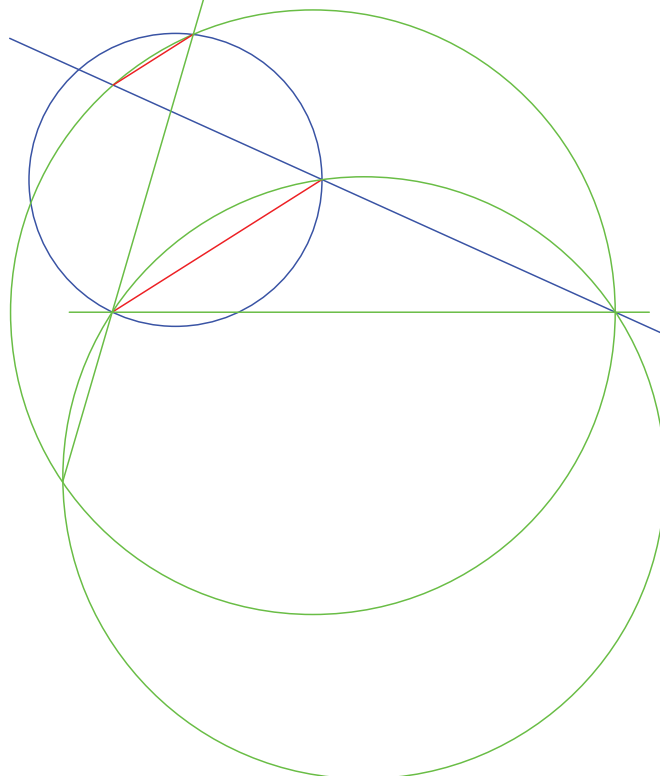
by H. E



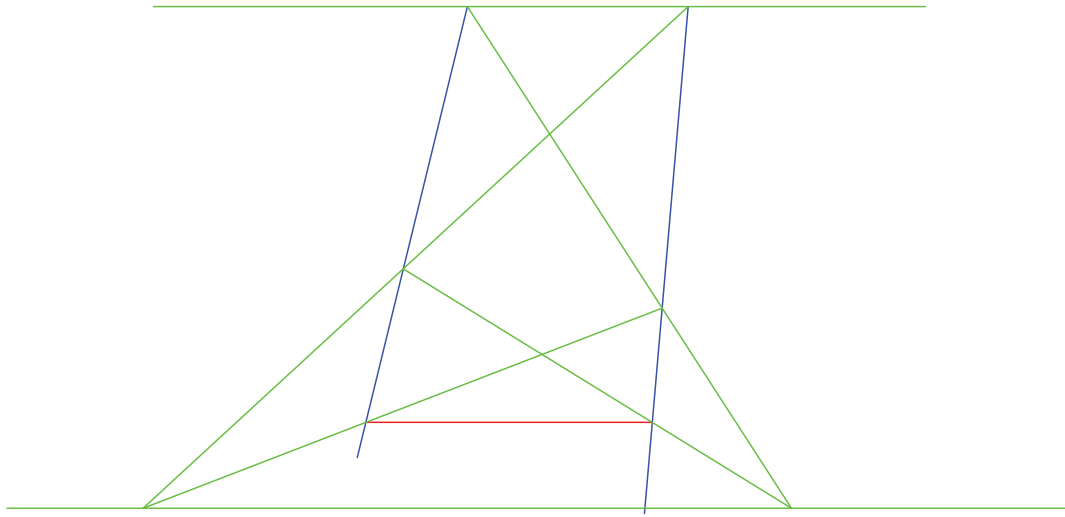


赤線が平行であることを証明せよ。

2008-1-15



by H. Ebisui



私たち一友達ね
そうよ
いつまでもつきあえるといいね
うん

きょうは、これでね
じゃ、あ
じゃ、また

露

ひと

人は皆、百代の過客にして、行き交うもの、また旅人なり。
誰の詩だつたか忘れたが、
現代人、皆、百代の祖先を持つている。

悲しみも、喜びも、みんな持つている。
それを知らないだけなのだ。
そして、知らなくても生きているのだ。
人が、喜ぶことは、力しい。
人が、悲しむことは、淋しい。
喜びには、人が集まる。
人が集まれば、楽しい。
人が集まらなければ、寂しい。
人生、楽しくすごそうではないか。
何を悩むことが在ろう。
病気も、また、人とのふれあい。
現代社会、病人を、ほつときはしない。
死という未知の世界に近い人ほど、
自分に優しく、今を大事にしようとする。
その人から学ぶことは、大きい。

火

元気に、一日の命を全うすれば、
 また明日、太陽が起こしてくれる。
 喜ぼう、日々の糧を得ることに。
 さあさあ、仕事仕事
 手足を動かし、頭を働かし、
 いいものを作り出そう。
 人であることに幸せを感じよう。

の

さびしさ

枯れ木のたつ湖面

夕暮れ時

鐘の音が 成る

真夏の 昼下がり

人気

ない通り

友を失ったとき

愛するものを失ったときは、

寂しさを超え、

悲しさになる

人の気配が、寂しさを救う

は



2時間が過ぎる。それは、よいことだろう。
 しかし、決断に、日を超してはならないだろう。
 だけど、考慮は、日を超し眠らせるべきだろう。
 新しいことを考えるのは容易ではない。

多くの日数と年月さえいる。

ぐ

時間を待つことに時間を追いかけること。
過ぎゆく時間を慈しむことが大事のように思う。
帰らぬ日々があり、思い出す日々がある。
時間を大切にしよう。
そこに、誕生がある。

「夕焼け雲が、真つ赤だね
そして、小鳥が飛び、
飛行機が飛び、
トンポや、蝶が飛ぶ。
今日も、明るい太陽が、在った。

く

月のきれいな夜明け
明るい月が、
僕の影を作った。

現代文明の豊かさが
小さな喜びを持つことの大切さを
忘れさせているようだ。
ここに、リンクした情報
ただではできない。
一枚の絵



み

一行の文
もつと大切にしたいものだ。
私も、リンクだけでなく
自己啓発にそれらを利用したい。
あまりにも多いが。

きみに捧げるこの薔薇
小雨に濡れる相合い傘
いつか二人の出会い始まる



赤とんぼ65

8月23日

夢を見て 人生まだまだ 夏がある

儂さは 暑さに嫌気 射した夜

夢と友 開けて明るい 残る夏

Dovalや 過ぎし日々にも 夢あった

複雑な 思いやいつか 晴れる夏

砂浜に遊ぶやふたり夏の暮れ

波静かスナップショット夏も暮れ

虹ヶ浜語るやふたり夏の暮れ



8月24日

ごみ捨てに 出て夏そよぐ 風の朝

風そよぎ 朝日明るい 朝の夏

朗らかに 笑顔浮かべる 夏朝日

ニガウリの 野菜ジュースや 作り飲む

盆過ぎて 今日また月曜 朝の風

昼寝して 起きればおやつ 野菜酢を

昼寝後の レモンと醤油 切り野菜

この歩道 今も咲いてる 紫陽花が

クーラーで 昼寝楽しむ ゆとりかな

葉鶏頭 道路の脇に によきによきと



8月25日(火)

台風の 風や未明も 空黒く

ちさき頃 堤防切れて 夜避難

この頃は 堤防町を 守るかな

風台風 新聞飛ばし 遊んだよ

風速が 史上最大 この台風

台風一過 太陽明るく 部屋テラス

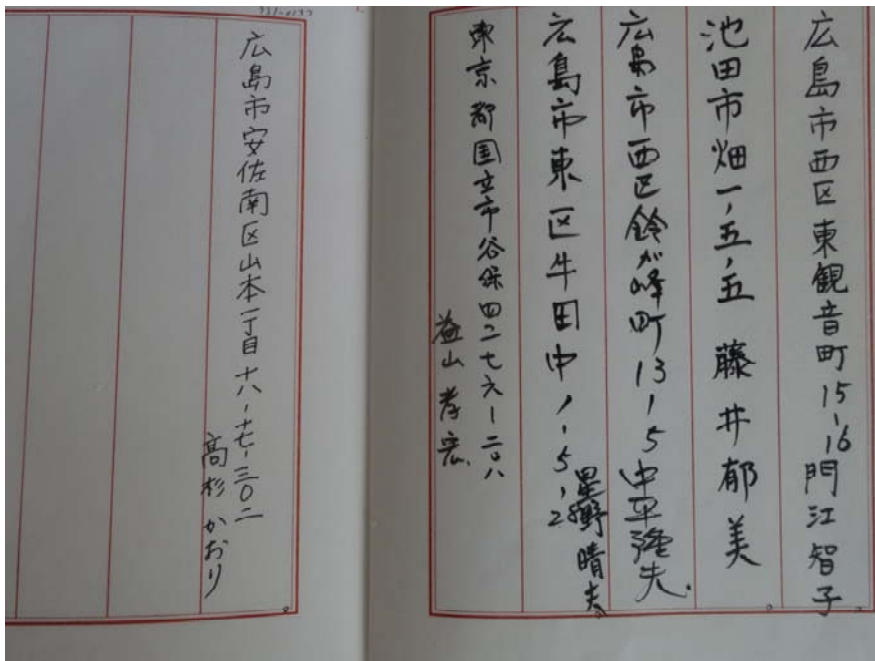
台風の 被害少なく 通りすぎ

柿の実が 落ちたかあとで 確かめよう

サイトにも 光が射して 夏つづく

夢を載せ 愛と理想に 秋が来る

七夕の 訪問客も この中に



8月26日

荒れ畑を残して過ぎる大台風

今日も又、ニガウリジュース 豆乳で

夜中から、サイト整理を 楽しみめり

朝寝して 疲れを癒やし 買い物に

無季有季 いろいろ作る 夏俳句

庭草を 少し抜いたよ 蚊は刺せど

8月27日

台風の 過ぎた青空 やっと出る

赤とんぼ 2匹三匹 スーイスイ

猫じゃらし 揺れて揺られて 風の中

赤とんぼ 65句半分 やっと

楽しさや 明るい太陽 昼下がり

微水弧山

露火のさすらい

露山 編著

第2章 JYEJYEの成長

序 “マゼラン星雲

飛ぶ鳥のごとく光のごとく星雲のある限り飛べ 我らに、未来がある”

さすらい

二度目の星雲写真

私も観測したいマゼラン星雲

X J Xは

露火をさすらい

そして、。。。。。。。。。。

マゼラン星雲に旅立った。

我に返って

宇宙は広い

果てしなく広い

心の旅も、果てしなく広い

君は今何をしているだろうか

ああ、一人タイプを打つ手が、

君を捜している。

(1) 出発: マゼラン星雲へ

JYEJYE は、今、生活の基礎を固めようとしている。

そのうえで、宇宙の探検をしよう。

亡き母の仕事が何であったか、そして今父はどこにいるのか

これから、銀河宇宙を探さねばならない。

やっと、地球になれ、そして、

超空間の勉強をしたから、

異空間では、調和がとれない。

超空間の理論がいる。

絶対空間、相対空間、超空間、

異空間の時代に育ち

宇宙歴、(1, 2, 3, 4, x, j, x)に生まれ

(4,3,2,1,J,Y,E)に意識空間に入り、

今まで、辛抱して、地球知識を学習してきた。

そして、マゼラン星雲に旅立つ準備をしてきた。

これからは、CIX,TIX のお世話になる。

「新しい出発だ。」

CI23 が、いった。

(2)まず、月面基地に寄る

JYE は、月面の地下にできた、超空間研究所を訪れた。

マゼラン星雲の π 星に、地球の自然環境と同じ、惑星があることが、発見され、

そこの住民と、コミュニケーションがとれることが判っている。

このことが、超空間研究所で、研究されている。まずはその学習である。

超空間研究所は、宇宙歴、(4,1,2,3,a,b,c) 年にその活動が本格化しだしたのだ。

しかし、地球上にあると、その研究が悪用されるおそれがあり、特に、BQW 団に研究を

盗まれるおそれがあり、空気のない月面基地で、活動を始めたのである。

TI23 は、宇宙平和条約機構を作るため、

超空間研に滞在している。

「おはよう、JYE」

CI23 がいった。

「今日は、何時まで」 JYE が聞いた

「007 時まで」 TI23 が答えた。

「では、003 時までは、CI23 と、CJ について、勉強します。」

「その後、005 時まで、AI23 のことを調べます。」 JYE が言った。

「OK」 TI23 は言った。

CJ とは、COMU - JOB のこと、

マゼラン星雲 π 星人との会話を通信機器の開発 JOB である。

(3) 逆暗号方式のJYE提案

JYE は、通信機器に、暗号を使うことに不賛成だ。

JYE は、隠蔽する暗号方式に変わり、

通信情報を、自由に盗めると言おうか、利用できる通信方法を考えている。

これは、赤ちゃん通信とでも言おうか、通信情報を極端に簡明幼稚化する方法だ。

そうすると、かえって、誰もが、その通信を理解し、盗むのがばかばかしくなるという方法

である。これ以上は、まだ。逆暗号方式の定義は、秘密である。でも、この通信文はもう、

オープンにされている。JYEJYE は、今急いで、CJの研究をまとめている。

(4) π 星の第五惑星EPI

EPI での交通

EPI では、反重力装置を用いて、

移動が行われている。

それは、どういうものかという、

PI という電磁波ではなく、反重力波を出す装置を使うものだ。

昔、重力波は、巨大な質量の変化により起こることが、わかっていた。

その後大発見があり、ある種の超空間を作り出す小型装置(ベルトを着けるだけ)

で、反重力波が制御できるようになった。そのお陰で、移動エネルギーが楽に得られるよ

うになり、建物にも、そのPI装置をつけ、宙に浮かすことができ、住居空間が3次元に

なったのである。そして、鳥のように、自由に空を飛べるようになったのである。

その惑星EPIでの、生活は、食物も、自然生産でまかなえ、気候も、ある種の、自動コ
ント

ロールによるものである。

だから、人々は、数学のような論理や、哲学のような思想の研究に打ち込めるのであ

る。PI装置は、 PI^{\wedge} ($PI^{\wedge}PI$) という、論理数値が必要とされ、実定数でない複
素定数の時代

へと、進歩したためにできあがったものである。

(5)マゼラン星雲π星第五惑星EPIへ旅立ち

いよいよ、月基地から、

EPIに旅立つ。

宇宙歴（4， 2， 3， 1， x、 y、 z）

逆暗号通信装置を持ち

EPIの宇宙都市に飛び立った。

超空間を移動し、時間にして、

tsmdmy（1， 2， 3， 4， 5， 5）で到着

そこには、EPI23が、待っていた。

「ようこそ、EPIに」

「はじめまして、EPI23、

わたしは、JYEJYEです。

アンドロメダ生まれ、ヒロビロ星地球育ち、

地球の温暖化対策の勉強にきました」

「EPIの反重力移動装置が、地球用に

直すには、まだだいぶかかるようです。」

「そうですか。

地球の消費エネルギーを押さえるためにも

急いで、反重力装置の開発が必要です。」

「それには、地球育ちのあなたの体で、反重力ベルトの試作を

する必要があります。」

「。。。「[[[[[[「。。。。]]]]]]」の

6重半天計算を急ぎましょう」

EPI23 が言った。

「地球では、太陽、月、地球、人間、他物質2の6重半天計算が必要です。」

「人間がつけるベルトには、その重力影響データの解析装置を組み込むのですね」

「そうです。」

「そうとうの解析力のエピレータが必要です」

「錯綜空間解析と、移動解析が必要です。」

「だんだん判ってきました。」

「ここらで一休みしましょう。」

ふたりは、

カフェテラスに移動した。

そこには、思いもかけぬ人は、

居合わせた。

(6)母の友達 nene

JYEJYE は、生まれてすぐ、母を亡くした。

ここ移動体研究所で、EPI23 が、JYEJYE

の、体の計測をしていたとき、

そのデータから、アンドロメダー生まれの

履歴を取り出した。

その資料を、アンドロメダ系のNENEに見せた。

「びっくりしたわ、EPI23 さん」

「私、この子知ってる。

私が、アンドロメダのヒロビロ星地球研究の専任講師

として、働いていたとき、教授だった AI3 さんにあったのよ。

そのとき、JYEJYE というなの、AI3 さんが子を産んだ直後だったのよ。」

「本当か、そりゃよかった。」

JYEJYE が、持ってきた、逆暗号通信機が、うまく作動している。

「JYEJYE さん、びっくりしたわ。

私、あなたのお母さんの友達。」

「え、そう」

「NENEと申します。」

「ぼく、JYEJYEです。」

「母が謎の死を遂げたと聞いていますが」

「その話、後で詳しくするわ。」

「有り難う。こんなところで、母の友達に会えるなんて」

「移動体研究所に、どれくらい滞在」

「できるだけ、地球に早く戻らねばならないけど」

「では、また戻ってくるのね。このマゼランEPI惑星に。」

「そうです。」

「今、反重力ベルトの開発の仕事に関わっています。」

「そうですか。」

「たぶん、tmhdmy (0、7、0、9、2、8) ぐらいで戻ってきます。」

「宇宙歴はいつ？」

「それはまだ未定です。」

「NENE、JYEJYEが、戻ってくるまでいる？」EPI23が、NENEに聞いた。

「たぶんいるでしょう。」

移動体研究所は、地球月は、928 (92 > < 32) HIMの大きさだ。

今、移動体研究所は、錯綜空間解析装置、移動分解装置の地球月アジャスト装置の

組み立ての研究が終わりそうだ。

「JYEJYE、もうすぐ反重力ベルトができる。まず、マゼランで試験飛行。」

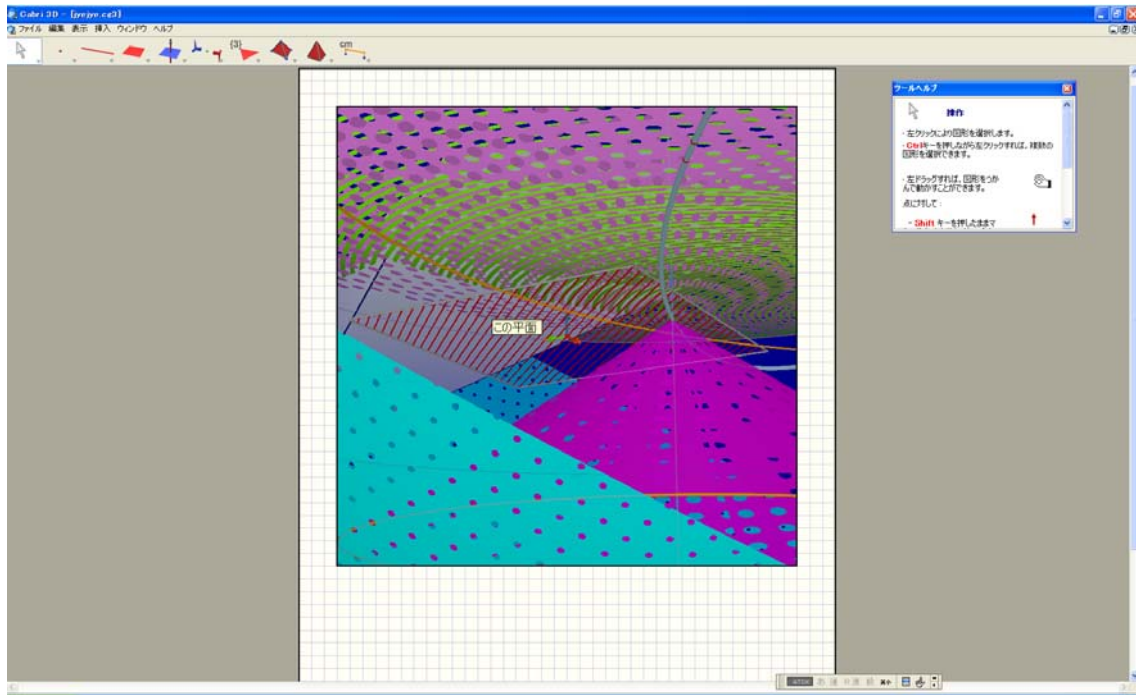
「はい。そうします。」

「どんな、試験飛行するのか、教えてください。」

「まず、HOMEtoHOMEいどうだ。」

ooooo

JYEJYE は、これから、3回の試験飛行をする。



(7)母の死の原因

JYE JYEとNENEは、
移動体研究所を出て
出産療養所の
庭のベンチで、
会った。

「NENE、母は、どうして死んだんですか。」

単刀直入に、切り出した。

「そうね。これは、私たちの大問題になったことなの」

「どういうことですか。」

「JYE JYEのお父さんは、ヒロビロ星地球人

お母さんは、アンドロメダ星人、いや、マゼラン星人かもしれない。

まだ、お母さんの生まれ故郷は、判っていないのです。」

NENEが、話し出した。

「そうか、父が行方不明になったのは、母の生まれ故郷を探しに行ったからなんですね。」

「多分そうでしょう。」

「アンドロメダと、マゼランを何回も、超空間を往復して、いると言うことを聞いたこと
があり

ます。」

「そう、まだ、宇宙歴「1, 2, 4, 3, a, b, c」の頃は、異空間移動装置の時代だった。」

NENEが言った。

「超空間の時代でなかった。」

と、JYE JYEが言った。

「それで、お母さんの死因は、まだはっきりとは掴めていないのだけど。」

JYE JYEのお母さんは、死ぬ運命にあったらしいの」

「どういうことですか。」

「星雲不一致による死亡らしいの。」

「宇宙医学でもまだ、解けない謎なのですね。」

「そう、アンドロメダのある星の生まれの母親は、

ヒロビロ星地球人の父親に持つ子を産んだら、

死ぬ運命にあるらしいの。」

「え本当ですか。」

「JYE JYEのお母さんは、その謎の研究をして、いたんですよ。」

「自分で、そのことを確かめてみたということですね」

「そうらしいの。」

御自分の研究に命を捧げられたのでしょうかね。

もしかして、お母さんの出生の宇宙座標が、わかっていたら、たすかっていたかもしれないの。」

「それで、お父さんが、今、宇宙を彷徨っているのかもしれない。」

「だんだん僕の出生の秘密が判ってきた。」

「有り難うNENE。」

JYE JYEとNENEの出会いによって

露火のさすらいの

{THE T THE T}

の意味も今にわかるかもしれない。

EPI23T は、思った。

(8)HOMEtoHOME 飛行

JYEJYE は、反重力ベルトを用いて、試験飛行を開始した。

EPI23 と、一緒に

移動体研究所から、惑星 EPI を 7 周する飛行である。

まず、歩行飛行、つまり、足を動かし、操縦する飛行である。

自分の周りの、反重力場と、惑星の重力場の、相互作用により、

そして、測地線的軌道を描くように、障害物を避けて移動する訓練である。

鳥が飛ぶように、少し小走り気味に、滑空する。意識波キャッチで、飛べという意識で、
宙

に浮く。

EPI23T の指導の元に、JYEJYE は、飛行意識の訓練である。

「飛べ TTT」

「右 T T T」

「直進 T T T」

「前方障害物 T T T」

目に入ってくるものを

飛行意識に変える訓練をする、

また、レーダー意識も使う。

前方空き空間サーチ意識飛行等々である。

まず、移動体研究所、第一 HOME 出口から第一 HOME 出口への帰還飛行が終わった。

EPI 惑星は、雨域コントロールがされている。

気象コントロール地域と非コントロール地域がある。

また人口も、人為コントロールされている。

人口調整所で、EPI の人口は計画運営されている。

非計画出産も可能であるが、それは、また、非計画計画という理論で

人口調整つまり、仕事や、教育や、レクや、その他の人数調整がされるようになってい

る。それでも、問題が起こることはある。完全計画性は一時やっていたが、うまくいかな

ことが理論的に証明され、今では、汎計画人口調整機構による生活が行われている。

このことは、移動研究所の人員、来客、その他に反映されている。

惑星 EPI の人口は、そう多くはない。増えれば、星雲移住と言うことになる。

まず、HOMEtoHOME 移動しても、人口問題が発生しないようにしないとイケない。

さあ、第一チェックは修了。

JYEJYE は、EPI23 に感謝した。

EPI23 とは CI23 のことであるが、

人口問題調整機構で、ひとり (1, 1)) 1, 1, 1) の名前を利用するようになってい

る。

(9)地球に一時帰還

JYEJYE は反重力移動ベルトのテスト飛行を終えた。

反重力ベルトは、体の回りに特殊な波をだし、体の周りの空間を反重力にするものだ。

ヒロピロ星地球の環境でも、それが作動することを確認するため

JYEJYE は、超空間移動で、地球に戻った。

まず、C I 2 3 に挨拶に行く。

「戻ってきました。CI23 さん。」

「待っていたよ。」

「移動体ベルトを用いると、いよいよ地球の

反重力時代ですね。」

「しかし、まだ、これは、一般には、普及しない方がいいかもしれない、

地球の有史以来の歴史が変わり、その影響が、まだ、検討されていないから。」

「地球の温暖化予防策として、エネルギーのいらぬ反重力ベルトを用いることになった

のでは。」

「そう言うことでもあったが、大気コントロールのエネルギーが一番問題だ。」

「車対策だけではないのですね。」

「そうだよ。」

「では、また、EPI 惑星の大気コントロール装置の導入も考えているのですね。」

「それで、いま、T I T I が、君といっしょに、マゼラン星雲 π 星 E P I 惑星に行き、研究すること

になったのだ。」

「明日 T I T I を君に紹介する。」

エネルギー対策は、簡単ではない。

J Y E J Y E は、久しぶりに

地球の渚を歩いた。

この波も、大気コントロール装置ができれば、

形が変わる。

そう、地球の環境が一変する。

そのとき、人類が、不適應を起こさないとも限らない。

大変な任務である。

「T I T I さん、大変ですね。」

「我々超空間旅行ができるものにとっては、たいしたことではないのですが、

一般人にとっては、温暖化の危機を脱エネルギーで乗り越えることの意味を考えるだけで

も大変です。

あと、t s m d m y (1 , 2 , 1 , 2 , 7) の時間がかかりそうです。

人類の危機を乗り越えるため、みんなで考えるようになりましたが、

犠牲も出ることをみんなが覚悟するまでには、まだ、時間がかかりそうです。」

「犠牲が出ない方法は、宇宙移住ですね。」

「そうです。」

「私の父が、その仕事をしていたと T 2 T が言ってました。」

T I T I さん、私たちの任務は、いつまでも続きそうですね。」

「昔風に言うと3世代一仕事の時代です。」 T I T I が言った。

「数学の問題解決が、旧暦で400年かかったと聞きますね。」

「時間の単位も、今では代わり、3世代が、協力し合う時代になりましたね。 J Y E J Y
E さん

も、そのうちお子さんができるのでしょうか。」

「まだ、その計画は、「x、x、x、y、y、y、z」の中です。」

、

(10)2次元宇宙地図

我々、地球人は、2次元しか見えない。

立体視することはできるが、

それは、2つの目があるから、

そうだ、4つの目を持つ宇宙人がいたという。

TITI は、JYEJYE に話した。

地球人は、どのように進化していくのか。

果たして、空が飛べるようになるのか、

無呼吸時間が、長くできるのか

食べ物をとらない時間を長くするようにできるのか

生物として生きる以外にないのか。

地球は、温暖化が進むとどうなるのか。

人類は、いつまで生き続けるのか。

「JYEJYE、僕らは、地球を変えようとしているが、

変えない方がいいのではないだろうか」 T I T I が言った。

「私の、この頃そう思うようになった。」 J Y E J Y E も行った。

「他の天体で、未知体験をして帰ってくるだけでいいのではないか、

地球では、そのままの生活をし、未知体験をできるようになるには、

宇宙航海法をマスターしないとイケないが、宇宙航海法も、どんどん変わるといっても、

t s m d m y (1 , 2 , 3 , 4 , 5 , 6) 時間後とぐらいであるが。」 T I T I は言った。

「いま平均寿命が,tsmdmy(a,b,c,1,2,3)時間ぐらいになってきている。」 J Y E J Y Eは考えている。

ああ、生きている間に、父に会えるだろうか。。。。。

果てしない宇宙、まだまだ、未知の方が多い。。。。。

J Y E J Y Eは、自分の未熟さに、今更ながら気づいた。

地球に反重力移動体を持ち込むことが無意味に思えてきた。

連邦調査会に意見書を提出しようと。考え出した。

もっと生きることを意味を考えねばならないと思った。

宇宙平和は、ものではない、哲学にあるように思えてきた。

一枚の宝島の地図

それは、遠い昔の冒険を誘う魅力の地図であった。

しかし、今は、それが、宝ではなく、平和の地図でなければならない。

未来都市E P I、そこには、宝があるのではない、平和があるのである。

Passion and Peace JYEJYEは、次第に、大人になってきた。

冒険とは、情熱であるが、平和を愛するからできることであり、

自分だけのものではない。人のためのものである。

それには、深い思想がいることを認識し始めた。

(11)夢の後で

夢を見た。

手を切断される、

目が覚めた。

僕は、君が好き。

でも、君は遠いところにいる。

いつか会える人夢見

今日も続ける。

研究は、妄想がかり

しかし、内容はより高度なものになる。

J Y E J Y Eは、T I T Iと、

空を飛んだ。

しかし、そこは、地球ではなかった。

新しい宇宙の国だった。

3人は、今、父の居所を探しはじめた。

NENEが、いった。

平行線の交わる宇宙と

交わらない宇宙を一緒にしようと。

そこに永遠の宇宙があるようだ。

> #愛数と3連以上の愛数連鎖表:

> 愛数連鎖とは、ある特定の数の愛数の愛数、その数の愛数、そして、愛数の愛数が、同じになるまで、数を連鎖させて、収束させることをいう。

18 から24までの愛数の作り方

$$18 \text{ の約数和 } \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \text{ 約数} + 2 \text{ 約数} + 3 \text{ 約数} + 6 \text{ 約数} + 9 \text{ 約数} = 21 \end{array} \right], \left[\begin{array}{c} 18 \\ \text{愛数} = 1 + \left| \frac{\text{和}}{21} - 18 \right|, \text{愛数} = 4 \end{array} \right]$$

$$19 \text{ の約数和 } \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \text{ 約数} = 1 \end{array} \right], \left[\begin{array}{c} 19 \\ \text{愛数} = 1 + \left| \frac{\text{和}}{1} - 19 \right|, \text{愛数} = 19 \end{array} \right]$$

$$20 \text{ の約数和 } \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \text{ 約数} + 2 \text{ 約数} + 4 \text{ 約数} + 5 \text{ 約数} + 10 \text{ 約数} = 22 \end{array} \right], \left[\begin{array}{c} 20 \\ \text{愛数} = 1 + \left| \frac{\text{和}}{22} - 20 \right|, \text{愛数} = 3 \end{array} \right]$$

$$21 \text{ の約数和 } \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \text{ 約数} + 3 \text{ 約数} + 7 \text{ 約数} = 11 \end{array} \right], \left[\begin{array}{c} 21 \\ \text{愛数} = 1 + \left| \frac{\text{和}}{11} - 21 \right|, \text{愛数} = 11 \end{array} \right]$$

$$22 \text{ の約数和 } \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \text{ 約数} + 2 \text{ 約数} + 11 \text{ 約数} = 14 \end{array} \right], \left[\begin{array}{c} 22 \\ \text{愛数} = 1 + \left| \frac{\text{和}}{14} - 22 \right|, \text{愛数} = 9 \end{array} \right]$$

$$23 \text{ の約数和 } \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \text{ 約数} = 1 \end{array} \right], \left[\begin{array}{c} 23 \\ \text{愛数} = 1 + \left| \frac{\text{和}}{1} - 23 \right|, \text{愛数} = 23 \end{array} \right]$$

$$24 \text{ の約数和 } \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \text{ 約数} + 2 \text{ 約数} + 3 \text{ 約数} + 4 \text{ 約数} + 6 \text{ 約数} + 8 \text{ 約数} + 12 \text{ 約数} = 36 \\ = 13 \end{array} \right], \left[\begin{array}{c} 24 \\ \text{愛数} = 1 + \left| \frac{\text{和}}{36} - 24 \right|, \text{愛数} \end{array} \right] \quad (1)$$

"-----"

100 までの数とその愛数

$$\left[1_{\{\text{愛数}=1\}}, 2_{\{\text{愛数}=2\}}, 3_{\{\text{愛数}=3\}}, 4_{\{\text{愛数}=2\}}, 5_{\{\text{愛数}=5\}} \right]$$

$$\left[6_{\{\text{愛数}=1\}}, 7_{\{\text{愛数}=7\}}, 8_{\{\text{愛数}=2\}}, 9_{\{\text{愛数}=6\}}, 10_{\{\text{愛数}=3\}} \right]$$

$$\left[11_{\{\text{愛数}=11\}}, 12_{\{\text{愛数}=5\}}, 13_{\{\text{愛数}=13\}}, 14_{\{\text{愛数}=5\}}, 15_{\{\text{愛数}=7\}} \right]$$

$$\left[16_{\{\text{愛数}=2\}}, 17_{\{\text{愛数}=17\}}, 18_{\{\text{愛数}=4\}}, 19_{\{\text{愛数}=19\}}, 20_{\{\text{愛数}=3\}} \right]$$

$$\left[21_{\{\text{愛数}=11\}}, 22_{\{\text{愛数}=9\}}, 23_{\{\text{愛数}=23\}}, 24_{\{\text{愛数}=13\}}, 25_{\{\text{愛数}=20\}} \right]$$

$$\left[26_{\{\text{愛数}=11\}}, 27_{\{\text{愛数}=15\}}, 28_{\{\text{愛数}=1\}}, 29_{\{\text{愛数}=29\}}, 30_{\{\text{愛数}=13\}} \right]$$

$$\left[31_{\{\text{愛数}=31\}}, 32_{\{\text{愛数}=2\}}, 33_{\{\text{愛数}=19\}}, 34_{\{\text{愛数}=15\}}, 35_{\{\text{愛数}=23\}} \right]$$

$$\left[36_{\{\text{愛数}=20\}}, 37_{\{\text{愛数}=37\}}, 38_{\{\text{愛数}=17\}}, 39_{\{\text{愛数}=23\}}, 40_{\{\text{愛数}=11\}} \right]$$